

献血者確保対策について（都道府県の取り組み）

平成 23 年度 行事等実績

- ①平成 23 年 4 月 1 日に施行された採血基準改正についての広報
- ②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組
- ③「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組
- ④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組
- ⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある 50～60 歳代を対象とした普及啓発の取組
- ⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組
- ⑦若年層献血者数の増加
- ⑧安定的な集団献血の確保
- ⑨複数回献血者の増加
- ⑩その他

各都道府県の運動実績
【平成23年度 行事等実績】

資料1-2

①平成23年4月1日に施行された採血基準改正についての広報

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	H24.1.23	会議による周知		市町村担当者等	献血推進市町村担当者会議において住民への周知依頼をした。	献血者数の増加に繋がった
	通年	チラシの配布	関係機関、市町村等	一般住民	血液センターが作成する啓発資料(チラシ)により広く道民に周知した。	献血者数の増加に繋がった
	通年	ホームページによる周知	北海道ホームページ	一般住民	北海道保健福祉部医療業務課ホームページにより広く道民に周知した。	献血者数の増加に繋がった
	通年	メディア等を活用した広報	ラジオ、テレビ、映画CM、街頭大型ビジョン、新聞等	一般住民	各種広報媒体を活用し、広く道民に周知した。	献血者数の増加に繋がった

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H23.4.1~4.30	ラジオ放送	RABラジオ FMアップルウェーブ	県民	ラジオ番組へ生出演して、周知を図った。	計5回出演
	H23.4.1~12.31	CMスポット放送	各放送局	県民	本社から配布された、採血基準改正CM素材を各放送局に持ち込み、無料で放送してもらった。	・テレビ1,449本・ラジオ1,639本放送 ・17歳の400mL献血者数延287名 ・55歳以上の血小板献血者数延867名
	H23.5.16~6.30	若年層献血依頼	全施設	16~29歳の献血依頼可能者	採血基準改正に該当する年代を中心に、採血基準改正のリーフレットと記念品引換券を同封し、献血依頼をした。	5,480通発送
	H23.10.17~11.30	シニア層献血依頼	全施設	50~69歳の献血依頼可能者	採血基準改正に該当する年代を中心に、採血基準改正のリーフレットと記念品引換券を同封し、献血依頼をした。	5,438通発送
青森県	H23.5月~H24.3月	フリーペーパーによる広報	フリーペーパー3誌	県民	フリーペーパーに広告を掲載し、周知を図った。	計14回掲載
	H23.4月~H24.3月	県の広報番組による広報	テレビ、ラジオ	県民	県の広報番組を利用して周知を図った。	テレビ1回、ラジオ12回

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	H23.8月~12月	テレビ・ラジオによるCM放送	県内一円	岩手県民	広く県民に対し採血基準改正の周知を目的に放送依頼した。	無償で民放テレビ4局1,166本、民放ラジオ2局275本の放送をしていただいた。
	H23.4月~	採血基準改正に伴うポスター掲示	県内一円	献血団体	事業所・行政機関に対し採血基準改正の周知を目的に掲示依頼した。(B2-50枚、B3-50枚)	

【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮城県	H24.3月	広報資料「献血しよう！」作成・配布	県内高校	高校生	若年層の献血啓発、普及を目的としたリーフレットを作成し、採血基準改正について掲載	

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県(血液センター)	H23.4月中	新採血基準ポスター掲示	公共機関、学校等	県民	新採血基準ポスターの掲示を依頼し県民への周知を図った	日本赤十字社(本社)
	H23.5.12	新採血基準新聞掲載		県民	新採血基準を新聞掲載し周知を図った	県民の皆様へ広く周知できた
	通年	デジタルサイネージによる広報	献血パークろくろ、献血ルーム、献血ステーション	献血協力者等	各固定施設に設置しているデジタルサイネージによる広報	日本赤十字社(本社)
	H23.2月~3月	検診医師懇談会	各市町村会場	病院、医師会	献血受入の検診に携わる関係医師に採血基準、問診基準改訂の説明をし医師への周知を図るとともに広報の一環とした。	医療機関への周知が図られた
	H23.2月~3月	献血推進部会	各保健所会場	部会員(事業所、推進団体等)	献血の検診に携わる関係医師に採血基準、問診基準改訂の説明をし献血推進協力団体や協力事業所等への周知を図った。	県民の皆様へ広く周知できた

【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県	H23.4月	県ホームページでの広報	県ホームページ	山形県民	県のホームページで採血基準の改正について周知した。	
山形県(血液センター)	H23.4.1~12.31	基準改正放送	テレビ4社・ラジオ2社	山形県民	テレビCM15秒・ラジオCM20秒 本社素材	17歳240名・55歳PC445名

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H23.3.9~	薬務課ホームページに掲載			ホームページに掲載して周知を図った。	
	H23.4.1~H24.12.31	採血基準一部改正に係るCM放送協力依頼			民放テレビ4局及びラジオ5局に広報依頼	

【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県茨城県赤十字血液センター	通年	ホームページでの広報	県・血液センターホームページ	県民	ホームページに掲載して周知を図った。	
	H23.11.1~H24.3.31	高校献血キャンペーン	県内高校・献血ルーム	高校生	キャンペーンチラシに掲載して周知を図った。	

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	H24.3.2	朝日新聞 広告(別冊群馬版)	県内全域	県民全体	サッカーJリーグ開幕特集の広告欄に、採血基準改正及び海外渡航歴緩和の記事を掲載した。	若年層を中心に広く県民へ献血制度の変更周知を図る事ができた。
	H24.3.11	地元TV局番組内広報	県内全域	県民全体	地元FMラジオ局番組内の県政紹介のコーナーで、採血基準変更にかかる広報を行った。	県民に対して広く基準変更について周知することができた。
	H24.5.3	地元FMラジオ局番組内広報	県内全域	県民全体	地元FMラジオ局番組内の県政紹介のコーナーで、採血基準変更にかかる広報を行った。	県民に対して広く基準変更について周知することができた。

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県 (血液センター)		テレビ埼玉での周知	テレビ埼玉	県民	テレビCMを15秒を放映した。	
		FMでの周知	県内コミュニティーFM	県民	ラジオCMを20秒広報を放送した。	
		ホームページでの広報	県及び血液センターホームページ	県民	ホームページにて採血基準改正について広報した。	

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県	H23.3月～	ホームページによる告知	県業務課ホームページ	県民	基準改正について県業務課ホームページに掲載	
千葉県赤十字 血液センター	H23.3月～5月	血液センター広報紙(ドナー通信)に告知掲載	主に献血ルームや献血会場など	献血ご協力者	血液センター広報紙に基準改正の記事を掲載した。	45,000部配付。
	H23.4.1～継続中	ホームページによる告知	千葉県赤十字血液センターホームページ	HP閲覧者	基準改正のお知らせを血液センターHPに掲載。	
	H23.4.1～継続中	献血セミナースライドへの追記	各セミナー会場など	セミナー参加者	献血セミナーにおけるスライドを用いた講演にて基準改正について追記し説明する。	
	H23.4.1～継続中	高校学校の校内献血の実施依頼状における採血基準改正広報	千葉県内の各高等学校	生徒並びに教職員	400mL献血の年齢引き下げになった採血基準改正情報の提供	校内の集団献血実施依頼及び400mLの推進

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字 血液センター	H23.4.1～継続中	各市区町の献血推進協議会 PTA等説明会	市区町地域の会議室	一般都民・幅広い年代	献血思想の普及及び献血組織間の情報交換を図ることによって、献血制度の適正な運営に資することを目的とする。	
東京都	H23.4.1発行	広報東京都(425万部) 各区市町村の広報紙	広報紙	一般都民・幅広い年代	新聞折込及び駅や公共施設等に設置	
	H23.4.11	TBSラジオ「都民ニュース」	ラジオ放送	一般都民・幅広い年代	AMラジオの東京都提供番組内で広報	
	H23.4.1～継続中	ホームページに掲載	東京都、区市町村、血液センター	一般都民・幅広い年代	東京都、区市町村、血液センターのホームページ	
日本赤十字社本社	H23.4.1～継続中	採血基準改正情報の継続的周知	各放送局	幅広い年代	新聞広告の掲載・テレビCM放送・ラジオ放送	

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
神奈川県赤十字 血液センター	通年	ラジオ広報	FMヨコハマ	県民	当センターが協力する番組「color of love」(週1回放送)内で、献血基準の変更について毎週周知している。	
	通年	プロスポーツチームとの共同イベント	横浜スタジアム・等々力競技場・マリノスタウン	イベント来場者	公式戦やファン感謝デーに併せて開催する献血推進イベントにおいて、チラシ・バナー等を作成し献血基準の変更を周知	

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	H23.4月	高等学校、中等教育学校あて周知依頼併せてポスターを送付		高校生等	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図った。	
	H23.12月	献血リーフレットの配布		一般	一般県民へ献血知識の普及啓発を図った。	
	H23.4月～	ホームページへの掲載		一般	一般県民へ献血知識の普及啓発を図った。	

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
富山県	H24.3月	日赤本社作成のポスターの配布			日赤本社作成のポスターを県内高等学校、市町村に配布	
	H24.3月	日赤本社作成のCM素材の配布			日赤本社作成のCM素材を県内報道機関(テレビ・ラジオ)に配布	
	H24.3月	ホームページへの情報掲載			血液センターホームページへの情報掲載	

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県赤十字血液センター	H23.4月～H24.3月	金沢市内路線バス車内広告	金沢市野町～県庁ルート	金沢市民	金沢市内で利用客が多く、血液センターへ来所する際のバス路線の車内に掲示し、広く周知する。	20車両に掲示し、広く市民に周知できたと思われる。
	H23.4.1	採血基準変更ポスターの掲示	県内全域	市町窓口、保健所等	公文書による掲示依頼を各市町担当課、保健所等に行い、県民に広く周知する。	県内100団体へ掲示依頼し、広く県民に周知できたと思われる。
日本赤十字社 石川県支部 石川県赤十字血液センター	H23.5月、10月	広報誌「赤十字石川」の掲載	県内全戸配布	県民	採血基準変更を記載し、県内全戸に配布する。	403,000枚を作成、配布した。広く県民に周知できたと思われる。

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県 福井県赤十字血液センター	H23.4.15	高等学校校長会	県庁	高等学校校長	高等学校における献血の協力依頼および普及啓発を行った。	
	H24.1	出前講座の広報	各高等学校 各市町教育委員会	高等学校教頭、保健指導主事、各市町教育委員会担当者	血液・献血出前講座の実施の依頼と併せて採血基準の改正について周知を依頼した。	

【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県	H23.4.28	山梨県献血推進協議会総会	山梨赤十字会館	山梨県献血推進協議会委員	採血基準改正について山梨県献血推進協議会委員へ周知を行う	委員を通じて県民に周知
	H23.5.24	血液事業推進会議及び市町村血液事業担当者会議	県立文学館	保健所・市町村血液事業担当者	採血基準改正について保健所・市町村担当者へ周知を行う	各市町村を通じて県民に周知
	H23.6.2 他	地区献血推進協議会及び研修会	東山梨合同庁舎他	地区献血推進協議会委員	採血基準改正について各献血推進協議会委員へ周知を行う	委員を通じて県民に周知
	H23.7.1～7.31	献血啓発テレビスポット放映		県民	採血基準改正についてテレビスポットを用いて県民に周知を行う	県民に周知
山梨県 (血液センター)	H23.4.1～	各献血団体担当者説明会	各献血団体	各献血団体担当者	採血基準改正について各献血団体担当者へ周知を行う	献血者に対して周知

【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長野県	H23.3月～	県ホームページへの掲載		県民	県のホームページに採血基準の改正について掲載し、県民に周知した。	
	H23.6.7、7.19、9.6、11.24	高等学校校長会	県下4ブロックで各1回	高等学校長	高等学校校長会において、高校生献血への協力を依頼するとともに、採血基準の改正を周知。	
	H23.8.30	学校保健会養護教諭部会	長野県教育会館	養護教諭	養護教諭部会において、高校生献血への協力を依頼するとともに、採血基準の改正を周知。	
	H23.6月	高校生へのリーフレット配布		高校生	採血基準の改正を掲載した県作成リーフレットを全高校生に配布。	66,200部作成

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H23.4.1～12.31	ラジオCM放送	岐阜エフエム放送		地元民間FM放送局に依頼し、期間中放送いただいた。	
	H23.4月～6月	高校生向け啓発パンフレット配布	県内高等学校	高校2年生	県が作成したパンフレットを、県内の高校2年生に配布した。	

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県	H23.7.1、H24.2.2、2.23	「献血情報コーナー」等の放送	静岡放送(AMラジオ局)、静岡エフエム放送(FMラジオ局)	県民	県内全域に放送しているAM及びFMラジオ局において、献血情報コーナーを設け、その中で採血基準の改正について話をした。	献血思想の普及

【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
愛知県	H23.7.1～7.31	愛の血液助け合い運動	県内全域	一般県民	献血啓発資材(ウエットティッシュ)に採血基準が改正されることを記載し、献血時などさまざまな機会を通じて活用した。	本県の献血目標量達成につながった。【参考】蛍光ペン 5,000個、ウエットティッシュ 20,000個

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	H23.4月～H24.3月	FM三重CM 三重TVCM ZTV 他	-	各局視聴者	約1,000本放送(700+300)を行った。	-
三重県 三重県赤十字血液センター	H23.4月～H24.3月	ホームページでの周知	-	ホームページ閲覧者	県及び血液センターのホームページ内で基準改正の案内を掲載し、広く県民に周知を行った。	-
	H23.4月～H24.3月	ポスター・チラシ作製及び配布	各献血会場	県内各地の幅広い年代	基準改正の案内ポスター・チラシを掲示・配布し、広く県民に周知を行った。	-

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	H23.4月	県ホームページでの広報	県ホームページ	県民	採血基準の改正を県ホームページに掲載	
	H23.5.18	高校生向けリーフレット配布		県内高校2年生	新しい採血基準を記載した啓発リーフレットを県内の高校に配布した。	

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H23.4月～12月	献血実行委員会	京都市内11行政区	地域献血会会長	新採血基準の資料配付等	
	H23.4月～12月	市、町献血推進協議会	府内保健所、市町村	保健所、市町村献血担当者	新採血基準の資料配付等	

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府	H23.6.6	市町村献血推進担当者会議	大阪府立成人病センター	市町村担当者	献血についての研修会、年度計画等の説明	
	H23.4.1～	各種広報媒体を使用しての周知	府内一円	府民	・映画とタイアップしたポスターでの周知 ・啓発物品(菜)を作成して周知 ・府機関紙、ホームページでの周知 ・市町村単位での広報	・ポスターは府内の全高校に配布 ・啓発物品"しおり"は府内の全高校生に配布するとともに府内書店でも配布

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H24.4月～	採血基準改正の周知	ホームページ、新聞広告及びポスター掲示	幅広い年代層	継続したホームページ、固定施設等の献血会場におけるポスター掲示及び4月に新聞広告(全8段)を掲出し、広く周知を図った。	特に55歳以上の血小板成分献血者の増により、血小板献血の安定確保につながっている。(1日平均10名以上)
	H23.5月	高校生への採血基準改正の周知	県内高等学校	県内高等学校全生徒	県主管部署等と連携を図り、県内高等学校へ採血基準の一部改正の周知を目的に全高校生へのリーフレットの配付を依頼した。	1日平均2名程度の17歳男性の400mL献血協力が得られている。
	H23.6月～	採血基準改正の周知キャンペーン	各固定施設及び献血会場	若年層を中心に幅広い年代層	6月14日の世界献血者デーをはじめ、年末年始及び冬季から春先にかけての血液確保キャンペーン時に採血基準の一部改正を表記した記念品を製作し、配付した。	広く採血基準の改正について周知を図ることができた。
兵庫県赤十字血液センター	H23.4月～H24.3月	新献血制度普及啓発強化事業	兵庫県赤十字血液センター	幅広い年代層	平成23年4月から改正採血基準が施行され、献血可能年齢が拡大されることから、改正前後の平成22、23年度に新献血制度普及啓発強化員を配置し、対象年齢層をはじめとする県民に対して重点的に周知し、より一層献血に対する住民の理解を深め、献血者の確保を図る。	

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	H24.3月	リーフレット作成	県内高等学校等	高校生等	若年層への献血啓発、普及を目的としてリーフレットを新たに作成し、県内高校1年生を対象に配布。	県内高等学校等計53校の高校1年生全員に配布。
	継続中	県ホームページでの広報	県ホームページ	県民	採血基準改正内容について掲載	
	随時	ポスターの掲示	市町村等		各市町村にポスターを配布・掲示を依頼	広く広報が行えた
		地元ラジオ局でのCM放送	FM81.4等		無償にてご協力	広く広報が行えた

【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県赤十字血液センター	H23.4月～12月	スポットCM放送	テレビ局1社・ラジオ局4社	視聴者及びリスナー	採血基準の一部改正に係るスポットCM放送の実施。	テレビCM1,531回・ラジオCM5,145回放送協力を頂き、県下一円に広く周知できたと考えられる。
和歌山県赤十字血液センター	H23.7月～	テレビによる地デジデータ放送での啓発	テレビ和歌山	和歌山県民	国の緊急雇用創出事業(株式会社テレビ和歌山に委託)により地デジデータ放送「けんけつちゃんねる」で7月より採血基準の一部改正の他移動採血車の採血場所等情報を提供した。また、ワンセグによる情報提供も12月より実施。	データ放送を始めた7月より献血にこられた方からデータ放送を見てきたと言う方が多く、また、献血者数も対前年度比増加し、4.3%増となった。
	H23.4月～12月	ポスター掲示	県下保健所・各市町村	各施設職員及び来所者	各施設にて専用ポスターの掲示	各施設職員及び来所者にPRできたと考えられる。

【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	H23.3.18	通知		病院・医師会等	改正内容等を通知した。	

【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県赤十字血液センター	H23.4月～				・ホームページに基準改正のお知らせ、採血基準改正表を掲載 ・ポスターを各保健所、市町村に掲示 ・改訂リーフレットを事業所等へ配布	

【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	H23.4.1～12.31(随時)	テレビCM放送	笠岡放送局	県民各層	テレビCM放送を通して、県民各層への周知を図った。	テレビCM放送により、県民各層への周知が図れた。
	H23.4.1～12.31(随時)	ラジオCM放送	ゆめウエーブ・FM倉敷	県民各層	ラジオCM放送を通して、県民各層への周知を図った。	ラジオCM放送により、県民各層への周知が図れた。

【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H23.5月	テレビ放送	NHK広島	県民全般	改正内容を紹介	
	H24.1月	ラジオ放送	NHK広島	県民全般	改正内容を紹介	
	H24.1月	テレビ放送	NHK広島	県民全般	改正内容を紹介	

【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	H23.7.6、(2番組)H24.1.11、1.25	ラジオ番組	KRYラジオ(2回)、FM山口(2回)	県民	番組の中で広報	広く県民へ広報
	H24.2.12、2.19	KRY「元気です！やまぐち」	KRYテレビ	県民	県政テレビ番組で、高校での学校献血の状況を紹介し、また69歳まで血小板献血ができることをテロップで流した。	広く県民へ広報
	H23.4.16	県内高校へ周知		高校、高専、支援学校長	各高等学校へ採血基準の改正を通知	県内高校
	通年	採血基準改正に係る周知	KRY山口・tys・YABテレビ・山口ケーブルビジョン・萩ケーブルワーク・FM山口・エフエム萩コミュニティエフエム下関・エフエムきらら・エフエム周南・ブラザFM・FMながと	県民	無料放送協力をお願いしているため番組の空き時間に流す。	4月・5月ごろまでは、頻繁に流れていたが以降は流れる回数減少。
	通年	県ホームページ掲載	県ホームページ	県民	採血基準を掲載	広く県民へ周知

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県	H23.11月、12月、H24.2月	校長会及び各高校において、高校生の学内献血再開について説明	校長会 各公立高校	徳島県内公立高校の校長	新採血制度、若年層献血者の減少等を説明し、献血の再開を依頼した。	校長会36校、高校説明11校
	H23.5.16、7.29	市町村及び保健所等献血担当者会議	徳島県庁 徳島県赤十字血液センター	市町村 保健所の献血担当者	担当者に新採血制度についての概要説明を行った。	66名参加
	H23.5月	新入生・市町村への献血パンフレットの配布		市町村、大学、看護学校等	改正された採血基準をパンフレットに掲載し、配布した。	徳島県内全24市町村、大学等10校
	H23.5月	けんけつ「ハートメッセージ」事業		若年層	若年層に身近なタウン誌『あわわ』『タウン情報トクシマ』の5月号に、採血基準改正に関する記事を掲載し、広報した。	

【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
香川県		コンビニ広報	県内ローソン 104店舗、 ファミリーマート 81店舗	県民	献血ルームの移転及び採血基準の見直しのため、献血推進啓発用のリーフレットをコンビニに配布し、PRした。	

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	H23.4.1	知事メッセージ配布	県内の全ての高等学校	高等学校2年生男子生徒	採血基準が改正されて400mL全血献血が可能となったこと及び献血を呼びかける内容の知事メッセージ「知事からの献血のお願い～17歳を迎えた男子諸君へ～」を配布し周知を行った。	平成24年2月末までで17歳高校生の献血者は418名であった。

【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
高知県	H23.7月～8月	市町村献血担当者会議	県下福祉保健所	市町村献血担当者	平成22年度の献血活動報告	
	H23.12.5	市町村献血主管課長会議	高知県保健衛生総合庁舎	市町村献血主管課長	平成23年度の献血活動報告	
	H24.2.16	高知県献血推進協議会	オリエントホテル高知	高知県献血推進委員	平成23年度の献血活動報告	

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	通年	基準改正の周知	各献血会場及び市町村等担当窓口	県民	基準改正のポスター掲示とチラシ配布	高校へのアプローチがし易くなった。
	H23.7月	ライオンズクラブ並びに市区町村推進担当者合同研修会	7/21九州血液センター 7/25八幡 7/28ステーションホテル小倉 7/29のがみプレゼンホテル	ライオンズクラブ献血担当者、市区町村担当者	「愛のかたち献血」パンフレットを資料とし、採血基準改正などについての説明。	クラブ献血や地域献血において、採血基準の改正を広く周知できた。

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	H23.6月～8月末(毎週月曜日)	採血基準改正に伴うテレビCM	STS佐賀放送局管内	一般視聴者	4月1日採血基準改正についての広報	17歳の400mL献血者が130名あった。また、54歳以上の血小板献血者も600名以上となった。
	H24.3.15～3.31	採血基準改正に伴うテレビCM・ラジオCM・佐賀新聞への広告掲載	STS佐賀放送局管内・FMさが放送局内・佐賀新聞エリア内	一般視聴者	4月1日採血基準改正についての広報	

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	H23.4.5	献血現場からの中継	献血ルーム	視聴者	献血ルームでの献血風景の取材と採血基準改正についてのお知らせ(15分間)	地元番組で視聴率が高く効果があったと思われる。
	H23.4月	県広報誌への掲載	長崎県内	県民	各戸配布の県広報誌に採血基準の変更のお知らせを掲載	各戸配布より、多くの県民に対し広報ができた。
	H23.4月～12月	ラジオCM資料の活用	エフエム長崎・レインボーFM・エフエムささほ	リスナー	空きスポットで3社合計で1,350本出稿	17歳の400mL献血者が370名で予想を大幅上回った。
	H23.4月～12月	高等学校訪問	県内高等学校	17歳(男子)を含む400mL献血者可能者	17歳への引き下げに伴う校内献血(400mL献血)の推進強化	2年生を含めた夏季での献血実施と献血日程の増加傾向となった。
	H23.7.2	テレビ出演	NCC長崎文化放送	視聴者	地域情報番組に出演し、採血基準の変更と、愛の血液助け合い運動への協力をお願い	土曜日の地元情報番組で視聴率が高く効果があったと思われる。
	H24.3月	パンフレットの作成	各学校等	学生等	採血基準改正のパンフレットを作成し、各高等学校、各種学校、大学等へ配布	若年層へ効果的に啓発することができた。

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	H23.4月～	本県オリジナルの情報誌への記事掲載	市町村・大学・専門学校並びに県下各献血会場	配布先職員・学生並びに献血者	本県オリジナルの情報誌配布(年4回発行)に、改正基準を掲載し、広く周知を図る。	情報誌への記事掲載により、広く一般に採血基準が一部改正されたことを周知できた。
	H23.6月	高等学校等への献血協力依頼	県内各高等学校	高等学校長、養護教諭等	献血講座開催及び校内献血の依頼	昨年度より高校生献血が3校増加。人数も342人増加した。
	H23.7月	フリー冊子「高3物語」への情報掲載		県下高校3年生	高校総体特集号として、県下の高校3年生を対象に学校を通じ配布。	17、18歳の高校生に的確な情報発信が行えた。
	H23.9.9	ライオンズクラブ研修	血液センター会議室	県下各ライオンズクラブ代表	研修を通じ、献血の募集、受入れ並びに呼び掛け等の活動をスムーズ行う事を目的とする。	概要に記した活動が、スムーズに行えた。

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県	H24.1.20～2.19	バス車内広告	バス車内	バス乗客	大分市内を走る路線バス110台の車内に、採血基準改正についてのポスターを掲示	バス通学の学生等に対し、400mL献血可能年齢の引き下げを周知できた。

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H23.4月	高校への広報	県内高等学校	高校生	県内の高等学校への文書案内、ポスター掲示等	17歳400mL構成比:0.6%、55歳以上血小板構成比:9.4%
	H23.5.11	県民への広報	宮崎日日新聞	県民	新聞による基準改正の広報	

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県	H23.4月～	会議等を通じた広報	県、保健所、市町村		県及び市町村献血推進対策協議会など各種会議・研修会・講座などで基準改正の趣旨を説明	
	H23.4月～	HP・広報誌等を通じた広報	県、保健所、市町村		県、一部の保健所・市町村において、HPに基準改正を掲載。また一部の市町村において広報誌への掲載、ケーブルテレビの活用、チラシの配布などにより広報	
	H23.4.1～4.30	県政広報番組枠を活用した広報		一般県民	県政広報番組枠を活用し、基準改正を広報	
鹿児島県 鹿児島県赤十字 血液センター	H23.4月～	高校訪問による広報	県内高等学校	校長等	県、一部の保健所において、血液センター職員と高等学校を訪問し、校長等に基準改正の趣旨を説明又は献血出前講座により、生徒・教員に周知を図った。	
	H23.4月～	情報誌「ABOネット」に掲載	献血バス及び固定施設	献血者及び献血団体・医療機関へ配付	献血情報誌として、献血団体や輸血を受けた方の記事などと併せて、基準改正の記事を掲載し42,000部配付	
	H23.4月～	ポイントカード	県内高等学校	高校生	高校生向けに基準改正を広報し、特典をつけて固定施設及び献血バスへ誘導	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	H23.4月～12月	採血基準改正	テレビ・ラジオ	県民一般	採血基準改正について、県民へ周知を図るため、テレビ(HDカム)・ラジオ(MD・MO)のCM素材で番組放送の依頼し広報を実施する。	
	H23.4月～H24.3月	採血基準改正	推進用チラシ・センター機関誌	献血団体・一般住民	推進用チラシ(献血者推進用チラシの裏面に採血基準改正を掲載し献血団体職員へ告知及び周知する)機関誌(行政等の窓口において、告知及び周知する)	

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	通年	キッズスペースの設置及び専門職(保育士)によるキッズ対応	血液センター	子育て親子	子育て中の親子が安心して、来所できる環境整備。	専門職によるキッズ対応は、献血中の親の安心感をより満たし、献血のリピーター化に繋がっている

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H23.4.1~H24.3.31	青森市PTA献血	青森市内小・中学校等	青森市内小・中学校PTA	小・中学校に献血バスを配車し、保護者が献血している姿を子供に見てもらった。	延845人の協力

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	通年	献血ルーム新装オープンに併せキッズコーナーを設置	献血ルーム	親子連れ献血者	キッズコーナーに絵本やぬり絵を常備するとともに、幼児向けDVDも設置し自由に観ることができる。	主に休日、親子連れが利用している。また、親が献血中にキッズコーナーの様子を採血ベッドのTVで見る事ができるようキッズコーナー監視用カメラを設置しているため安心できると好評である。
	毎月第2・4土曜日	折り紙教室	献血ルーム	親子連れ献血者及び一般献血者	ボランティア団体の協力のもと折り紙教室を実施している。季節に合わせた折り紙をルーム内や採血用TVに掲示、またしおりや折り紙のコマ等の作品を自由に持ち帰り出来る。	親子連れの献血者に人気である。献血者の中には、折り紙教室だけに来所される方もいる。折り紙教室で作られたしおり等の作品は人気ですぐになくなる事が多い。

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	H23.4月~	「ふれあい献血」キャンペーン	県内各所	県民	秋田県内で人が賑わう場所において、親子連れの方や普段献血の機会のない方の献血を通じ、献血思想の普及を図った。	
秋田県(血液センター)	H23.5.13	赤十字の仕事	イオンモール秋田セントラルコート	幼児から中学生	秋田県の赤十字合同イベントにおいて、血液センターでは幼児から中学生を対象とした疑似体験による献血啓発を行った	日赤秋田県支部主催
	H23.7.23	秋田県赤十字血液センター夏の感謝祭	秋田県赤十字血液センター	主に小学生	親子で献血の疑似体験をして頂き、参加していただいた子供に修了証書を所長名で贈呈した	50名程の親子に参加頂いた

【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県(血液センター)	H23.5.5	はたらく車大集合	七日町歩行者天国	献血者及び一般来場者	献血バス2台で希望があれば親子で献血バスへ乗車。	献血受付者数123名

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H23.8.2~8.3	夏休み血液センター見学会	福島県赤十字血液センター	小学4~6年生	血液センター、献血バスの見学、「キッズ献血模擬体験」等をおして、献血に興味を持って楽しんでもらう企画。	
	H24.2.11~2.12	献血フェスティバルinふくしま2012	福島県赤十字血液センター	献血年齢に満たない子供	各種イベント(バルーンショー、バルーン教室等)を通して、親子で楽しめる企画。	

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	H23.5.3~5.5	ゴールデンウィーク献血キャンペーン	ぐんまこどもの国	若年層から成人と幅広い年齢層の来場者	ゴールデンウィーク期間中に若年層とファミリーが沢山集まる公園に採血車を配車。けんけつちゃんに着ぐるみによる啓発活動を行い、子供ヘンジャボン玉の配布やミニゲームを行い献血会場でのふれあいと保護者への献血協力を呼び掛けを図った	献血会場で子供が楽しめるスペースが好評で献血者確保に繋がった。

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県(血液センター)	H24.3.1~3.31(実施期間) H24.3.25(イベント)	親子ふれあい献血キャンペーン	県内8献血ルーム アリオ深谷	親子を中心とした幅広い世代	親子連れで来てもらい、親の献血する姿を子供に見せ、献血することで救える命があることを子供に伝えた。	献血受付者291人、献血者226人 うち400mL献血163人
	H23.10月	キッズスペースの設置	川越献血ルーム	親子連れの献血者	献血中の子供の待機場所としてキッズスペースを確保した。	

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県赤十字血液センター	H23.11.19~	柏献血ルーム移転	柏献血ルーム(千葉県柏市)	ご家族・お子様連れのご協力者	当該ルームに県内初のキッズスペースの設置	ご家族連れやお子さま連れの協力者に好評。
	H23.8.4	キッズ献血セミナーなるほど！献血ゼミナール	千葉県赤十字血液センター千葉港出張所/東京都赤十字血液センター	小学生とその保護者	親子で血液センターを見学し、スライドやクイズなどにより献血のしくみと大切さを学ぶ。	児童21名を含む39名が参加

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	常設	環境整備	献血ルーム(吉祥寺タキオン・町田コンファニー・池袋ぶらっと・池袋いーすと)	親子連れ	献血ルームリニューアル時に多目的スペースを設置し環境整備を継続して行っている(H23年度は2ルーム)	

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
神奈川県赤十字血液センター	常設	キッズスペースの整備	かわさきリフレ献血ルーム	親子連れ	こども連れの献血者にも安心して来所いただけるよう、キッズスペースを整備、絵本やアニメDVDを設置した。	

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	常設	キッズスペースの設置	献血ルーム千秋	親子連れ	献血ルームを訪れる親子連れのために、キッズスペース(献血ルーム千秋に限る。)の設置、絵本の配置を行った。	
	常設	幼児・子供向け絵本の配置	献血ルーム	親子連れ	献血ルームを訪れる親子連れのために、キッズスペース(献血ルーム千秋に限る。)の設置、絵本の配置を行った。	
	H24.1	イベントでの幼児参加による献血マーチ(踊り)PR	イオンモール新潟南	幼児期の子供	「はたちの献血キャンペーン」イベントにおいて、来場の親子に呼びかけ、一般参加により新潟県オリジナル献血マーチを踊った。	

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H23.8.7	はたらく車(採血車展示)	富山祭り会場	一般県民	親子いっしょに献血バスの乗車体験	150名程の見学あり
	H23.4月～H24.3月	親子連れの献血で落書き帳を配布	ショッピングセンター	幼児		
	H23.11月	けんけつちゃん着ぐるみの整備		一般県民	各種イベント開催時に使用。	子供たちの記念撮影など幅広い世代に好評を得た。

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
石川県赤十字血液センター	H23.7.30、8.13、8.27	なぜ?なに?おしえてけん血	血液センター	小学生及び保護者	血液、献血について学び、血液センター施設、車両を見学した。	小学生113名、保護者82名、計195名の参加があった。

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県赤十字血液センター	H23.5月(1か月間)	園児の絵の展示会	血液センター	親子(園児)	血液センター見学後に絵を書き、展示する展示した絵を、親子で見に来て貰う	
	H23.7.26、7.27 H23.8.1、8.2	親子献血教室	血液センター	親子(小学生)	親子で献血について学ぶための教室を開催し、献血の普及啓発を行った。	

【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県(血液センター)	H23.11.20	県民の日献血	小瀬スポーツ公園	県民	県民の日のイベントで赤十字スペースを作ってもらい、移動献血車により献血実施	県民への周知

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H23.8.22～8.23	夏休み血液センター見学会	血液センター	小学生(3～6年生)及び保護者	血液センター施設見学で献血の必要性及び重要性を学ぶ機会を創出し将来の献血者を育成することを目的とし、血液センター施設見学、スライドによる説明、DVD(りょうまとけんけつちゃん)上映を行った。また、支部の協力により、災害時炊き出し体験、ミニ救急法学習を行った。	参加者40名

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県(血液センター)	H23.8.19	静岡県民の日:施設公開	静岡県赤十字血液センター	県民	献血バス展示(玄関前) 緊急血液運搬車展示(玄関前) 小学生用献血クイズDVD上映(玄関ホール) 献血紹介パネル展示(玄関ホール)	献血思想の普及

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	H24.2.8移設	伊勢出張所移設	伊勢出張所	伊勢志摩地区の幅広い年代	多目的スペースを設けた献血ルームを県下で初めて開設した。	子ども連れの献血者が月あたり約20名増加した。

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	H23.8.28	1000人献血の会 献血学習船	長浜港～琵琶湖	幼児・小学生～高校生保護者	幼児～保護者まで、「すいすい号」に乗船し、琵琶湖上で献血に関する勉強会を開催し献血活動への理解・普及の機会を創出することを目的とする。	長浜市内の幼稚園・保育園から高校まで、参加者を500名の目標に掲げ広報をした結果、786名の参加があった。

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H23.11.25	献血ルーム四条の移転	献血ルーム四条	親子	キッズスペースの設置等	

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府赤十字血液センター	H23.11.23～	御堂筋献血ルーム開所	御堂筋献血ルームCROSS CAFE	府民	キッズスペースを設置した	

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H23.7.27	夏休み子ども見学会	血液センター	県内小学生及び父兄	ホームページ、ニュースリリース等により親子参加型の血液センター見学会の参加を広く募集し、幼少期における献血啓発を行った。	親子82名の参加があり、それぞれに対するアンケートも実施し、献血啓発を図ることができた。
	H23.12月、H24.3月	キッズスペースの設置	塚口ルーム及びみゆき献血ルーム	子供連れの献血者	既存の献血ルームの改修及び移転に併せ、20代後半から30代の女性を中心に親子が献血に触れ合う機会の拡大を目指し、子供連れの献血者の受入体制を準備した。	幼少期の献血に触れ合う機会と家族構成を配慮した献血者確保を図ることができた。

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	H23.11月	キッズスペースの設置	固定施設	幼児	ロビー一面に低反発マットを敷き、おもちゃ等設置	靴を脱いで座りこめるので、子供に好評。よく利用されている。

【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県赤十字血液センター	H23.5.3	第3回赤十字ふれあい広場	和歌山市大型スーパー	幼児・小学生・中学生	献血バス横に専用ブースを設置し、献血に関するアンケートを実施。 参加者にはけんけつちゃんオリジナルグッズを進呈。	計199名の参加があり、献血に慣れ親しんでいた。
	H23.5.28	海上自衛隊イベント	和歌山港埠頭	幼児・小学生・中学生	献血バス横に専用ブースを設置し、献血に関するアンケートを実施。 参加者にはけんけつちゃんオリジナルグッズを進呈。	計61名の参加があり、献血に慣れ親しんでいた。
	H23.7.10	和歌山大運動会	ビッグホール	幼児・小学生・中学生	献血バス横に専用ブースを設置し、関西独立リーグ紀州レンジャーズ球団選手と共に献血に関するアンケートを実施。 参加者にはけんけつちゃんオリジナルグッズを進呈。	球団選手の協力もあり児童計134名に献血に慣れ親しんでいた。また、父兄の方々に献血協力していただいた。

【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	年間		血液センター	幼稚園児等	けんけつちゃんの塗り絵や絵本を準備し、献血に触れ合う機会を設けている。	

【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	H23.7.27～7.29 H23.8.1～8.4	夏休み小学生親子血液センター見学体験教室	岡山県赤十字血液センター	県内小学校5.6年生及び保護者	将来の献血者として、輸血医療を支えていただける小学生に親子で血液や献血について知識や興味をもっていただくと共に親しんでいただくことで献血思想の普及を図った。	県内417校の小学校に参加を呼びかけ、121校・604名(保護者含む)の参加があった。

【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H23.7.26～7.28	なるほど献血教室	血液センター	小学生高学年と保護者等	献血バス及び血液センター見学、血液に関するクイズ等	児童133名・保護者189名・計322名参加
	常設	ルームにキッズスペースを設置	もみじ			
	常設	子供用DVD観賞スペースを設置	ばら			

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県	H23.4.1	「献血ルーム アミコ」の移転に伴う新装オープン	献血ルーム アミコ	一般	献血ルームアミコの移転に伴い、総面積が3倍と広くなり、ベッド数は6床から10床へ、また、キッズスペースも設けた。採血するルームからは、市のシンボルである眉山が見渡せるようになり、非常に過ごしやすいうルームとなった。	
	H23.10.15、10.16 H23.10.25～11.4	献血推進ポスター入賞作品展示	くすりと健康フェア会場 徳島県庁県民ホール	一般	小中高校生に書いていただいた献血推進ポスターを展示し、親子が献血についての理解を深める機会とした。	

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	H23.7.1～8.31	親子参加による献血の募集	愛媛県大街道献血ルーム	一般	予約献血により一定規模の希望者を確保することにより、臨時的に休憩室の一部をキッズスペースとして使用できないか検討した。	希望者はいなかった。

【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
高知県	H23.7.3	七夕献血	高知市中央公園	若年層中心		
	H23.12.3～12.25	クリスマス献血	高知市中央公園、イオンモール高知	若年層中心		
	H24.2.12	バレンタイン献血	高知市中央公園	若年層中心		

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	H23.8.27	東月隈校区献血ふれあい事業	東月隈公民館	東月隈小学校学童及び保護者	公民館を貸切、「献血とは輸血とは」の話、移動採血車内の見学、献血に纏わるクイズ大会、DVD上映などを実施	校区献血前であったため、保護者の方々の意識向上もあってか、献血当日、20名程度参加者が増加した。
	通年	献血ルーム内キッズスペース	献血ルームおっしょい博多	献血来場者に同伴する子供	ルーム内にキッズスペースを設置。子供連れでも安心して献血できるようにスタッフが目視できる位置に設置しており、献血に纏わる絵本なども置いて遊びながら献血を学ぶことができる。	子供連れでも安心して献血できるようになったことで、特に休日では家族で来所(献血)する方が増加した。

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	H23.8.27	夏休み子ども献血教室in109シネマズ	109シネマズ(モラージュ佐賀内)	小学生及び保護者	スライドを使用し小学生に献血の必要性及び重要性を学んでもらい、将来の献血者を育てる。(参加者数178名)	後日感想文の提出をお願いした結果、献血に対する理解が多少なりとも得られたと思われる。

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	H23.9.24	秋の献血キャンペーン2011	献血ルーム「西海」	一般市民	大学生がキッズコーナーを設置し、輪投げ等様々な遊びを用いて、お子さんを一時預かり、安心して献血して頂く時間を親子が安心して献血できる環境を作った。	
	H23.11.20	学生ボランティアと社会人ボランティアとの合同研修会	サンホテル飯田	学生、社会人	学生及び社会人との合同研修会で職員による講義により血液・献血の理解を深め、今後の活動方針について協議した。	
	H23.12.17	全国学生献血キャンペーン2011	献血ルーム「西海」	一般市民	大学生がキッズコーナーを設置し、輪投げ等様々な遊びを用いて、お子さんを一時預かり、安心して献血して頂く時間を親子が安心して献血できる環境を作った。	

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	H23.8.2～8.5	「のぞいてみよう赤十字」	血液センター敷地内	小3～6年生とその保護者	「献血」並びに「赤十字について」のセミナー、血液センターの施設見学、採血車にて模擬献血、心肺蘇生法、災害救援食炊飯実習、救護物資等の展示。	献血ばかりでなく赤十字への理解も深まったと思える。期間中、240名参加。
	H24.3.17	出前献血教室「ハービット号」	ホンダ技研工業熊本製作所敷地内	新入学児童及びその保護者	熊本県大津地区（大津町近隣4市町村）において、新入学児童及びその保護者を対象に開催されている親子交通安全教室に出向き、「命の大切さ」をテーマとした「命」とつながる「健康」「献血」に対する情報提供のためのクイズ実施や採血車内での模擬献血体験を行った。	献血クイズや模擬献血を通じ、広く子供達に「命」や「献血」の大切を伝えると共に、保護者に対する献血の普及啓発ができた。

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県赤十字血液センター	H23.7.29、8.7	夏休み親子けんけつ教室	献血ルーム及び九州センター	親子（小学生と保護者）25組（64人）	献血の重要性を理解していただくため、献血現場や血液製剤の工程を見学する。また今回より保護者が実際に献血している姿を見学してもらった。	県内すべての小学校へ県教育委員会を通じてポスター等を配布し、25組（64人）の参加があった。

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H23.11.13、11.20	親子で参加献血スクール	県内小学校	小学生親子	小学生の親子で参加する献血教室	参加者：100人×2回
	H24.1.15	はたちの献血キャンペーンイベント	イオンモール（宮崎市）	幼児、小学生親子	けんけつちゃん、ご当地キャラクターヒムカイザーと献血クイズ、献血バスでの記念撮影等。	献血者：65人

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県赤十字血液センター	H23.8.8～8.10	楽しく学ぼうキッズ献血	血液センター	小学4年～6年生と保護者	小学生とその保護者を対象に夏休みに実施し、命の大切さや献血の重要性を教え、献血バスを使用した模擬献血を行うことなどにより、将来の献血への誘導を図る。	情報誌への掲載や教育委員会を通じて小学校へ呼びかけたりし、キャンセル待ちの出る応募があった。

③「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	H23.3.1 H23.3.2 H23.9.12	ライオンズクラブ講演会（献血セミナー）	ホテル講演会場	ライオンズクラブ会員（ライオンズクラブ331-A地区、全53団体）	献血推進の講演を行う。	血液事業に積極的なご支援とご協力を継続して頂いている。
	H23.11.29	献血フォーラム	ホテル講演会場	日赤表彰受賞団体、複数回献血者、献血メールクラブ会員、各ボランティア団体（参加者230名）	日赤表彰受賞団体、複数回献血者、献血メールクラブ会員、各ボランティア団体を対象に、日赤表彰や外部講師の講演などを実施。	表彰式や講演を実施することは、継続的な協力に効果的である。
	H23.4月～10月	献血推進講演会（献血セミナー）	高校、専門学校、看護学校	高校生、専門学生、看護学生（武修館高校、他4校、参加者490名）	学校長を始め教員の理解のもと、1時間程度の献血推進講演を行う。	血液事業の重要性と必要性等を理解頂けた。

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H23.5.12	青森県立青森中央高等学校研修会	青森県立青森中央高等学校	3年生	血液や献血に関してのスライド、パンフレット、DVDを使用して勉強会を行い、献血へ理解を深めてもらった。	生徒17名、先生2名参加
	H23.6.14	青森市立浪打小学校研修会	血液センター	3年生	スライドを使用して、血液及び献血についての勉強会を開催し、献血バスや献血搬送車の乗車体験をもらった。	生徒21名、先生1名参加
	H23.7.27～7.29	献血親子セミナー	血液センター	小学校4～6年生と保護者	小学生の頃から献血に興味を持ってもらえるようにとスライドを使用して血液や献血についての勉強会を開催し、献血バスや献血搬送車の乗車体験をもらった。	生徒47名、保護者8名参加
	H23.10.15	「いのちと献血俳句コンテスト」学校訪問キャラバン	青森県立八戸高等学校	1年生	「いのちと献血俳句コンテスト」の俳句贈呈式の前に、スライドを使用して若年層の献血及び青森県の献血状況を説明した。	生徒240名、先生9名参加
	H23.12.10	青森市立浅虫小学校研修会	血液センター	1～6年生	スライドを使用して、血液及び献血についての勉強会を開催し、献血バスや献血搬送車の乗車体験をもらった。	生徒20名、スタッフ3名参加

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	H23.7.26、7.27、8.1、8.2、8.3、8.4(延12回)	親子の血液センター見学会	岩手県赤十字血液センター	小学生とその保護者	スライドを使用し血液センターの仕事、血液の働きなど説明し献血バス内や血液保管庫の見学等を行っている。	盛岡市近郊の小学校80校に案内を出し333人の参加があった。
	H23.7.5	高校生JRC委員会	日本赤十字社岩手県支部	高校生JRC委員会	献血セミナー用映像資料の活用。岩手県の献血の現状の説明と献血の依頼。	JRC委員会70名参加があった。
	H23.7.15	献血セミナー	岩手県立一関第一高等学校	高校生および教職員	スライドを使用し献血の説明をした。	生徒・教職員38名の参加があった。
	H24.2.26	献血ハートフルコンサート	大型ショッピングセンター	若年層	ミニコンサートの開催と献血トークショーFMラジオによる公開放送	200名の参加と公開放送により広く県民に献血の必要性を訴えた。

【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮城県赤十字血液センター	H23.5.25他計5回	献血セミナー	各高等学校等	中学生～社会人	若年者層の献血啓発、普及を目的として実施	5回開催で約820名参加
	H23.7.30、7.31の2日間で4回開催	献血キッズサマースクール	血液センター	小学校4年生～6年生とその保護者	若年者層の献血啓発、普及を目的として実施	117人 99人

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県 (血液センター)	H23.5.13	献血講話	秋田市立川尻小学校	小学生	小学校の体育館に児童へ献血啓発用パネルを使用し講話を含めた説明。また、校内に献血バスを設置しバスの中で献血の流れを説明。	5年生100名
	H23.7.14	献血講話	秋田県警察学校	警察学校生	血液事業に関わる内容をスライド説明ならびにセミナー用のDVDを上映するとともに献血バスを設置し献血にご協力いただいた	100名に対し講演
	H23.7.23	親子ふれあい献血体験	秋田県赤十字血液センター	小学生と大人	親子で献血の疑似体験をして頂き、参加していただいた子供に修了証書を所長名で贈呈した	50名程の親子に参加頂いた
	H23.7.27	施設見学	秋田県赤十字血液センター	県民	血液事業に関わる内容をスライド説明するとともに施設見学等を実施	23人の見学者
	H23.7.28	施設見学	秋田県赤十字血液センター	県民	血液事業に関わる内容をスライド説明するとともに施設見学等を実施	16人の見学者
	H23.8.15	施設見学	秋田県赤十字血液センター	中学生	血液事業に関わる内容をスライド説明するとともに施設見学等を実施	2人の見学者
	H23.10.6	施設見学	秋田県赤十字血液センター	中学生	血液事業に関わる内容をスライド説明するとともに施設見学等を実施	8人の見学者
	H23.12.15	献血講話	太陽生命ビル内生命保険協会	協会員	血液事業に関わる内容をスライド説明ならびにセミナー用のDVDを上映した	13人に対し講演
	H23.12.17	献血講話	秋田県青少年交流センターユースバル	青年赤十字奉仕団	血液事業に関わる内容をスライド説明ならびにセミナー用のDVDを上映した	30人に対し講演

【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県	通年	次世代の献血者育成事業	県内中学校	中学生(主として3年生)	まもなく献血が可能になる中学生(主として3年生)に対し、献血の仕組みや必要性について啓発を行い、将来に向けた安定的な献血協力体制の基盤整備を図った。	中学校42校に対し啓発資料を配布。うち、5校で献血に関する講演を実施。
山形県 (血液センター)	H23.11.14	青少年ふれあい事業	宮城県赤十字血液センター	高等学校1校35名	宮城県赤十字血液センター施設見学。	献血受付者数107名
	平成23年度	献血セミナー	中学校	8校	スライド及びDVDを使用し献血の推進。	先生・生徒約800名
	平成23年度	献血セミナー	高等学校	2校	スライド及びDVDを使用し献血の推進。	先生・生徒約180名

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H23.8.2～8.3	夏休み血液センター見学会	福島県赤十字血液センター	小学4～6年生	血液センター、献血バスの見学、「キッズ献血模擬体験」等をおして献血に興味を持って楽しんでいただく企画。	
	H23.9.19	献血イベントinアオウゼ	MAXふくしま(福島市)		日本赤十字社福島県支部、福島赤十字病院、福島県赤十字血液センター合同イベント。献血の他に、講演会、救急法等講習会、ハンドマッサージ、DVD上映会等の内容。	
	H24.1.27、1.30	キッズけんけつ出前講座	福島市内の私立幼稚園2カ所	幼稚園児	福島県、福島県赤十字血液センター主催による園児を対象とした献血出前講座。献血読み聞かせ、バルーンアートショー等の内容。	
	H24.2.11～2.12	献血フェスティバルinふくしま2012	福島県赤十字血液センター	献血年齢に満たない子供	各種イベント(バルーンショー、バルーン教室等)を通して、親子で楽しめる企画。	

【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県赤十字血液センター	通年	献血出前セミナー	高等学校及び大学	高校生及び大学生	パワーポイント及び映像素材等を使用し血液に関するセミナーを実施	4ヶ所で実施 616名参加

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	H23.8.2、8.3、8.5	夏休み親子献血教室	群馬県赤十字血液センター	献血に興味のある小学5年・6年生とその保護者	学童期から献血に親しんでもらうことを目的として、血液の仕組みや献血について学んでもらい、施設見学や献血バスによる献血疑似体験などを実施。	毎年参加者より好評のイベントであり継続して当該事業を実施する予定である
	H24.2.22～2.23	血液センター見学実習	群馬県赤十字血液センター	准看護学校の学生	若年層で将来の医療従事者を対象に、説明会や施設見学で献血と血液について知識と理解を深めてもらった	毎年継続した研修会であり、今後の献血参加と医療従事者としての知識が深められたと思う

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県 (血液センター)	通年	献血に関する出前講座	申込のあった小中高等学校	学生、教員、学校保健委員会	血液センター顧問を講師とした献血啓発講座	県内15校で講座を実施した。

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県赤十字血液センター	H23.4.1～	献血セミナー(出前講座)	市民ホール・各高校・専門学校等	一般～高校専門学校生等	スライド・DVDなどを用いて、血液と献血のしくみを学習し、献血への理解を深める。	高校4回、一般1回、専門学校1回実施し、1300人以上が参加。
	H23.4.1～	献血体験学習	各献血ルームなど	小・中学校の児童生徒	テキスト・スライドなどによる献血講座を受けたのち献血ルームなどで実際に協力呼びかけ・献血者の接遇などを行い、献血への理解を深める(職場体験と合わせて実施)	小中学生を対象に15回実施し児童・保護者・教員などを含め206名が参加。

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	H23.4.1～随時	献血セミナー	団体の施設内(講堂・会議室など)	献血団体・幅広い年代	パンフレットの活用や受講者に合わせた資料を作成。説明会時に映像素材も活用して実施している。	高校・大学(計10校)や地域PTAなどを中心に実施。
	H23.7.25～7.26、7.30、8.2、8.4～8.5	なるほど！献血ゼミナール	血液センター所内	小学校中高学年を中心とした年代	小学生向けの広報資料を用い、将来を担う若年層への献血思想の普及・啓発を実施した。	平成23年度参加者実績、570名(子供 332名、保護者 238名)

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
神奈川県赤十字血液センター	H23.5.7	寒川町赤十字奉仕団総会	寒川町町民センター	同奉仕団員55人	スライドを用いて、献血に関する知識をつけていただき、今後の献血協力等につながる様な講話を実施	
	H23.5.13	PTA献血事前説明会	横浜市立城郷小学校	同小学校PTA25人	献血の必要性、移動車配車当日の献血者確保、こども達の将来の献血にもつなげていただく様説明	
	H23.6.1	PTA献血事前説明会	横浜市立新田中学校	同中学校PTA20人	献血の必要性、移動車配車当日の献血者確保、こども達の将来の献血にもつなげていただく様説明	
	H23.7.12	献血セミナー	神奈川県立神奈川学園中学校	生徒40人	輸血用血液の流れ、献血の必要性、献血に関する知識等を知っていただき、今後の献血協力等につながる様な講話を実施	
神奈川県 神奈川県赤十字血液センター	①H23.7.25～7.29 ②H23.8.1～8.5 ③H23.8.8～8.19	平成23年度『夏休み小中学生親子献血教室』	①及び③神奈川県赤十字血液センター(厚木会場) ②横浜駅西口献血ルーム等(横浜会場)	県内小中学生および保護者等	スライドを用いて、献血に関する知識をつけていただき、血液センター母体や、ルーム(移動採血会場)を見学してもらうとともに、将来の献血者になっていただく様お話をした。	厚木会場(小学生133人+中学生36人+保護者116人+幼児27人)、横浜会場(小学生95人+中学生11人+保護者77人+幼児17人)
神奈川県赤十字血液センター	H23.9.8	PTA献血事前説明会	横浜市立新吉田小学校	同小学校PTA30人	献血の必要性、移動車配車当日の献血者確保、こども達の将来の献血にもつなげていただく様説明	
	H23.9.14	PTA献血事前説明会	横浜市立太尾小学校	同小学校PTA30人	献血の必要性、移動車配車当日の献血者確保、こども達の将来の献血にもつなげていただく様説明	
	H23.9.16	PTA献血事前説明会	横浜市立長津田小学校	同小学校PTA19人	献血の必要性、移動車配車当日の献血者確保、こども達の将来の献血にもつなげていただく様説明	

神奈川県赤十字血液センター	H23.10.15	PTA献血事前説明会	横浜市立高田小学校	同小学校PTA30人	献血の必要性、移動車配車当日の献血者確保、こども達の将来の献血にもつなげていただく様説明	
	H23.10.19	個人ボランティア研修	神奈川県民活動サポートセンター	個人ボランティア3人	赤十字ボランティアの心得を学ぶため、奉仕団基礎研修を実施。その後、DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」の視聴、スライドを用いて、献血に関する知識を再確認いただき、今後の献血広報協力につながる様な講話を実施	
	H23.10.26	個人ボランティア研修	藤沢産業センター	個人ボランティア8人	赤十字ボランティアの心得を学ぶため、奉仕団基礎研修を実施。その後、DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」の視聴、スライドを用いて、献血に関する知識を再確認いただき、今後の献血広報協力につながる様な講話を実施	
	H23.11.7	校内献血 事前学習	向上高校(伊勢原市)	3年生 580人	DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」視聴後、輸血用血液の流れ、献血の必要性、医師・看護師による検診等献血の安全対策について知り、当日の献血申込者増につながる講話を実施 また、日赤本社作成『採血基準変更周知用クリアファイル』を配付し、周知を図った。	
	H23.11.25	平成23年度平塚市内献血協力団体献血推進会議	平塚市保健センター	平塚市内献血協力団体(企業)担当者	DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」視聴後、スライドを用いて、献血に関する知識や、少子高齢化における献血者減等献血の現状・平塚市内の献血状況等を知っていただき、今後の社内献血協力時に活用できる様な講話を実施	
	H23.12.19	校内献血 事前学習	向上高校(伊勢原市)	2年生 435人	DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」視聴後、輸血用血液の流れ、献血の必要性、医師・看護師による検診等献血の安全対策について知り、当日の献血申込者増につながる講話を実施 また、日赤本社作成『採血基準変更周知用クリアファイル』を配付し、周知を図った。	
	H24.2.3	ライオンズクラブ国際協会330B地区4リジョン 献血学習会	川崎日航ホテル	4リジョン会員20人	配付資料(スライド画面等)を用いて、献血に関する知識をつけていただき、今後の献血協力等につながる様な講話を実施	
	H24.2.18	親子献血教室	川崎市立中原小学校	同小学校PTA21人・小学生18人・校長・教頭	スライドを用いて、献血に関する知識をつけていただき、今後の献血協力・献血広報協力につながる様な講話を実施	

神奈川県赤十字血液センター	H24.2.23	献血セミナー	横須賀市立津久井小学校	教員38人 全校生徒498人	献血に関する知識や、少子高齢化における献血者減等を知っていただき、今後の献血協力等につながる様な講話を実施	
	H24.2.24	川崎市立商業高校 献血学習講演会	同校視聴覚ホール	3年生 234人	DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」視聴後、スライドを用いて、献血に関する知識や、少子高齢化における献血者減等を知っていただき、今後の献血協力等につながる様な講話を実施	
	H24.3.15(予定)	川崎市立商業高校 献血学習講演会	同校視聴覚ホール	1年生 233人	DVD「ありがとう！っていっぱい言わせて」視聴後、スライドを用いて、献血に関する知識や、少子高齢化における献血者減等を知っていただき、今後の献血協力等につながる様な講話を実施	

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
新潟県	随時	献血普及講演会	高等学校、中等教育学校、専門学校	小学生～専門学校生	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図った。	11校実施
	随時	献血ルーム見学会	献血ルーム	小学生～専門学校生	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図った。	4校実施

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H23.7.30 H23.8.6	親子見学会(高学年)	血液センター	小学5年～6年生	献血の説明会、施設見学、献血バスや献血運搬車の乗車体験	親子21組 50名参加 参加者が献血をテーマにした新聞コンクールに応募し入選した。
	H23.8.3	献血セミナー	砺波青少年の家	小学生・中学生・高校生	献血の説明会	小・中学生60名、高校生21名、他教職員(合計約100名参加)
	H23.9.20	献血セミナー	高岡市戸出東部小学校	小学4年～6年生	献血の説明会	参加児童数150名 校長先生からは講演について高評価をいただいた。

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
日本赤十字社 石川県支部 石川県赤十字血液センター	H23.6.3	第32回石川県高等学校JRC大会グループ活動	いしかわ子ども交流センター	高校生	献血についての講話を行い、献血の必要性を訴える。	県内高校生200名が参加した。

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県赤十字血液センター	通年	血液センター見学会	血液センター	小学生、高校生、奉仕団	血液センターの見学会をとおして、献血の普及啓発を行った。	
	H23.7.26、7.27、8.1、8.2	親子献血教室	血液センター	親子(小学生)	親子で献血について学ぶための教室を開催し、献血の普及啓発を行った。	
福井県赤十字血液センター	通年	血液・献血出前講座	各高等学校	高校生	血液・献血出前講座を14校で実施し、献血の普及啓発を行った。	
福井県赤十字血液センター	H23.10.25、11.8、11.15、11.16、11.17	中学生社会体験学習	血液センター	中学生	血液センターの実務を体験してもらい、血液事業の普及啓発を行った。	

【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県(血液センター)	H23.8.8	青少年赤十字リーダー養成トレーニングセンター	献血ルーム	県下高校生	献血ルームにおいて献血及び献血の呼びかけ	各高校において献血推進協力者となった
	H23.8.9	日赤救急法	山梨赤十字会館	県下高校生	献血の啓発活動	各高校において献血推進協力者となった
	H23.9.8	ポケモン訪問キャラバン	昭和町立西条小学校	西条小学校4年生	「俳句コンテスト」の訪問キャラバン終了後の献血啓発を目的とした説明会	献血を知る機会ができた
	H23.10.14	ボランティア学習会	県立山梨園芸高校	山梨園芸高校3年生	献血啓発及び参加を目的とした出張出前講座	高校集団献血時の献血者増につながった
	H23.10.18	保健講話	県立桂高校	桂高校全学年	献血啓発及び参加を目的とした出張出前講座	高校集団献血時の献血者増につながった
	H23.11.1	「総合的な学習の時間」における郊外調査活動	山梨赤十字会館	県立北杜高校2年生	献血の啓発活動	高校において献血推進協力者となった
	H23.11.5	青少年赤十字高校生活動実践発表会	山梨赤十字会館	県下高校生	献血の啓発活動	各高校において献血推進協力者となった

【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長野県	年間	長野県政出前講座	集会場、公民館等	県内に在住、在勤、在学するグループ	「身近に感じる献血」をテーマに最新情報や県の施策について、県職員による説明・紹介や意見交換を行う。	

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H23.10.5	職場体験学習	血液センター	中学生	中学生を対象とした職場体験学習を受け入れ、各課の実務を体験したり、献血や血液について学習をし、血液センターへの理解を深めてもらった。	参加者9名
	H24.9月、11月(実施)	献血セミナー	高等学校2校	高校生	高等学校2校で計1,500人対象に献血セミナーを実施した。	

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県(血液センター)	H23.7.9、10.30、11.19、11.27、12.10	献血セミナー	静岡県赤十字血液センター	学生献血ボランティア	広報活動、採血基準、キャンペーン企画、広報資料等について	献血者増加、献血思想の普及
	H23.7.9、12.17	献血セミナー	イオンモール富士宮	日本大学CSA	セミナー映像視聴、および採血基準等、DVD映像視聴、および採血基準等	献血者増加、献血思想の普及
	H23.5.21、6.4、6.18、6.25、7.2、7.30、8.6、10.8、10.15、10.29、11.12、11.26、12.3	献血セミナー	聖隷クリストファー大学、イオンモール浜松市野	浜松学生献血推進委員会	若年層献血の必要性、広報活動、採血基準、キャンペーン企画、広報資料、冬期の献血者確保、学生献血ボランティアについて	献血者増加、献血思想の普及

【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
愛知県	H23.8.22 H23.8.24,25	夏休み親子血液教室	愛知県豊橋赤十字血液センター 愛知県赤十字血液センター	小学生の親子	小学生の親子を対象に血液の大切さをDVDや学生ボランティアによるクイズにより学ぶ「血液教室」を開催。	参加者 352名(うち、子ども215名)

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	H24.7.25	血液センター見学会	血液センター(津市)	県下高校生等46名	研修会(DVD視聴及び講義・施設見学)を実施した。	

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	H23.11.5	献血セミナー	草津市(矢倉小学校)	小学生と保護者	矢倉小学校区「ふれあいまつり」で献血バスの見学と献血クイズを実施して、献血活動への理解・普及の機会を創出することを目的とする。	矢倉小学校600名に対し、学校から案内文を配布した結果、125名の参加があった。

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H23.7.27、8.4、8.5	こどもレッドクロス隊	日本赤十字社京都支部	小学性4～6年生の親子	夏休み、親子で命の大切さを学ぼう	
	H23.8.2	Kids献血探偵団	献血ルーム京都駅前	小学生とその保護者	献血ルーム見学、啓発映画鑑賞ほか	
	H23.8.25	映画と講演会のタペ	東和小学校	東和学区の親子	献血セミナー	
	H24.2.9	献血セミナー	京都府立西舞鶴高校	高校3年生	献血について知ってもらうための出前講座	
	H24.2.16、2.23	献血セミナー	京都府立福知山高校	高校3年生	献血について知ってもらうための出前講座	
	H24.3.9	献血セミナー	京都私立京都国際高等学校	高校1年生	献血について知ってもらうための出前講座	
	H24.3.17	楽しく学ぼう！献血わくわく未来体験教室	福知山赤十字血液センター	18歳以下の子供とその保護者	献血クイズ、献血バス試乗ほか	

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府赤十字血液センター	H23.8.1～8.12	第16回「献血おもしろゼミナール」	大阪府赤十字血液センター	小学生の親子	献血に関する知識の普及啓発及び血液センターの見学	鉄道各社の主な駅に掲示市町村広報誌計1,045名の参加があった。
大阪府大阪府赤十字血液センター	H23.11.15	献血セミナー	府立今宮高校	生徒会執行部	一般的な献血の基礎知識についての講義を行い、献血と触れ合ってもらふ事例を説明した。	
大阪府赤十字血液センター	H24.1.25～1.27	職業体験学習	大阪府赤十字血液センター	中学生	献血可能年齢前の中学生の職業体験を受け入れることにより、献血基礎知識の向上を図る	参加者2名

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H23.5月～H24.3月	献血セミナー（献血出前講座）	県内高等学校	県内高等学校生	県主官部署等と連携を図り、県内高等学校へ献血セミナーの実施を依頼し、献血の次代を担う高等学校生への献血啓発を行った。	8校、約1,500人の参加があり、学校献血の実施にもつながった。献血実施21校
	H23.11.8、12.27	血液センター見学会等	血液センター	県内小中学生	高等学校生だけでなく、小中学生に対しても年少期における献血に触れ合う機会を目的に血液センター見学や献血セミナーを積極的に受け入れた。	延べ120名（2校）の受け入れを行い、若年層に対する献血啓発が図られた。

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	H23.7.27、8.1、8.3、8.8	献血まるわかりゼミ	血液センター	小学生・保護者	パワーポイントでの説明。施設見学。	参加者 約410名
	H23.9.29	血液センター見学会	血液センター	小学生	献血の話。ビデオ視聴。施設見学。	香芝市立二上小学校生徒約15名
	H24.1.28	出張講座	天理教校学園高等学校	高校生	学年集会にて献血の話。	参加者 約180名

【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県赤十字血液センター	H23.7.27、8.4	夏休み献血ふれあい体験学習	日本赤十字社血液管理センター	小学生とその保護者	車中において献血学習と管理センター見学を実施。小学生には献血に関心を持ってもらうとともに、その保護者には献血への参加を促した。	新聞、ホームページへ掲載。2日間で両日とも定員80人に達した。
	H23.11.10	献血セミナー	県立那賀高等学校	ボランティア部生徒	和歌山県の献血の現状と若年層献血の重要性を重点にセミナーを実施。また、県学生献血推進協議会メンバーによる「学推ボランティア」についての講演を実施。	輸血用血液不足と若年層献血者確保の大事さを訴えることができた。学推活動を大きくPRすることが出来、将来の献血者並びに献血推進者の確保に繋がったと考えられる。
	H23.11.21	献血ふれあい教室	和歌山大学教育学部付属小学校	4年C組	授業の一環として血液・献血についてのDVD上映後、献血車並びに血液運搬車を見学。後日の講師による講演も含め、献血について考えた。	子供たちが献血に真面目に向き合っていた経験は、今後の彼らに大きな影響を与えらる。
	H23.12.11	和歌山県学生献血推進協議会研修会	和歌山市内ホテル会議室	学生ボランティア	講師に県立医科大学輸血・血液疾患治療部助教畑中一夫氏を招き「輸血医療の重要性について」の講演を実施。また、同講師と学生ボランティアによる「ボランティアミーティング」を実施。	輸血医療の重要性と患者側の声を聴くことができ、今後の学推活動の動みになったと考えられる。

【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	H23.8.1～8.5	献血おもしろセミナー	血液センター 倉吉体育文化会館 米子ヒップアップ	小学5～6年生 保護者	血液の歴史や現状の学習と施設見学（移動採血車、血液運搬車の見学含む。）	チラシによる参加が多数。ラジオの視聴による参加は少数であった。

【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県 島根県赤十字 血液センター	H23.8.11～8.15(4日間7回)	夏休み小学生親子血液センター見学体験教室	島根県赤十字血液センター	県内小学校5・6年生の親子	親子で血液や献血についての知識、興味や親しみを持ってもらうことを目的に、クイズを交えた講座と施設見学を実施	7回開催し、211名の参加
	H23.11.12	学生献血セミナー	島根県赤十字血液センター	・島根大学学生献血推進サークルぐっば ・島根県青年赤十字奉仕団 ふらす	・DVD「竹原市からひろがる献血」、「いのちをつなぐ献血」 ・スライド学習 ・話し合い ・施設見学	学生8名参加
	H24.2.8	献血出前講座	浜田商業高等学校	・高校3年生全員 ・3年担任及びその他教員	・DVD上演「ありがとっていっぱい言わせて」 ・スライド学習	高校3年生112名参加

【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	通年	職場体験(中学生) 施設見学(中学生)	岡山県赤十字血液センター	中学1・2年生	将来の献血者として、輸血医療を支えていただける中学1・2年生の職場体験や施設見学の受入れを行い、知識や興味をもってもらい、共に献血思想の普及を図った。	職場の仕事を経験していただいたり施設見学を行うことで新たな知識が身についた。(6校・30名参加)

【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県		献血セミナーの紹介		教育委員会、高校等	血液センターの設置(H24.1)したセミナーの紹介	

【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	H23.8.3～8.5	小学生親子見学体験教室	山口県赤十字血液センター	県内の小学生	血液・献血の大切さを学び将来の献血につなげる	32校、243名(小学5・6年生101名、保護者88名、その他54名)が参加
	通年	献血出前講座	県内の小・中・高等学校	県内の小・中・高校生	血液・献血の大切さを学び将来の献血につなげる	16校(小学校10校、中学校4校、高校2校)、1,093名の児童・生徒・先生が参加

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県赤十字血液センター	H23.7.23、7.24、7.30、7.31 8.6、8.7の午前・午後	夏休み親子血液セミナー	徳島県赤十字血液センター	小学生と保護者	血液の働き、輸血の歴史、献血から輸血までの流れ、血液センターの仕事などを学習し、児童と保護者への血液事業に対する理解及び関心を高めることを目的に、夏休みを利用して学習会を開催した。	延べ121組、331人が参加

【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
香川県	H23.8.3～8.5	小学生親子血液センター見学教室	香川県赤十字血液センター	小学4～6年生親子	献血に関する学習会を開催し、献血の大切さを学んでもらった。また、血液センター施設内の見学も実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(児童80名、保護者57名参加)
	H23.8.18	赤十字バス	香川県赤十字血液センター	観音寺市内小学生	献血に関する学習会を開催し、献血の大切さを学んでもらった。また、血液センター施設内の見学も実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(小学生15名、高校生3名、保護者19名参加)
	H23.8.8～8.9 H24.1.16～1.20	中学生職場体験学習	香川県赤十字血液センター	中学生	血液センターの仕事を経験学習	血液センターの仕事を経験学習することで、献血意識の動機となった。(2校7名参加)
	H23.9～H24.2	献血出前教室	県内9小学校	小学4～6年生	希望のあった小学校に血液センター職員が出向き、学校の授業の一環として、献血に関する基礎知識の啓発を実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(生徒627名参加)

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	H23.8.9、8.11～8.12	小学生親子血液センター見学体験教室	愛媛県血液センター等	小学生及びその保護者	若年層への献血普及の一環として、「愛の血液助け合い運動」期間中である夏季において、献血年齢に満たない小学生を対象にして、思想普及を図るため開催し、血液の働きや血液センターの役割を理解していただき、献血に興味をもってもらい、小学生の夏休みの宿題を応援することを目的とする。	愛媛県赤十字血液センターと共催

【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
高知県	H23.8.22	献血出前講座	高知市立初月小学校	小学1～3年生	血液や献血の説明	

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	通年	献血セミナー	県内各高校	高校生	県内の高等学校へ学校献血の実施依頼と併せてセミナー実施も依頼している。資料はスライドやDVDを活用。	高校献血の推進と平行して依頼しているため、献血実施する学校では、セミナーの開催ができていない。平成23年度は、9校実施・参加者2,935人。
	通年	献血ふれあい事業	県内各小中学校	小学生・中学生	県内の小中学校にて、献血バスの見学と講話とDVDの上映。(概ね1クラス1コマの授業時間内で実施。)	近年「総合学習」が無くなり、授業が詰まっているため、実施する学校が少なくなっているが、平成23年度は10小学校808名、2中学校43名、3子供クラブ等団体145名。
	H23.6.23	総合学習	北九州センター母体	引野小学校4年生	血液センターでの体験学習を推進し献血の必要性及び重要性を学ぶ機会を創出し、将来の献血者を育成。	72名参加。献血への興味を持つことができた。
	H23.10.21	施設見学	北九州センター母体	新日鉄八幡記念看護専門学校	医療従事者が対象。血液に関する講義を行い、施設内での見学を通して、血液・献血の大切さを育成。(1コマ90分の2コマを利用。)	採血現場や供給現場などを見学したことで、献血への更なる理解が深められた。

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	H23	佐賀大学医学部学生研修	日本赤十字社九州血液センター	佐賀大学医学部生	現在、血液センターが実施している検査内容等に関する説明	
	H23	佐賀県立総合看護学校	佐賀県赤十字血液センター	看護学生	献血の状況(動向、供給状況等)の説明	献血の必要性について理解ができた。
	H23	職場体験学習	佐賀県赤十字血液センター	中学生	献血のしくみについて(職場体験学習を行った)	献血の必要性について理解ができた。

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	H23.12.2 H24.2.14	献血講話	瓊浦高等学校 口加高等学校	3年生対象	校内献血前に献血の必要性を認識していただき実際の献血体験をしていただく。	例年に増して特に400mL献血者が大幅に増加した。
	H23.12.6	命の大切さをテーマにした講話	長崎東中学校	2年生対象	受血者の親として輸血を必要としている人々のために献血の必要性と命の大切さを訴えた。	将来に向かって心の支えとなる貴重な体験をした。
	H23.4月～8月	体験学習 (32名)	献血ルーム	高校1年生ボランティア26名と中学1年生1名と小学6年生1名	夏休みの自由研究で献血のしくみや献血呼びかけ体験や血液の知識について学ぶ。	幅広い若年層への献血啓発が出来た。
	H23.8月	インターンシップの一環での体験学習	献血ルーム	長崎県職員担当者及び大学生3名	献血のしくみと長崎県の献血状況について学習しさらに献血(成分献血)の体験をした。	ボランティア活動の必要性を理解していただいた。
	H23.7.8	ふれあい献血	九州文化学園幼稚園	園児29名	園児に献血かみしばい等実施し献血とけんけつちゃんに親しんでもらう	
	H24.1.23	ふれあい献血	大村市立放虎原小学校	小学校6年生134名	小学6年生を対象に献血DVD並びに講話により献血・血液についての理解を深め移動献血バスでは父母並びに教職員の献血に触れる	
	H24.2.15	ふれあい献血	長崎県立清峰高等学校	高校3年生	献血講話により血液・献血への理解を深めてもらう	

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	H23.5.14～5.15	熊本県学生献血推進協議会リーダー研修会	県立あきた青少年の家	熊本県学生献血推進協議会(27名)	県内各大学の献血推進リーダーに対し、献血の知識と若年層の啓発の重要性について理解を深め、各大学のリーダーとしての責任感を明確にさせることを目的とする。また、学生同士の親睦を深めることにより、県下大学への活動拡大を図り、若年層の献血参加を広げることが目的とする。	献血について知識が無い新リーダーに対し、献血啓発活動に取り組み重要性を理解してもらうことができ、学生献血推進協議会の協力体制が図れるようになった。
	H23.8.6	オープンキャンパス	血液センター	高校生(16名)	献血可能年齢となる高校生に対し、学生献血推進協議会の学生が講師となり、献血の知識並びに重要性の講義を行ったうえ施設見学も行い、献血への理解を深めてもらった。	献血に対し堅いイメージを抱いている生徒が殆どであったが、献血を身近に感じてもらうことができた。また、研修後に初めて献血を体験して帰る生徒もいた。
	H23.8.6	サマーリーダーシップトレーニング	熊本大学	熊本大学体育会(160名)	血液事業の現状を説明し、若年層の献血参加の重要性を理解してもらうと共に、学内献血への参加の強化を図ることを目的とする。	当初、献血を他人事のように考えている生徒が多かったが、今は積極的に献血に参加しようと思ってもらうことができた。
	H23.12.2	献血セミナー	県立熊本商工高校	生徒	保健所及び血液センター担当によるスライド及びDVDを活用しての献血の必要性及び現状等についての説明。	セミナー終了後、生徒からの感想文が寄せられ、内容としてはセミナーを通じての献血に対する理解が深まり、今後の献血への足懸りとなった。
	H24.2.18～2.19	四県学生献血推進協議会合同研修会	なみの高原やすらぎ交流館	熊本県学生献血推進協議会(12名) 大分・宮崎・鹿児島県学生献血推進協議会	他県の学生同士が交流を深め、献血に関する知識の向上並びに献血活動の情報交換を図り、今後の積極的な献血啓発活動の促進につなげることを目的とする。	各県の取り組みや広報活動を通じ、本県の活動の枠を広げることにつながった。

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県	H23.4月～H24.3月	献血推進リーダーによる出前講座	小・中・高等学校	小・中・高等学校生	学校薬剤師や各保健所・市町村献血担当者による高校等での出前講座の実施。	生徒及び教員に対し、献血の必要性を訴えることができた。
大分県血液センター	H23.6.23	施設見学	センター	大分市立荏隈小学校	小学校の社会科の単元で自分たちの住んでいる地域の施設の働きを勉強する。献血の必要性を理解していただいた。小学生79名、引率者2名	
	H23.7.5～7.7	職場体験学習	センター及び献血ルーム	大分市立西中学校4名	中学校の授業の一環で、希望する職場の体験を行うなかで、献血の重要性を理解していただいた。	
	H23.9.6～9.8	職場体験学習	センター及び献血ルーム	大分市立城南中学校4名	中学校の授業の一環で、希望する職場の体験を行うなかで、献血の重要性を理解していただいた。	

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H23.7.30	献血セミナー(高校生)	県立宮崎北高校	高校生、教員	学校保健委員会のなかで学生の発案による献血体験発表等を実施	参加者:50人
	H23.8.5	夏休み献血スクール	宮崎県総合青少年センター	小中高生、教員	献血バス、緊急車両の乗車体験等	参加者:200人
	H23.8.6	ライオンズクラブ献血推進セミナー	宮崎県トラック協会	ライオンズクラブ会員	県内の献血の現状等	

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県	H23.6月～	血液教育事業	各中学校	中学生	献血可能年齢近隣の中学3年生を対象に、血液に関する正しい知識と責任ある献血の重要性を認識させるため、県薬剤師会に委託し、学校薬剤師による講義を行った。	
鹿児島県 鹿児島県赤十字 血液センター	H23.4月～	献血出前講座・献血講座	各高校・専門学校・血液センター等	小学生～大学・専門学校	講話やDVDにより命の大切さや献血の重要性を学んでもらい、献血への誘導を図る。	学校献血前に実施した場合、協力者を得られやすい。
鹿児島県赤十字 血液センター	H23.4月～	職場体験学習の受入れ	血液センター及び献血ルーム	中学生	中学生の職場体験の実施に伴い、命の大切さや献血の重要性を学んでもらい、将来の献血への誘導を図る。	
	H23.8.8～8.10	楽しく学ぼうキッズ献血	血液センター	小学4年～6年生と保護者	小学生とその保護者を対象に夏休みに実施し、命の大切さや献血の重要性を教え、献血バスを使用した模擬献血を行うことなどにより、将来の献血への誘導を図る。	情報誌への掲載や教育委員会を通じて小学校へ呼びかけたり、キャンセル待ちの出席の応募があった。

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	通年	献血教室	県内小学校、高等学校	小学生、小学校PTA、高校生	献血に関するドキュメンタリー映像の上映。パワーポイントを使用して若年層の献血離れが進行し、血液確保が困難になっている現状を説明。献血の重要性を理解していただくことにより献血への参加を呼び掛ける。	
	通年	就業体験学習	血液センター、献血ルーム等	県内中学校、高等学校	血液の採血から医療機関への供給まで血液センターの業務を実際に体験していただく。献血の重要性を理解していただくことにより将来献血への参加を呼び掛ける。	
	H23.6.28	施設見学	血液センター	小学生(5年生)	血液の採血から医療機関への供給まで血液センターの業務を実際に体験していただく。献血の重要性を理解していただくことにより将来献血への参加を呼び掛ける。	

④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	H23.5.12 H23.10.7 H24.2.17	成分献血協力団体担当者研修会	血液センター、献血ルーム	血小板成分献血協力団体 (参加団体 ラクロス部、他3 団体、参加者44名)	血小板成分献血に団体でご協力頂いている大学生を対象に、更なる献血の理解を深めてもらうため、1時間程度の献血推進講演を行う。	ラクロス協会からの献血協力を始め、野球部、アメフト部、サッカー部などの体育会系を中心に協力を頂くことが出来た。また、成分献血の重要性を再認識して頂くことで、協力体制が強化された。
	H23.10.15~10.16	札幌合同大学祭	大通公園	北海道民 (学生の参加者243名)	札幌市内近郊の大学10校以上が合同で実施する大学祭に、献血学生ボランティアの展示ブースを出展し、パンフレットやチラシ、ゲームなどをして市民に献血アピールを実施。	献血の呼びかけだけではなく活動そのものについて市民にアピールすることが出来た。また、参加した他の大学生に対しても献血の必要性をアピールできた。
	H23.4月~5月 H23.10月~11月	グループ献血	大学(移動採血車)	大学生 (北海道大学、他10校)	大学での移動採血車による協力時、グループ(3人以上)で協力があった場合、特典を用意する。	献血協力者数360名。特に初回者は1人で協力する勇気が無い場合が多く、グループ献血という企画を立てることで献血する環境が出来た。また、再来者であっても友達を連れて来ることによって協力数が増加した。
	通年	広告掲載	各大学広告	大学生 (北海学園大学、他19回)	学内新聞及び大学祭パンフレット等へ献血推進用の広告を掲載する。	掲載数は少ないものの、ターゲットを絞った広告掲載ができ、またそれをきっかけに団体献血の協力を得ることができた。

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H23.4.1~H24.3.31	弘前大学医学部見学実習	弘前献血ルーム	医学部学生	医療従事者をめざす学生に血液事業の現状や青森県の献血状況を理解してもらい、献血への理解を深めてもらった。	学生140名参加
青森県赤十字血液センター 青森県	H23.4.1~H24.3.31	青森県学生献血推進連絡会	県庁・血液センター	学生ボランティア	サマー献血・クリスマス献血キャンペーンの企画や学校献血時に献血の呼びかけを行い、同世代の方の協力を求めた。	学生延123名参加
青森県赤十字血液センター	H23.5.26	青森大学薬学部研修会	血液センター	薬学部学生	薬剤師を目指す学生に血液事業の現状や青森県の献血状況を理解してもらい、献血への理解を深めてもらった。	学生3名参加

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	H23.7.20		岩手県赤十字血液センター	薬学部の学生4名	血液センター各課による血液事業全般について説明	献血の事業について理解いただいた。
	H23.11.2		岩手県赤十字血液センター	看護学部の学生6名	血液センター各課による血液事業全般について説明	献血の事業について理解いただいた。
	H23.11.11		岩手県赤十字血液センター	薬学部の学生4名	血液センター各課による血液事業全般について説明	献血の事業について理解いただいた。
	H24.3.22		岩手県赤十字血液センター	薬学部の学生4名	血液センター各課による血液事業全般について説明	献血の事業について理解いただいた。
	随時	大学・専門学校への配車	大学・専門学校	大学生等	大学(看護学部)・看護学生の献血実施	

【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮城県赤十字血液センター	通年(主に6月~12月)	グループ献血	各大学・専門学校	学生	大学・専門学校等での献血実施の際に「4人1組で献血申込みをしたグループ」に対して記念品を進呈し、新規献血者でも友人同士誘い合って気軽に献血できる環境の一環として実施	6月~12月での移動献血バスの学生献血者数が、前年度比102%であった。
	H23.5.26他計7回	東北大学保健医療学科臨床研修受入れ	血液センター・献血ルーム	医療系大学生	将来の医療を担う学生に対し献血普及啓発を目的に実施	
		東北薬科大学体験学習	血液センター・献血ルーム	薬学部学生	将来の医療を担う学生に対し献血普及啓発を目的に実施	

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	H24.1.1~2.29	「はたちの献血」キャンペーン	県内各所	県民	啓発ポスターを各保健所・自治体・各種大学・専修学校、コンビニエンスストア等に配布し、庁内にも掲示した。	
秋田県 (血液センター)	H23.10.27	献血講話	聖霊女子短期大学	短大生	血液事業に関わる内容をスライド説明ならびにセミナー用のDVDを上映するとともに献血バスを設置し献血にご協力いただいた	120人
	H24.2.1	献血講話	聖園学園短期大学	短大生	血液事業に関わる内容をスライド説明ならびにセミナー用のDVDを上映するとともに献血バスを設置し献血にご協力いただいた	250人

【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県 (血液センター)	平成23年度	山大医学部研修	なのかまち献血ルーム	山形大学医学部4・5年生	パワーポイントでの説明及びルーム見学。	

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H23.5.12	福島県立総合衛生学院施設見学会	福島県赤十字血液センター	臨床検査学科第3学年生	臨床実習教育の一環として輸血用血液製造のプロセス等を知ることにより将来のコメディカル従事者として、献血に対する意識の醸成を意図した企画	
	H23.6.8～H24.2.29	公立大学法人福島県立医科大学第5学年BSLプライマリーコース実習	福島県赤十字血液センター	医学部第5学年生	献血から輸血用血液に至るまでのプロセスを理解してもらうことにより、献血の意義並びに適正使用にかかる意識の醸成を意図した企画	
	H24.3.13	福島県東稜高校看護専攻科施設見学会	福島県赤十字血液センター	看護専攻科第1学年生	輸血用血液製造のプロセス等を知ることにより将来のコメディカル従事者として献血に対する意識の醸成を意図した企画	

【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県赤十字血液センター	H23.11.12	学内キャンペーン	茨城大学	学生	学園祭で実施し、パネル展示や抽選会等を行った。	献血者 45名 水戸東ライオンズクラブの協力
	H23.4.26～H24.1.25	推進キャンペーン	各短大及び大学等	学生	大学等の学域献血で実施、粗品を配布	10校で22回実施

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	H23.10.23	献血セミナー	群馬バース大学内キャンパスの教室	学生と学園祭来場者	学園祭会場内の教室で献血セミナーの実施と献血バスによる献血を実施し、学生に献血に対する理解と協力を深めてもらった	当該学校での献血セミナーの実施は初めてであり、献血協力へ結びつき効果的であった
	H23.11.5	献血セミナー	群馬大学医学部内キャンパスの教室	学生と学園祭来場者	医学部構内の学園祭会場で、学生主体のイベントとして献血バスを配車し献血セミナーを併せて実施し、献血への理解を深めてもらった	関心学生及び医療関係者への関心も高く好評であった

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県(血液センター)	通年	学生連盟との協同啓発	各大学	県内大学生	学生献血連盟による広報支援	

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県赤十字血液センター	H24.1月～	献血啓発ポスターの製作(支部長/県知事起用)	行政関係施設・学校・協力団体等	特に若年者層を中心とした全ての世代	日本赤十字社千葉県支部長(千葉県知事)とともに、赤十字の学生ボランティアを献血ポスターに起用し、広く県民への献血協力を呼びかける。	大学献血の実施数や大学生の献血状況を報告するとよいと思います。
	年間を通じ	千葉県学生献血推進協議会の献血キャンペーンの実施	街頭及びショッピングセンター等	若年者層を中心に普及啓発	学生サマーキャンペーン及びクリスマスキャンペーンの実施	若年者層の400mLと成分献血の普及啓発
	年間を通じ	大学の校内における集団献血の実施	各大学の校内献血	学生	集団献血を通じ、献血の普及啓発	若年者層の新規開拓

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	H23.4月～6月、10月～12月	グループ献血	各大学の献血会場	大学生・短大他	若年層への啓発として、3人1組で400ml献血に協力いただいたグループに、献血会場より先着5組に特別な記念品を差し上げる等、献血者の増強を図った。	短大・大学の12月中旬までの実施で、受付者数26,000人以上
	H22.4.1～随時	施設見学	東京都赤十字血液センター	若年層(高校・短大・専門学校・大学)	若年層を対象とした血液センター見学会(検査・製剤・供給部門)を実施し、将来の献血者育成及び献血思想の普及につなげることを目的とする。	医学部学生・専門学校等52件392名

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
神奈川県赤十字血液センター	H23.6.13	講義『社会貢献とボランティア活動』	産業能率大学 湘南キャンパス	同大学学生110人	外部講師による、講義『社会貢献とボランティア活動』での講話として依頼を受け、内容は、スライドを用いて献血に関する知識をつけていただき、今後の献血協力・献血広報協力につながる様な講話を実施	
	H23.9.5	ボラフェスタ参加学生事前学習会	神奈川県赤十字血液センター	学生ボランティア21人	スライドを用いて、献血に関する知識をつけていただき、血液センター(母体)を見学してもらい、今後の献血協力等につながる様な講話を実施	
	H23.9.16	産業能率大学生による献血学習	神奈川県赤十字血液センター	同大学学生4人+助教1人	スライドを用いて、献血に関する知識をつけていただき、血液センター(母体)を見学してもらい、今後の献血協力等につながる様な講話を実施	

神奈川県赤十字血液センター	H23.11.28～H24.7.31	『学生献血推進ポスター』の各大学への掲出	掲出依頼先：県内移動採血受入大学・ポラフェスタ参加サークル所属大学	【ポラフェスタ参加大学・12大学】 神奈川県立保健福祉大学・神奈川県立工科大学・神奈川県立横浜キャンパス・神奈川県立湘南平塚キャンパス・鎌倉女子大学・関東学院大学（金沢文庫・金沢八景・室の木キャンパス）・相模女子大学・多摩大学（湘南キャンパス）・田園調布学園大学・東京農業大学（厚木キャンパス）・東洋英和女学院大学・日本大学 生物資源科学部・明治学院大学（横浜キャンパス） 【移動採血受入大学（ポラフェスタ参加大学を除く）・14大学】 横浜国立大学・横浜市立大学（金沢八景キャンパス）・横浜市立大学（福浦キャンパス）・慶應義塾大学（日吉・矢上・湘南藤沢キャンパス）・産業能率大学・湘南工科大学・神奈川県立相模原キャンパス・青山学院大学（相模原キャンパス）・洗足学園音楽大学・東海大学湘南校舎・東京工芸大学・東京都立大学（横浜キャンパス）・北里大学（相模原キャンパス）・麻布大学・明治大学（生田キャンパス）	県内移動採血受入大学・ポラフェスタ参加サークル所属大学に対し、日赤本社作成『学生献血推進ポスター（女優・南沢奈央氏）』を平成23年11月28日以降の依頼日から掲出可能期間である平成24年7月31日までの間、掲出依頼した。
---------------	--------------------	----------------------	-----------------------------------	---	--

【新潟県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
新潟県	随時	大学、専門学校等への献血バスの配車	大学、専門学校等	大学生、専門学校生等	栄養士が同行し、栄養指導を行った。	
		献血普及講演会、献血ルーム見学会	大学、専門学校等	大学生、専門学校生等	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図った。	

【富山県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H23.4月、H24.1月	大学生への働きかけ	県内大学	県内大学生	入学オリエンテーション時に献血への理解と協力を働きかけた。また、献血啓発用のリーフレットを配布した。	県内4大学、延べ約700名の新生入生へ呼びかけ。
	H23.4月～6月	大学・看護専門学校・短大で新生の献血説明会の実施	県内大学、短大、専門学校	県内大学、短大、専門学校生	献血の現状説明と協力をお願いした。	県内5校、約350名の新生入生へ説明した。
	H23.4月～H24.3月	医学部学生の見学会（5年生）	血液センター・献血ルーム	富山大学医学部	献血の概要説明	21回実施し93名の学生に説明した。献血ルームの施設見学を兼ね成分献血の協力も得た。
	H23.4月～11月	3人で一緒に献血キャンペーン	富山大学	富山大学生	3人以上のグループで献血協力者に粗品の進呈	8回実施して64グループ、受付180名

【石川県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県	H23.10.30、11.6	大学祭での献血啓発・推進	県内2大学	大学生	県職員及び血液センター職員が献血啓発資料を配布し、献血の必要性を訴える。	10月30日は献血会場を設け、132名の受付、87名の献血協力があった。
石川県赤十字血液センター	H23.4月～H24.2月	大学献血の推進	県内8大学	大学生	大学構内での献血実施を複数回行い、若年層の献血の機会を設ける。	平成23年度においては25回開催し、1,884名の献血協力があった。

【福井県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県赤十字血液センター	H23.9月～10月	2011学園祭献血	各大学、短期大学	大学生、短期大学生	県内の各大学・短大に献血バスを配車し、福井県学生献血推進連盟を中心とした学生ボランティアによる啓発活動を行った。	
	H23.4.5、4.6、4.7、4.11	卒後臨床研修医オリエンテーション（血液事業について）	血液センター	臨床研修医（1年次）	オリエンテーションを開催し、血液事業の周知を行った。	

【山梨県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県（血液センター）	H23.4.1～	山梨県学生献血推進連絡会主催献血	県下7大学及び街頭	県下7大学生	山梨県学生献血推進連絡会による所属大学や街頭での献血の呼びかけ	顔見知りによる呼びかけで献血者増
	H23.5.14	県立大学看護学部同窓会	県立大学池田キャンパス	県立大学看護学部同窓会員	県立大学看護学部同窓会員への献血啓発活動（ポスター掲示・チラシ等配布）	医療従事者への血液事業の現状説明を行うことにより、血液の適正使用及び献血者数増加
	H23.7.28	山梨大学医学部公開授業	山梨大学医学部キャンパス	山梨大学医学部進路希望高校生	山梨大学医学部進路希望高校生に公開授業のなかの輸血講座を受けてもらう	医学部入学者の血液事業への協力

【長野県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長野県	5/28小諸看護専門学校 8/28須坂看護専門学校 9/19県看護大学 10/21長野病院附属看護学校 10/22佐久大学 10/23飯田女子短期大学	学園祭会場での移動採血車による献血	学園祭会場	学生、学校職員、来場者	学園祭に合わせて移動採血車を学校に配車し、献血を実施するとともに啓発活動を行った。	6校で312名が献血

【岐阜県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H23.3月～H24.1月	医学部学生研修	血液センター	医学部5年生	血液センターにて献血や血液について学習し、採血現場の見学や可能であれば実際に献血を体験してもらい、将来医療に従事した際に役立てていただいている。	

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県 (血液センター)	H23.7月、12月、H24.1～2月	大学等における集中的な献血(献血バス)の実施	県内各大学、専門学校	学生	サマーキャンペーン、クリスマスキャンペーン、はたちの献血キャンペーン等、献血啓発期間中に、大学等を中心に献血を集中的に実施した。	献血者増加

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	H24.9.20	献血研修会	血液センター(津市)	看護学校一年生50名	講義の一環とし研修会(DVD視聴及び講義・施設見学)を実施	
	通年	学園祭、学内献血	大学、専門学校、高校	在学生、職員	学祭及び定期献血において、啓発及び献血の協力依頼を行った。	782人(延べ19回)

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	H23.10.29	献血セミナー	滋賀医科大学「若あゆ祭」	医学生・看護大学生	滋賀医科大学の学園祭で献血と献血セミナーを開催し、献血活動と輸血用血液について理解していただくを目的とする。	当日、医療従事者を指す方にDVD鑑賞(8月の二重奏)と実際に献血を体験してもらった。献血参加者42名
	H23.12月			県内の大学生	環びわ湖・大学地域コンソーシアムを通じて献血啓発パンフレット配布	
	通年	献血受付窓口の設置	県内2大学	大学生	血液センターに近い大学2校に献血の受付窓口を設置し、送迎を行い献血に協力してもらう。	H23.4月～12月に234人が献血に協力
	通年	県内大学での献血説明会	各大学	大学生	大学の体育会系クラブに献血説明会を実施し、定期的な献血に協力してもらう。	H23.4月～12月に1,031人が献血に協力

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H23.10.4～H23.12.19	健康づくりアドバイス(栄養相談)事業	府内大学等	献血実施大学生等	献血会場で献血できなかった方等を対象に栄養相談を実施	

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府赤十字血液センター	H23.4.19 H22.5.19 他19回	血液センター見学会	大阪府赤十字血液センター	医療関係の大学生及び専門学校生	血液センター見学会を積極的に招致し、献血に関する知識向上を図る	
	H23.7.2、7.3 H23.8.13 H23.9.17 H23.12.18・23 H24.1.14 H24.2.11 H24.2.19	・七夕献血キャンペーン ・サマー献血キャンペーン ・オータム献血キャンペーン ・クリスマス献血キャンペーン ・はたちの献血キャンペーン ・バレンタイン献血キャンペーン ・第2回近畿統一企画キャンペーン	・ヨドバシカメラ梅田東側歩道上他1箇所 ・ヨドバシカメラ梅田東側歩道上他3箇所 ・ヨドバシカメラ梅田東側歩道上他1箇所 ・HEP FIVE前他6箇所 ・HEP FIVE前他2箇所 ・京阪守口市駅前他1箇所 ・御堂筋献血ルーム他2箇所	府民	大阪府学生献血推進協議会が主催し、街頭での献血の呼びかけ	
	H24.2.22	血液管理センター見学会	血液管理センター	大阪府学生献血推進協議会メンバー	血液管理センターについて説明を受けることにより、血液事業の内容についての知識を深める	参加者36名
	H24.2.12	近畿管内学生献血推進リーダー研修会	大阪府赤十字血液センター	近畿管内学生献血推進協議会リーダー	学推協のリーダーに血液事業についての研修を行うことにより、各府県内の学生献血の強化を図る	参加者28名

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H23.4月～H24.2月	医科大学生及び研修医の研修	血液センター及び固定施設	医科大学生及び研修医	将来の医療の担い手となる医科大学生等に対して、献血によって輸血医療が支えられていることや献血の推進について理解を深めていただくことを目的に研修の受け入れを図った。	研修医1日6名、医科大学生20日間、延べ105名の受け入れを行い、固定施設において献血への協力も得られた。

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	定期	県立医大での献血継続	奈良県立医科大学	大学生	学生主催	学校献血を機に、献血のリピーターになってくれる方が多い。
	随時	研修医等への講演会	血液センター、大学等	研修医	献血から供給まで、問診内容などについての話	将来血液を使う立場になる人たちに、血液の大切さを理解してもらうことができた。

【和歌山県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県 和歌山県赤十字 血液センター	H23.5.19～5.21、7.5～7.7、 12.1～12.2	献血の実施	和歌山大学	学生	献血啓発コーナーの設置ならびに献血を実施。 また、県学生献血推進協議会メンバーと共に献血啓発活動。	和歌山県の現状を理解いただき、若年層献血の重要性を訴えることができた。(8回実施、献血受付582名、採血463名)
	H23.4.5～4.6、10.29～10.30	献血の実施	近畿大学生物工学部	学生	献血啓発コーナーの設置ならびに献血を実施。 また、県学生献血推進協議会メンバーと共に献血啓発活動。	和歌山県の現状を理解いただき、若年層献血の重要性を訴えることができた。(5回実施、献血受付309名、採血260名)
和歌山県赤十字 血液センター	H23.7.16	献血の実施	和歌山看護専門学校	学生	県学生献血推進協議会メンバーと共に献血啓発活動。	献血受付38名・採血24名の多くの協力を得ることができた。
	H23.10.23	献血の実施	和歌山県立高等看護学院	学生	県学生献血推進協議会メンバーと共に献血啓発活動。	献血受付86名・採血72名の多くの協力を得ることができた。
和歌山県	H23.7.7 H23.10.20 H24.2.9	献血について	和歌山県薬剤師会館	薬学部5年生	献血の必要性について業務課職員が講習を行った。	献血の必要性について理解できたと考えられる。(1回目19名、2回目22名、3回目10名)

【鳥取県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	H23.4.2	新任研修医研修会	鳥取大学医学部	新任研修医	血液の現状と適正使用について学習	

【島根県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県 島根県赤十字 血液センター	H23.4.20、6.15、7.13、10.9 H24.1.18	島根大学学内献血の実施	島根大学	島根大学学生・職員	島根大学学生献血推進サークルぐつぽの協力を得て、年間5回の学内献血を実施。	計226名に400mL献血の協力をいただいた。

【岡山県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	H23.7.1	血液センター見学研修	岡山県赤十字血液センター	岡山赤十字看護専門学校学生	将来を担う医療従事者として、血液や献血について一層の知識を習得いただくため、当センター所長の講義と施設内の見学をおこなった。	研修に参加いただくことにより新たな知識が身についた。参加者(57名)
	H24.3.5	血液センター見学研修	岡山県赤十字血液センター	岡山済生会看護専門学校学生	将来を担う医療従事者として、血液や献血について一層の知識を習得いただくため、当センター所長の講義と施設内の見学をおこなった。	研修に参加いただくことにより新たな知識が身についた。参加者(41名)
	H24.3.14	血液センター見学研修	岡山県赤十字血液センター	岡山労災看護専門学校学生	将来を担う医療従事者として、血液や献血について一層の知識を習得いただくため、当センター所長の講義と施設内の見学をおこなった。	研修に参加いただくことにより新たな知識が身についた。参加者(55名)

【広島県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H23.8月ほか	県大学献血推進協議会	街頭・大学等の献血会場	大学生	学生ボランティアによる献血呼びかけ	

【山口県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	H23.5.28、11.13	学生献血セミナー	山口県赤十字血液センター	学生献血推進協議会	献血・血液についての勉強会及び献血キャンペーンの企画を行うことで、献血やボランティアにつなげる	9校、99人が参加した。
	H23.7.3、7.9	七夕献血イベント	イオンタウン防府、おのだサンパーク	学生献血推進協議会	学生献血推進協議会が主催し、街頭での献血の呼びかけを行った。	事前告知FM山口2回・要請ハガキで2会場受付数210名
	H23.9.25	中国四国学生統一献血キャンペーン	イオンタウン防府	学生献血推進協議会	学生献血推進協議会が主催し、街頭での献血の呼びかけを行った。	事前告知FM山口2回・要請ハガキで1会場受付数127名
	H23.12.10、12.17	クリスマス献血キャンペーン	イオンタウン防府、ゆめシティ	学生献血推進協議会	学生献血推進協議会が主催し、街頭での献血の呼びかけを行った。	事前告知FM山口2回・カモンFM1回学生ナマ出演・要請ハガキで2会場受付数186名

【徳島県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県	H23.5月	新入生への献血パンフレットの配布	各大学、看護学校等	大学等新入生等	大学・看護学校等の新入生に献血パンフレットを配布し、献血に対する理解と協力を呼びかけた。	大学等10校
徳島県赤十字 血液センター	H23	大学等での献血	各大学、専門学校	大学生等	大学キャンパス献血時に、献血啓発用パネルの掲示を行ったり、献血実施前に献血推進DVDの放映会を実施した。	実施回数6回、視聴人数345人

【香川県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
香川県	H23.8.14	学生献血推進協議会主催キャンペーン	ゆめタウン高松	香川県学生献血推進協議会	夏場の血液不足に対応するため、大学生献血ボランティアが街頭キャンペーンを実施。	広く県民のみならず、主催者側である学生への献血意識の啓発もできた。
	H23.12.23	クリスマス献血キャンペーン	イオン高松ショッピングセンター	香川県学生献血推進協議会	冬場の血液不足に対応するため、大学生献血ボランティアが街頭キャンペーンを実施。献血協力者へはクリスマスプレゼントを手渡した。	広く県民のみならず、主催者側である学生への献血意識の啓発もできた。
	H23.4月～H24.6月	大学等における献血セミナー	県内2大学(短期大学を含む)専門学校4校	大学生、専門学校生等	希望のあった大学等に血液センター職員が出向き、献血に関する基礎知識のセミナーを開催。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(生徒355名参加)

【愛媛県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	常時	大学生(特に医学生)での献血	大学等の教育機関	学生	大学等の移動採血車献血を実施することで、実際に献血をしていただき、献血の意義を理解してもらった。	

【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
高知県	H23.10.9	学園祭	高知大学(医学部)	大学生		
	H23.10.15~10.16	学園祭	高知工科大学	大学生		

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	通年	若年層献血セミナー	各医療系専門学校等	医療系専門学校生	医療系の専門学校において、輸血と献血の必要性を授業形式で実施。	献血実施前に行なうセミナーでもあり、授業が、献血につながってきた。4校230名参加。
	通年	福岡学生献血推進協議会 北九州学生献血推進連盟定例会	血液センター	献血推進協議会(連盟)加盟大学	毎月実施する定例会や研修会を通じて学生の意識高揚を図る。	個々の意識向上と知識や献血者への接遇等技術向上効果があつた。
	例年2月	看護専門学校における、体験授業としての献血	八幡医師会看護専門学校	看護専門学校生、教職員	1コマ90分の講義の2コマ分を体験学習として献血の体験をしてもらい、医療従事者としての意識づけ・接遇の対応のやり方を学ぶ。	医療専門職を目指す学生であるため意識の向上が見られた。120名参加

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	H23.4月、12月	学内献血	佐賀大学(本庄キャンパス)	佐賀大学生	大学学内複数日献血を実施した。	500名以上の献血協力があつた。学生ボランティアが増えた。
	H23.10月	学園祭献血	佐賀大学医学部(鍋島キャンパス)	佐賀大学医学生他	学園祭で2日間献血を実施した。学園祭の学生実行委員会との献血タイアップをおこなった。	2日間で170名の献血協力があつた。
	H23.4月、12月	学内献血	西九州大学	西九州大学学生	大学学内2日間献血を実施した。	120名の献血協力があつた。

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	H23.7.17、7.18 H23.12.17、12.18	献血サマーイベント クリスマス献血キャンペーン	献血ルーム	一般献血者	学生ボランティアが主催する献血イベント。特に同年代である学生への活動参加や献血勧誘をおこなった。	新聞取材や街頭での活動を広くアピールすることにより、若年者への献血PR効果も期待できる。
	H23.10.29 H23.11.12	大学学園祭での献血	長崎県立大学(佐世保市) 長崎純心大学(長崎市)	大学生	献血受付会場での献血セミナーDVD放映しボランティア活動及び献血の勧誘を行った。さらに献血処遇品を増やした。	初回献血者も多く、今後のつながりもできた。成分献血のPRをした。
	H24.3.9	血液センター施設研修	佐世保血液センター	看護学生	看護学生が、献血の講話、血液の供給について学び、本社配布の献血セミナー用DVDを視聴した	

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	通年	学内献血	県下各大学	大学生・大学職員	学生ボランティア(熊本県学生献血推進協議会)を通じ、学内献血の増強(学生主体の呼びかけ、イベント等)を図り、学生への献血に対する理解を図ると共に献血者確保を行う。	学内献血の充実が図れた。
	通年	学内献血	看護専門学校及び医療系大学	大学生及び専門学校生	事前にリーフレット等を配布することにより、血液の必要性の理解を図ると共に、献血を通じ献血によって支えられている尊い生命の大切さを理解してもらう。	献血への協力のみでなく、献血実施には本人の健康管理も必要だということを理解してもらい、血液確保の難しさを理解してもらえた。

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県学生献血推進協議会	H23.5月~H24.3月	学生献血推進協議会研修会及び啓発キャンペーン	各学校及びキャンペーン会場	医学部学生等	学生献血推進協議会の研修や活動を通じて、献血について学習。	
大分県赤十字血液センター	H23.7.2	献血研修会	豊西准看護学校	学生	学生に講義をとおして献血の重要性を理解していただいた。	
	H23.4.26、11.8、H24.1.23	学内献血事前説明会	大分大学	学生	学内献血の実施日前に体育会や文化会の責任者を集めていただき、献血の重要性や現状を説明し、学内献血者の確保を図る。	

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H23.4月~	学生研修	血液センター	医学部学生	毎月2回、学生5人程を対象に血液事業概要の説明	開催数:18回、献血:3回
	H23.12.13	学生研修	日向看護専門学校	看護学生、教員	献血、輸血用血液製剤の説明	参加者:60人、献血者:22人

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県 鹿児島県赤十字血液センター	H23.4月~	学生献血推進協議会の支援			会議等参加による助言・指導、活動費等の支援等	
鹿児島県赤十字血液センター	H23.4月~	医学部生への実技指導	血液センター	医学部生	輸血や献血の検査実技指導を含めた勉強会の実施	
	H23.4月~	学内献血の推進	各大学及び専門学校	10代~20代	献血実施に向けた献血講座の開催等又学生献血推進協議会のキャンペーンの企画による学生勧誘	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	H23.4月~10月	献血教室	県内大学	大学生	献血に関するドキュメンタリー映像の上映、パワーポイントを使用して若年層の献血離れが進行し、血液確保が困難になっている現状を説明、献血の重要性を理解していただくことにより献血への参加を呼び掛ける。	

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	通年	60歳代への献血推進	全道献血受入施設	60歳以上	60歳～64歳の献血者で60歳以降に献血をしていない方を対象として、献血要請はがきの送付やチラシの配付・回覧等を実施する。	昨年度比 103.1%
	通年	55以上の男性に血小板成分献血の推進	血液センター、献血ルーム	55歳以上の男性成分献血者	平成23年度から55歳以上(男性)の献血者も血小板成分献血の協力が可能になることについて、チラシやハガキにより周知するとともに、血小板成分献血を依頼する。	応諾率 11%。

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H23.10.17～11.30	シニア層献血依頼	全施設	50～69歳の献血依頼可能者	50～69歳までを対象に採血基準の改正をお知らせするとともに献血記念品の引換券を同封し、献血した方に記念品を差し上げた。	5,438通発送 応諾人数1,065人 応諾率19.6%

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県(血液センター)	通年		献血パークるうぶ、献血ルーム、献血ステーション	50歳以上	特に成分献血(血小板)が可能な方へ電話による献血依頼をし、継続的な献血への協力をお願いしている	血小板においては、男性55歳以上に電話、ハガキによる献血の依頼をしたところ23年度は834人(血小板献血全体の8.6%)から協力を頂くことができた

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	H23.7.24	高崎献血ルームボランティアパレード	JR高崎駅周辺ならびに市街地	若年層から成人と幅広い年齢層の市民	献血ルームボランティア(約50名)により、若年層から50～60歳代と幅広い年齢の通行人に、献血はっぴ姿でうちわを配布し、夏季における献血者確保と啓発活動を実施	幅広い年齢層への啓発活動を実施することで、50～60歳代にも献血参加の周知が図れたと思われる

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県	毎年8月の月間	千葉県公務員職場献血推進月間	各公務員の事業所	公務員職場献血	季節的に協力が得にくいため、推進月間として広い年代層の協力を得ることを目的とする。	通知文があるため、推進に理解が得やすい。

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	H23.6.17	秋葉区献血推進協議会総会	新潟市秋葉区役所	秋葉区献血推進協議会会員	総会開催時に献血のことについて新潟県内の状況や最近の話題を交えて説明した。	
	H23.9.7	加茂ライオンズクラブ例会	加茂商工会館	加茂ライオンズクラブ	例会開催時に献血のことについて新潟県内の状況や最近の話題を交えて説明した。	
	随時	AM民放ラジオによる定期的な献血情報の提供		主に車を運転中の中高年層	リスナーの年齢層が高いAM民放ラジオで定期的に献血情報の提供を行った。	

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	随時	はがきでの依頼(原料血漿確保)			50歳以上の献血者を対象に、葉書による献血への協力依頼した。	
	H23.10月	はがきでの依頼(基準改正にともない血小板成分献血の依頼)		55歳以上の献血協力者	55歳以上の献血者を対象に、葉書による血小板成分献血の協力依頼した。	280名へ献血要請

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
石川県赤十字血液センター	H23.6月～H24.3月	シニア成分献血	血液センター、献血ルームラプロ	血小板成分献血者	平成22年度の成分献血協力者へかもめー、年賀状を送付し、血小板献血の協力を依頼した。	55歳以上の血小板献血協力者は316名であった。

【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県(血液センター)	H23.9.13	ライオンズクラブ国際協会330-B地区と血液センター合同会議	ベルクラシック甲府	ライオンズクラブ国際協会330-B地区メンバー	血液事業の現状とライオンズクラブ献血協力状況を認識、および効率的な献血者確保事例を参考にしながらの献血推進を目的とする	献血主催時の献血推進方法が認識された

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H23.4月～H24.3月	献血依頼要請はがき		献血者	全年齢対象に依頼要請はがきを送付している。特に50～60歳代だけを対象としていない。	

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県(血液センター)	H23.6月～8月、11月～12月	50代～60代成分献血キャンペーン		50代～60代 既献血者	献血年齢条件の周知と献血の案内 はがきを約600枚	血小板献血者の確保

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H23.11.28	右京献血推進実行委員会	右京保健センター	右京献血推進実行委員会メンバー	献血出前講座	
	H23.12.9	乙訓献血推進協議会	乙訓保健所	乙訓献血推進協議会メンバー	献血出前講座	
	H24.3.8	伏見献血推進実行委員会	新・都ホテル	伏見献血推進実行委員会メンバー	献血出前講座	

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H23.4月～	55歳以上男性の成分献血者への(血小板成分)献血基準改正の周知	ハガキの送付	55歳以上の男性	過去に成分献血に協力いただいた方を対象に採血基準の改正と成分献血への協力依頼を行った。	1日平均10名以上の血小板成分献血者を確保することができている。
	H23.6月、11月	学生献血推進担当者研修会	血液センター	学生献血推進担当者	学生献血推進協議会が毎月の役員会に加え、年2回、献血の知識と献血推進に係る意識の向上を目的に研修会を行い、キャンペーンの実施と各大学における献血推進について情報、意見交換を行った。	8月(2施設)、12月(2日間、2施設)の献血キャンペーン他の実施により若年層を中心とした幅広い年代層に献血を呼びかけることができた。

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	H23.5月	PC採血年齢上限変更の際のハガキでのお知らせ	ハガキ	54歳以上の男性献血者	基準変更のお知らせのハガキを送る	年配の方には携帯・PCを扱えない方が多いので、ハガキでのお知らせ等は重要される。

【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県赤十字血液センター	H23.4.8、11.15、11.24、12.15、12.21、H24.1.25、1.27、2.1、2.13、2.23、2.29	例会での卓話	各ロータリークラブ例会場	各ロータリークラブメンバー	自分たちの年代が輸血を受けることが多いので、自分と自分の家族に積極的な献血参加を促すことをスライドを用い説明した。	県内の全ロータリークラブに卓話案内状を送付し、11クラブから依頼があった。献血する人が少ないこと、家族に献血を勧めたいと、家族に献血を勧めたいと、家族に献血を勧めたいと、家族に献血を勧めたいと思われる。

【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	毎月1回	複数回献血協力者確保	街頭献血会場	50～60歳	葉書による献血協力要請	

【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	随時	献血啓発リーフレット		地域献血組織	献血に関するリーフレットの配布	

【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	通年	献血協力の周知	各献血場所	50・60代献血者	DM・電話要請を行い、献血を要請	役職の上の方及び退職者等、平日・休日に時間の余裕のある方で効果あり。
	通年	血小板献血者55歳以上の要請	山口県赤十字血液センター(母体)	55歳～69歳血小板献血可能献血者	DM・電話要請を行い、献血を要請	役職の上の方及び退職者等、平日に時間の余裕のある方で以前血小板献血経験者を対象にすることで、効果あり。

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	常時	年配者への献血	献血会場	一般	企業やイベントの献血巡回時に、これまで啓発していなかった年配の方へより一層の普及啓発を図る。	

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	H24.3月	献血対象者への献血協力要請	県内	献血依頼対象者(60歳代)	献血履歴のある年齢60歳代の方へ、献血協力依頼要請の手紙(封書)を送付。	対象約3,000件に発送。平成22年度は6,000件発送。10～20%の応諾率。

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	H24.3月予定	献血依頼はがき	固定施設	60歳～68歳の献血経験のある方	12月現在で60歳以上の献血構成比率が6.3%であるがさらに頻回献血者の増加を目指す。	比較的時間の余裕があり応諾も高いと思われる。

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	H23.4月～9月	普及啓発と献血実施	県内各自治会	地域住民	自治会に献血の重要性・血液不足等を説明し、日曜日(自治会)に地域(自治会)の献血実施をした。	

⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	H23.6.28	献血ルーム移転新装	新さっぽろ献血ルーム	北海道民	「統一性」「独自性」を融合した北海道エリアのイメージ「自然のやすらぎ」をコンセプトに新装移転	癒しのある空間への変貌で、PR効果が得られている。
	H23.8.8	献血ルーム新装オープン	昭和献血ルーム	北海道民	「統一性」「独自性」を融合した北海道エリアのイメージ「自然のやすらぎ」をコンセプトに新装オープン	創設初の献血ルームとして、献血者から好評を得ている。

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	H23.4.20	献血ルームの新装オープン	献血ルーム	県民	入居中のビルの3階から4階へ移転し、施設面積を1.7倍に拡張。ドナー休憩室の環境整備、待ち時間の短縮(10ベッド→12ベッド)、施設の近代化・献血環境の改善を図った。採血室は清潔感のある白を基調とし、幻想的な空間とした。	新聞・ラジオ・ホームページで広く県民に周知し、移転後の献血協力者は、移転前に比べ1日当たり7.5人増加した。

【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮城県	H23.6.1～8.31(募集) H23.11.24(表彰式) H24.2.20～3.20(ラジオCM放送)	愛の献血70字ストーリー事業		若年層を中心に幅広い年代	県内の高等学校、市町村等に応募を依頼、インターネット、郵便等を利用(募集)。「献血者に感謝する集い」で表彰	献血思想の普及と献血意識の向上を図るため、「献血」に関するショートストーリー仕立てにした作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、ラジオCM広報を行う。

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	H23.5.9、6.16、9.7、9.20、10.11、11.24、H24.1.25、3.7	庁内献血	県庁内	職員	移動採血車による献血の実施の際、庁内放送によって協力を依頼した。また、庁内献血の際に採血基準の改正についてのチラシを配布した。	
秋田県(血液センター)	H23.7.23	秋田県赤十字血液センター夏の感謝祭	秋田県赤十字血液センター	県民	屋台コーナー(無料)や親子ふれあい献血体験(疑似体験)応急手当講習を設け県民、近隣事業所の方々のふれあいの場を設けた。	チラシ・ポスター・ハガキを作成新聞でも告知

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	H23.11.19	パナソニックワイルドナイツ選手握手会 トークショー	群馬県赤十字血液センター太田出張所	若年層から成人と幅広い年齢層の来場者	地元実業団ラグビーチーム(パナソニックワイルドナイツ)選手により出張所内多目的室で握手会やトークショーで献血啓発を図り、選手との交流を図った。	地元若年層へ献血ルーム周知と献血啓発に効果があった

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県赤十字血液センター	H23.11月～	献血応援バックボード取付	移動採血車	採血車活動地域在住者	スポーツチーム(柏レイソル・NECグリーンロケッツ)のチームキャラクター入りの献血呼びかけボードを製作・献血バスに取付、走行中・献血会場に停車中献血を呼びかける。	
	H23.11.18～	柏献血ルーム移転	柏献血ルーム	柏を中心とした東葛地域の協力者	献血環境改善のため、採血・休憩スペースの拡充採血ベッドの増設(4台)、キッズスペースの設置など	県内の新しいスタイルの献血ルームとして、キッズスペースの設置等が、新聞・テレビ・雑誌で紹介され好評を得ている。

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	H23.4.1～	環境改善	献血会場・献血ルーム	一般都民・幅広い年代	充足感・満足感のある環境を整えるため、プロジェクトを設けて機材及び広報資材の見直しを図った。	献血ルームの改装や移動会場における機材整備によりイメージアップを行う。

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	H23.7月～H24.3月	テレビ媒体による献血のPR		一般	献血に対するイメージを向上させ、幅広い世代から献血に協力いただくことを目的とし、番組に出演しPR等を行った。	血液不足が予想された時期の安定確保に貢献した。
	H23.12月～H24.3月	テレビCM(県オリジナル)によるPR		一般(特に、幼少期の子供及びその親)	現在の献血の中心世代及び将来の献血を担う幼少期の子供へのPRをCMにより展開し、献血に対し好イメージをもってもらうことを目的に実施した。	

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H23.4月～H24.3月	献血の待ち時間に、雑誌閲覧及びビデオ鑑賞の場の提供(献血バス)	ショッピングセンター	献血者	「ゆきみ」等DVDの放映	待合場所で寒暖の影響を受けないばかりか献血啓発に有効であった。

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
石川県赤十字血液センター	H23.4月～H24.3月	季節に合わせた飾り付け	血液センター	献血者	季節に合わせて手製キルトの飾り付けを行い、献血者を楽しませた。	献血者に好評であった。
	H23.4月～H24.3月	献立レシピの掲示	献血ルームラプロ	献血者	栄養士監修のもと、健康に役立つ献立レシピを毎月紹介する。	特に低ヘモグロビン量の方に好評であった。

【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県(血液センター)	H23.10.1～	献血検診車の整備	—	—	献血前後の献血者の効率・快適性	献血開始時間の短縮と快適な環境が整った

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H23.4月～H24.3月	検診車の稼働	県内各地	献血者	屋外で受付を実施している献血会場を中心に、検診車の稼働を増やし、献血者への接遇面を改善した。	

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	H24.2.8移設	伊勢出張所移設	伊勢出張所	伊勢志摩地区の幅広い年代	多目的スペースを設けた献血ルームを県下で初めて開設した。	献血者が前年2月～3月同月比185%～141%と増加した。

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H23.8.24	献血ルーム伏見大手筋の移転	献血ルーム伏見大手筋	府民	従来の2階から1階に移転。献血者休憩室の充実等	
	H23.11.25	献血ルーム四条の移転	献血ルーム四条	府民	京都で一番広い献血ルーム。キッズスペースの設置等	

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府赤十字血液センター	H23.11.23～	御堂筋献血ルーム開設	御堂筋献血ルームCROSS CAFE	若年層を中心とした府民	・若年層が集まる「アメリカ村」に近い場所に設置 ・ルーム内にスタジオを設置し、毎週土曜日にルームから生放送を行ったり、NMB48のイベント実施	

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H24.3.5	みゆき献血ルームの拡張移転	みゆき献血ルーム	幅広い年代層	地域の特色を生かした内装と安全で安心な環境整備に努め十分な休憩場所の確保とボランティアの活動場所や集いの場としてコミュニティスペースを設けた。	継続した協力と新たな献血者確保の拠点として有効である。

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	随時	各種イベントの実施	固定施設	全献血者(メール会員優先)	マッサージ、カラーセラピー、まつげエクステ、タロット占い等	イベントを楽しみに来所される方も多い。平日の献血者の数が全体的に上がった。
	随時	漫画の整備	固定施設	全献血者(メール会員優先)	「ONE PIECE」全巻購入等	待ち時間に重宝すると好評。
	H24.3月	検診車の新調				受付を車内で行える。献血環境の改善。

【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	年間	採血所のイメージアップ	血液センター	献血者	献血者の方に趣味の写真を募集し、採血室内に展示することで明るい雰囲気確保している。	献血者の方から定期的に写真の提供がある。

【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	H23.7.1～H24.3.31	献血者アンケートに基づく受付環境改善	岡山県赤十字血液センター	母体における献血者	母体での献血者にアンケートを実施し、希望の多かった以下の項目について改善を実施した。 ・BGMの設置 ・レンタルコミックの設置 ・スポーツ新聞の追加購読 ・常設雑誌の刷新 ・観賞用観葉植物の設置	受付の環境改善を図る事により1人当たり年3.02回の協力を頂く事が出来た。

【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	H24.3.16	献血ルームのリニューアル	献血ルーム「For you」	県民	平成7年5月オープン以来のリニューアル受付・検診・採血の拡張	多くの献血者を受け入れることができるようになった。
	H24.3月	検診車増車	献血会場	献血者	1台増車したことで、街頭献血等検診・接遇スペースがない会場の献血日程の確保が容易になった。	特に、夏・冬街頭献血の環境整備が整った。

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県赤十字血液センター	通年	ラッピングバスの運行	採血車の運行経路	一般	採血車の車体にけんけつちゃんを描き、一般向けに、献血及び献血車の親しみやすさを訴えた。	
	H23.4.1	「献血ルーム アミコ」の移転に伴う新装オープン	献血ルーム アミコ	一般	献血ルームアミコの移転に伴い、総面積が3倍と広くなり、ベッド数は6床から10床へ、またキッズスペースも設けた。採血するルームからは、市のシンボルである眉山が見渡せるようになり、非常に過ごしやすいうルームとなった。	献血ルーム アミコでの平成23年度献血者数10,913人(見込み)となった。

【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
香川県	H23.4.5	献血ルーム移転に伴うオープニングイベント	高松丸亀町ドーム広場、献血ルーム	県民	献血ルーム移転に伴うオープニングイベントとして、東日本大震災の義援金の受け渡しやTシャツカットのほか、スポーツ選手による献血体験を実施した。	献血ルーム移転に伴うオープニングイベントでマスコミも多数取材、ニュースでも大きく報じられ、移転場所のPRになった。
		献血カード入れの作成	県、各市町及び香川県赤十字血液センター	県民	献血ルームの移転に伴い、献血カード入れを作成。表面にけんけつちゃんと標語、裏面に新しい献血ルームの地図等を印刷し、地域献血時や成人式等で配布してもらい、新しいルームのPRを行った。	献血ルーム移転のPRになっている。

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	常時		愛媛県大街道献血ルーム		献血ルームの休憩室外壁を各種サークル等の広報用に一部開放し、若年層への取り組みを図る。	

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	通年	献血会場の設営	各献血会場	移動採血車及び受付会場	会場周辺にのぼりや看板の設置や、野外テントなども明るい白色を貴重としたテントを整備し、来場し易い雰囲気を作るようにしている。また、これまでテントを使用していた会場で、検診車の配備が可能な会場は、極力検診車を配置し受付業務を行なった。	明るい雰囲気を出し出すことで、来場しやすくなり、会場によっては、献血に来場される人が増加した。荒天でも検診車であれば、暑さ、寒さの対策ができたことから、献血者からも評価を得ている。
	H24.2月	北九州センター母体備品の入替	北九州センター母体	一般来所者	献血者にくつろいでいただけるように、ピンク系からグリーン系の色合いに変更し、空間を広く使用するためテーブルの幅を縮小し、テーブルの脚も中に入るように工夫した。	休憩室等ロビーの装飾を変えることで、雰囲気が明るくなり、献血者がよりくつろげる空間となった。

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	年度全般	検診車(マイクロバス)の活用	各献血会場	一般献血者	夏場・冬場の献血条件の改善	安全で快適に事前検査が行える

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	H23.8月	検診車の導入	献血会場受付	献血者	献血会場において、受付場所(採血車への待ち合い)及び検診スペースが確保できない場合に活用。検診車による献血待ちのスペースを確保することによって、献血の順番待ちをされている方の環境改善を図る。また、混雑が予想される会場においては、同車内での検診によってプライバシーの確保を図る。	献血の順番待ちをされている方の環境改善及び、混雑が予想される会場での献血者に対する検診時のプライバシー確保が図れた。
	H24.1.9	はたちの献血キャンペーン	下通り献血ルーム	献血者及び一般	キャンペーンイベントを通じ、繁華街である下通り献血ルーム前で、学生ボランティア約40名による献血呼びかけやゲーム等を実施すると共に、熊本県のイメージキャラクター“くまもん”を活用しての呼びかけを行った。	広く県民に、冬期の血液不足をうったえることができた。更に、若者から若者に対する献血メッセージを伝えることができた。

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H24.3月～	サロン車(検診車)の導入	献血会場	献血バスの献血者	献血バスの待合室として受付以降の機能を備えたサロン車を配備。	

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県赤十字血液センター	H23.9月	献血バス(受付補助車両)の導入	献血バス		待ち時間を快適に過ごしてもらうため、新規導入を行った。	

⑦若年層献血者数の増加

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	H23.4.2 H23.8.10	北海道学生献血推進代表者協議会	血液センター	道内学生ボランティア代表(参加者78名)	地域の献血活動組織の育成を図る。	北海道内のボランティア代表者が一堂に会し、他団体の献血推進方法などを意見交換することで、地元における献血推進を効率的に進めることが出来た。また、血液事業に対する知識向上と自己研鑽により、キャンペーンのみならず、年間を通じた献血推進を心掛けていただき、身近な友達からの広報活動を行うことで若年層の献血推進が強化されている。
	H23.11.1～12.31	ティーンズドナー献血キャンペーン	ラジオ局(HBC、他3局)	10代・20代を中心とした若者	北海道との共同事業で、若年層に高聴取率を誇るラジオ番組とタイアップをして、番組内からのパーソナリティがリスナーへ献血に対する呼びかけなどを行う。	17歳男性の400mL献血が可能になったこともあり、献血者数は増加した。
	H23.7.1～7.31	サマー献血キャンペーン	道内5ヶ所(札幌、室蘭、旭川、釧路、函館のショッピングセンター等の会場)	20代を中心とした若者	学生献血ボランティアがイベントなどの催しを企画し、若年層に対する献血推進活動を行う。	全道の献血者数744名。各地で若者に興味を持たせるイベントや記念品、会場の雰囲気づくりを行い、好実績となる。
	H23.12.10～12.11	クリスマス献血キャンペーン	道内5ヶ所(札幌、室蘭、旭川、釧路、函館のショッピングセンター等の会場)	20代を中心とした若者	学生献血ボランティアがイベントなどの催しを企画し、若年層に対する献血推進活動を行う。	全道の献血者数981名。8月の全国学生献血推進代表者会議に参加した学生を中心として、企画、広報などの準備を入念に行い、当日もサンタやトナカイの姿で献血を呼びかけたことにより効果的な啓発が出来た。
	通年	施設見学の受入	血液センター	幼・小・中・高・短大・大学生(私立琴似中学 他8団体)	血液センターを見学してもらい、血液事業の現状を説明することで、献血の必要性を理解してもらう。広報用冊子と記念品を配付。	来場者274名。施設見学に来た小中学生に献血ちゃんのカリアホルダを配付し、献血の話しをすることで、「けんけつ」の言葉に親しみを持ってもらうことが出来た。

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H23.9.4～9.19	ファッション甲子園写真展	各献血ルーム	高校生	各献血ルームで写真展を開催し、パンフレットに広告を掲載して献血ルームの場所を周知してもらった。	1,254名の協力 内10～20代308名で24.6%
	H24.1.6、1.10、1.16	自衛隊成人式献血	各自衛隊駐屯地	若年層	各自衛隊(3ヶ所)の成人式に合わせて献血バスを配車し、若年層の献血者を募った。	187名の協力 内10～20代63名で33.7%
	H23.5.16～6.30	若年層献血依頼	全施設	16～29歳の献血依頼可能者	16～29歳までを対象に、採血基準の改正をお知らせするとともに献血記念品の引換券を同封し、献血した方に記念品を差し上げた。	5,480通発送 応諾人数659名で応諾率12.0%
青森県	H24.3月	若年層向けパンフレット作成	県内全高等学校等	高校生、大学生	県内の全高校1年生に対し若年層向けパンフレットを配布するとともに、全大学にも配布した。	29,000部作成

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	H23.12月	献血啓発テレビCMの製作・放映	県内一円	一般県民(特に若年層)	本県出身のなでしこジャパンの岩清水祥選手に出演いただき、15秒のテレビスポットCMを作成・放映	献血者の減少する冬期に合わせて、12月に県内民放4局において計120本放映
	H23.5月～H24.3月		県内高等学校	高校生	学内において献血の実施	2,325人の参加があり、平成23年度受付者数の3.8%を占めた。
	H23.4月～H24.2月		県内大学	大学生	学内において献血の実施	2,325人の参加があり、平成23年度受付者数の2.3%を占めた。
	H23.4月～H24.2月		県内専門学校	専門学校生	学内において献血の実施	2,325人の参加があり、平成23年度受付者数の1.7%を占めた。
	H23.7.17、7.18、8.20	学生夏の献血イベント	大型ショッピングセンター	一般県民	大型ショッピングセンターで、学生奉仕団による若年層への呼びかけ	来店者に対し広く献血の呼びかけができた。
	H24.4月～5月	高等学校訪問	各高等学校	保健担当教諭等	保健所・市町村・血液センターの三者で県内高等学校を訪問し、献血への理解と協力要請を行った。(被災地除く)	

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県(血液センター)	H23.12.17～12.25	クリスマス献血キャンペーン	献血パークるうぶ、献血ルーム、献血ステーション	献血協力者等	若年者の既献血者を中心にDMを発送し献血の依頼をした。	ハガキ・ポスターを作成
	H24.2.6～2.14	バレンタイン献血キャンペーン	献血パークるうぶ、献血ルーム、献血ステーション	献血協力者等	若年者の既献血者を中心にDMを発送し献血の依頼をした。	ハガキ・ポスターを作成
	H24.3.5～3.14	ホワイトデー献血キャンペーン	献血パークるうぶ、献血ルーム、献血ステーション	献血協力者等	若年者の既献血者を中心にDMを発送し献血の依頼をした。	ハガキ・ポスターを作成

【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県	H23.7.15～10.28(募集)	献血推進ポスターコンクール		中学生・高校生	制作過程を通じて献血の必要性、重要性を認識してもらい、入賞作品を展示することで、献血普及啓発を図るため実施。	ポスター70点の応募
	H23.5.1～H24.1.31(放映)	平成23年度献血啓発CM放映事業	映画館「MOVIE ONやまがた」(山形市)	映画館観客	若年層の多く集まる映画館において、献血を呼びかける啓発CMを放映し献血の普及啓発を図る。	
山形県(血液センター)	H23.8月	サマーキャンペーン	街頭献血会場		学生ボランティアによる企画・準備・呼び込み。	不足時における安定的な献血者確保
	H23.12月	クリスマス献血キャンペーン	街頭献血会場		学生ボランティアによる企画・準備・呼び込み。	不足時における安定的な献血者確保

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H23.12月	ヤング献血定着促進事業	街頭献血会場	大学生、高校生等ボランティア	大学生等ボランティアによるクリスマスキャンペーンの支援。	
		震災の影響により事業見合せ	ジュニア献血ポスターコンクールの開催	県内全中学校	県教育委員会の協力の下に、中学生を対象とした献血基礎知識の啓発を兼ねたコンクール。優秀作品を用いてポスターを中学校に配布し献血思想の普及啓発を図る。	

【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県赤十字血液センター	H23.8.21、H24.2.11	学生主催のキャンペーン	ショッピングセンター	買物客(親子連れ)	献血に関するクイズやゲームを実施し献血に理解を求めた。	サマー献血及びバレンタイン献血を実施 献血者123名
	H23.9.17	地元J2サッカークラブとのキャンペーン	水府グランド(水戸市)	小学生	サッカー教室及びサイン会等を実施	70名参加
茨城県 茨城県赤十字血液センター	H23.11.1～H24.3.31	高校献血キャンペーン	献血実施高等学校及び各献血ルーム	高校生	ポスターコンクール及びアンケート、献血者に記念品を配布	
	H24.1.1～2.29	はたちの献血キャンペーン	各献血ルーム及び移動採血会場	20歳	成人式や大学等でチラシを配布し、キャンペーン期間中20歳の献血者及び同行者に記念品を配布した。	

【栃木県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
栃木県	H24.1月～2月	「はたちの献血」キャンペーン	・成人式 各市町の会場 ・シネアド TOHOシネマズ宇都宮及び109シネマズ佐野	新成人を中心に幅広い年代	各市町で開催する成人式でのリーフレット配布やラジオ・テレビによるスポットCM放送のほか、県内2か所の映画館でシネアートの放映を行うことにより、若年層を中心とした幅広い世代に献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図った。	・新成人へのリーフレット配布数 22,680枚 ・シネアド放映回数 延べ約900回

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	H24.2.26	若年者献血セミナー(市民オーケストラとの共催)	前橋市民文化会館	若年層から成人と幅広い年齢層の来場者	ワウインドアンサンブル(吹奏楽)定期演奏会と共催し、献血セミナーを実施。「けんけつちゃん」によるお出迎えと入場者全員に献血啓発資料の配布、演奏会の途中に本社作成の献血セミナー用DVD「いのちをつなぐ献血」の上映し、血液センター所長による献血メッセージを発信し若年層に献血への関心と理解を深めてもらった	演奏会の会場で「けんけつちゃん」によるお出迎えが大変好評であり、また「いのちをつなぐ献血」DVDや所長のメッセージにより、幼年期の子供から年輩の方まで幅広い世代の入場者に献血について関心を持ってもらった。 (参加者:約250名)
	H24.1.7	群馬県「はたちの献血」キャンペーン街頭活動	県内大型ショッピングモール	若年層から成人と幅広い年齢層の来場者	幅広い年代層が集まる大型ショッピングモールにて実施。献血サポーターでもある県内事業団(ラグビー)の選手に「はたちの献血応援隊長」としてキャンペーンに参加してもらい、トークショーとサイン会を実施した。	地元球団の人気選手がイベント参加したことにより、たくさんの集客があった。選手が自分の体験などを含めた話題で献血への許可を呼びかけたことにより、多くの人が関心を持ってもらうことができた。 (参加者:約100名)

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県 (血液センター)	H23.4月	新高校1年生入学おめでとう「献血ルーム見学会」	県内高等学校	新高校1年生	新高校1年生に入学おめでとうカードを配布し、見学ルームを見学を促し、献血を身近なものに感じてもらった。	おめでとうカード42,620枚を配布した。
	H23.7月～8月(第3期) H24.2月～3月(第4期)	献血ゆる玉応援団による「献血ありがと」キャンペーン	県内8か所献血ルーム	若年層(10代～20代)	献血協力者にゆる玉応援団グッズ(携帯ストラップ、クリアファイル)をプレゼントした。	携帯ストラップ3,491個、クリアファイル1,188枚を配布し、400ml献血量が前年比550人増加した。 (第3期)
	H23.8.8	愛の血液助け合いの集い	埼玉会館	表彰、感謝状の受賞者	献血功労団体の表彰など諸行事を行い、献血普及及び献血への理解と協力を図った。	
	H23.4.5～4.22(受付) H23.8.8(表彰)	献血推進ポスターコンクール	県内	県内中学生	献血推進用ポスターの原画を募集し、最優秀作品を「愛の血液助け合い運動」ポスターにし、関係機関に配布した。	応募総数528枚
	H23.12.1～12.25(実施期間) H23.12.23(イベント)	クリスマス献血キャンペーン	県内8か所献血ルーム 本川越駅前	若年層を中心に幅広い年代	平成23年12月23日日本川越駅前にて埼玉西武ライオンズ選手によるトークショー、写真撮影会等を行い広く献血を呼び掛けた。	献血受付者326人
	H24.1.1～2.29	はたちの献血キャンペーン	県内8か所献血ルーム	新成人を中心に幅広い年代	新成人に対し成人式会場で献血を呼び掛けるパンフレットを配布した。	
	H24.2.1～4.30	卒業献血キャンペーン	県内8か所献血ルーム	高校卒業予定者	県内高等学校に対してリーフレットの配布及びポスター掲示を依頼し、卒業記念の献血推進を依頼した。	

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県	H23.7月～9月	献血啓発推進ポスター募集	県内全域	千葉県下の中学校、高校に在学中の生徒	中学生を対象として、献血啓発推進ポスターを募集10月に行われる「献血感謝のつどい」で優秀作品を表彰。優秀作品を使用した配付物(うちわ・テラシ)やポスターを製作し、広く献血協力を呼びかける。	
	H23.4月～	中学生向けテキストの作成	県内全域	千葉県下の中学3年生	平成22年度献血啓発推進ポスターの中学生の部 最優秀賞の作品を活用し、テキストを作成	
	H24.1月～	リーフレットの作成	県内全域	成人式や保健所等の窓口で配布	平成23年度献血啓発推進ポスターの高校生の部 最優秀賞の作品を活用し、リーフレットを作成	
千葉県赤十字血液センター	H23.8月～	柏レイソルと連携した献血啓発	日立柏サッカー場 柏レイソル及び県血液センターのホームページ や広報紙などを使用	特に若年層を中心とした全ての世代	柏レイソルホームページへの献血バナーの設置 日立柏サッカー場における献血キャンペーンカードの配付 サッカー場大型ビジョンへの献血CM放送 柏レイソル選手による献血啓発ポスターの製作	サッカー場などで配付したキャンペーンカードによる献血応募者は、現在まで300人以上、レイソルポスターも好評で現在でも希望者が後を絶たない。
	H24.1.21	はたちの献血キャンペーンイベント	アリオ蘇我(千葉市大型商業施設)	はたちの若者を中心とした全ての世代	千葉ロッテマリーンズ・ベイエフエムの協力により献血啓発イベントを実施して献血を呼びかける。	当日会場横で実施した献血には120人が参加の他店内でのグリーティングでもおよそ200人以上と触れ合うことができ、当日の様子は、地元紙でも紹介される。
	H24.1.1～2.29	はたちの献血キャンペーンCM放送	県内全域	はたちの若者を中心とした全ての世代	地元テレビ局での、当該キャンペーンCM(石川遼Ver)放送の実施	2ヶ月間で100本放送(予定)
	H24.1月	献血啓発ポスターの製作(支部長/県知事起用)	行政関係施設・学校・協力団体等	特に若年層を中心とした全ての世代	日本赤十字社千葉県支部長(千葉県知事)とともに、赤十字の学生ボランティアを献血ポスターに起用し、広く県民への献血協力を呼びかける。	

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	H23.4月～6月、10月～12月	グループ献血	各大学の献血会場	大学・短大等の学生	若年層への啓発として、3人1組で400ml献血に協力いただいたグループに、献血会場当たり先着5組に特別な記念品を差し上げる等、献血者の増強を図った。	短大・大学の12月中旬までの実施で、献血者数20,000人以上
東京都	H23.7.1～7.31 H24.1.1～2.29	夏期・冬期のキャンペーン時にポスターを製作(B3サイズ)	高校・大学・専門学校に届出を依頼	学生・教員・保護者等	夏期・冬期のキャンペーン時に東京都独自ポスターを製作し、学校に届出を依頼	1,200校に送付(4,600枚)
	H24.2.1～2.7	街頭ビジョン	新宿アルタ、渋谷109、秋葉原UDXなど6か所、7ビジョンで放映	学生ほか	献血ルームがあり、若者が多く集まる新宿、渋谷、秋葉原、池袋などでキャンペーンCMを放映	

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
神奈川県赤十字血液センター	H23.10.1	第8回ボラフェスタinKANAGAWA2010	日本丸メモリアルパーク	県民(およびボラフェスタ参加大学等学生)	県内のボランティア団体が一堂に集まり、ボランティアの輪を広げ、県民に意識の普及を図ることを目的とする。 また、ボランティア活動としての献血をPRすることにより、幅広い年齢層(特に若年層)に献血推進への協力的基盤を築くことを目指す。(FMヨコハマ特別番組の生放送と連動して、広く県民にボランティア精神や献血思想を普及する。)	来場者数5,000人

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	H24.1.21(録音) H24.1.23~3.2(放送) (合計15回)	2012はたちの献血キャンペーン(ラジオ公開録音イベント)	イオンモール新潟南	若年層	地元の人気アイドルグループをゲストに迎えた献血PRイベントを行うことにより、主に若年層への献血思想の普及を図るとともに献血者が減少しがちな冬期における献血者確保を目的とし、イベントを実施した。収録内容の放送は15回に分けて実施した。	イベントには300名以上の観客があり、目的である若年層が多いことはもちろん、親子連れの参加も多く見受けられた。
	H23.12月	はたちの献血キャンペーンの広報(CMの放送依頼)に係るマスコミ訪問		テレビ、ラジオ各局	県、血液センターで県内のマスコミ各社を訪問し、献血への理解と協力、CM放送依頼を行った。	
	通年	学校訪問		高等学校、中等教育学校	県、市町村、血液センターで高等学校等を訪問し、献血への理解と協力を依頼した。	
	H23.5.14~5.15 H23.10.8~10.9	「古町どんどん」(商店街イベント)での献血PR	古町	若年層を中心に幅広い年代	学生献血PRボランティアが街頭キャンペーンを実施し、献血への協力を呼びかけ、普及啓発を図った。	延べ25名の学生ボランティアに参加していただき、PR場所近隣の献血ルームで多くの献血者から協力いただいた。
	H23.12.23	クリスマス献血キャンペーン	万代	若年層を中心に幅広い年代	学生献血PRボランティアが街頭キャンペーンを実施し、献血への協力を呼びかけ、普及啓発を図った。	高校生と大学生合わせて約200名のボランティアに参加していただいた。また、当日会場に献血バスを配車し、会場と隣接する献血ルームと合わせて223名の受付があった。(バス79名・ルーム144名)
	H23.5.21	街頭献血PR活動	MEGAドン・キホーテ柏崎店	若年層を中心に幅広い年代	学生献血PRボランティアが街頭キャンペーンを実施し、献血への協力を呼びかけ、普及啓発を図った。	青年赤十字奉仕団加盟校による、献血PR活動を実施。当日は6名の大学生が活動に参加した。
	随時	若年層ターゲットの雑誌への献血情報掲載			10代、20代	若年層をメインターゲットにしている雑誌に献血ルーム紹介や献血の手順あるいは同世代の献血体験談を掲載することで「知らない」ことによる不安やマイナスイメージを払拭することを目的に実施した。

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H23.7月~8月 H24.1月~2月	ショッピングセンターでの懸垂幕掲示	富山駅前のショッピングセンター	一般県民	富山駅前の商業施設を活用し、献血啓発用の懸垂幕を掲示し、献血思想の普及を行った。	
	H23.7月	献血啓発用「ジャンボ黒板消し」の配布	県内全高校	県内高校3年生	若年層への献血意識を高めるため県内の高校、高専の3年生全クラスに配布した。	60校、266クラスへ配布。
	H23.8.7	サマー献血キャンペーン	ショッピングセンター	一般県民	夏場の血液不足解消のため、学生ボランティア主催によるキャンペーンを実施した。	献血者141名 400mL献血率100.0%
	H23.7月~9月、12月 H24.1月~2月	献血啓発CMの上映	TV、シネマコンプレックスで映画の本編前にCMを上映するもの	一般県民	献血推進CMを作成し、TVや映画館で上映することにより献血の普及啓発を行った。	県内2箇所で開催。
	H24.1月~2月	献血啓発ラジオスポットCMの放送	献血啓発用のラジオスポットCMを放送するもの	一般県民	ラジオを聞く機会が多いと思われる若者に向けて、献血に関するラジオスポットCMを放送し、献血思想の普及啓発を図った。	延べ20回放送
	H23.12.11	全国学生クリスマス献血キャンペーン	ショッピングセンター	一般県民	年末年始の血液確保のため、学生ボランティア主催によるキャンペーンを実施した。	献血者148名 400mL献血率100.0%
	H24.1.1~1.31	駅コンコース踏込広告設置	JR富山駅コンコース	一般県民	はたちの献血キャンペーン期間中に、駅のコンコースへ広告を設置し献血意識の高揚を図った。	
	H24.1.6	はたちの献血キャンペーン	県名各地ショッピングセンター、駅など	一般県民	冬期における血液不足の解消のため、街頭キャンペーンを実施し、広く県民に理解と協力を求めた。	
	H24.1.9	「はたちの献血キャンペーン」&複数回献血メールクラブ会員募集イベント	ショッピングセンター	一般県民	ラジオ公開生放送による献血啓発活動及びLOVEメール会員募集イベントを実施した。	献血者88名 400mL献血率100.0% 集客数約450名
	H23.7月~9月(募集期間) H23.10.22(表彰式)	献血推進用ポスター募集・表彰	県内小・中学生を対象に献血推進ポスターを募集し、優秀作品を表彰を行った 表彰式:富山電気ビル	県内小・中学生	県内小・中学生を対象に献血推進ポスターを募集し、優秀作品を表彰を行った。	応募点数:792点 (小学生82点、中学生710点)
H24.2.1~2.7 H24.2.9~2.14	献血ポスター優秀作品の展示	県内ショッピングセンター	一般県民	小中学生献血推進ポスターコンクールの優秀作品展示を行い、献血思想の普及を図った。	県内2箇所で開催。	

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県	H23.7.1～H23.10.31(募集) H23.12.21(表彰式) H23.12.7～H24.1.13(展示会)	献血ポスターコンクール入賞者表彰式	県庁特別会議室	県内中学校	県内中学生を対象に、献血に関するポスターの公募を行い、献血できる可能年齢に達した際にも、献血に対する抵抗が少なくなることを期待する。	34校240点の応募があった。
	H24.1月	新成人対象献血啓発	各市町成人式会場	新成人	成人式出席者に啓発資料を配布する。	
石川県赤十字血液センター	H23.6.24	石川県学生献血推進連絡会	金沢市内ホテル	大学教職員、学生	県内の大学、短大、高専の学生及びその教職員が若年層の献血推進に理解を深め、学生ボランティアの活動をサポートする。	県内10校、26名の参加があった。
	H23.7.3	学生七夕献血キャンペーン2011	ショッピングセンター、献血ルームラフロ	学生献血ボランティア	浴衣やけん付けちゃん着ぐるみを着た学生ボランティアが街頭で献血を呼びかける。	当日は2会場で255名の受付、189名の献血協力があった。
	H23.8.21	中部統一サマー献血キャンペーン2011	ショッピングセンター、献血ルームラフロ	学生献血ボランティア	中部ブロック統一スローガンを掲げ、1移動当たり受付人数80人を目標に、献血会場周辺で献血協力を呼びかける。	当日は2会場で192名の受付、157名の献血協力があった。
	H23.12.11、12.18	全国学生クリスマス献血キャンペーン2011	ショッピングセンター、献血ルームラフロ	学生献血ボランティア	全国統一スローガンを掲げ、サンタやトナカイの格好をした学生ボランティアが、献血会場周辺で献血協力を呼びかける。	2日4会場で394名の受付、341名の献血協力があった。

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県赤十字血液センター	H23.9月～10月	2011学園祭献血	各大学、短期大学	大学生、短期大学生	各大学において献血を実施し、若年層の献血者を確保した。	
	H23.9.19	Heart Wave Action 2011	JR福井駅西口広場	県民、学生	移動採血者による献血の協力をよびかけるとともに、事前公募を行った「命・献血・助け合い」をテーマとした作品の表彰を行い、献血思想の普及啓発を行った。	

【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県	H23.12～	中学3年生への啓発	—	県内の全中学3年生	中学3年生に対して啓発資料の配布	中学3年生に周知
	H24.1月	はたちの献血キャンペーン	成人式会場	県内の20歳	市町村と連携をとり成人式に出席した方への啓発資料配布	20歳の若者に周知
山梨県(血液センター)	H23.5月～H24.2月	高校集団献血	各高校	県下41校	県下全日制すべての高校3年生(男子校の場合2年生も)対象に400mL献血の推進	年間約2,400人の献血者確保
	H23.8月～12月	学生推進連絡会主催献血	各献血会場	学生等	年3回以上学生推進連絡会主催献血を行い、学生中心の献血者を集う	年間約300人以上の献血者確保

【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長野県	サマー:7/2、7/18 クリスマス:12/4、12/10	学生ボランティアキャンペーン	JR長野駅前 飯田市及び上田市内の大型店舗	若年層を中心幅広い年代	献血者が減少する夏期と冬期に人が集まる場所へ移動採血車を配車し、学生ボランティアの協力を得て、サマーキャンペーン及びクリスマスキャンペーンを実施した。	献血者数:サマー 217人 クリスマス 163人
	H23.6月～H24.2月	学校訪問等による働きかけ	高等学校、短大、大学、専門学校	学生	保健所職員が学校を訪問する等により、献血についての啓発を図る。	143校に働きかけを実施
	H23.6月	高校生へのリーフレット配布		高校生	高校生に献血を正しく理解してもらうため、県作成リーフレットを全高校生に配布	66,200部作成
	H23.5月～H24.1月	新成人献血啓発リーフレット配布	成人式会場	新成人	新成人に献血への協力を呼びかけるためのパンフレットを作成し、市町村で開催する成人式等において新成人に配布する。	24,000部作成
	H23.4～H23.8月	献血推進ポスター図案募集		中・高校生	中・高校生に献血思想の普及を図るため、献血推進に関するポスターを募集する。 優秀な作品から献血推進ポスターとポケットティッシュを作成し、県内の電車・バスの車内に掲示する等、献血の普及啓発を図る。	応募総数188点 ポスター2,000枚作成 ティッシュ30,000個作成
	H23.12月～H24.2月	“けんけつ”啓発ラジオマンズリー放送	民放ラジオ1局	県民	献血者が減少する冬期に聴取率の高い時間帯の番組内で、平日毎日、同じ時間に献血への協力を呼びかけた。	放送回数:延べ65回
	H23.7月、H24.1月	ラジオスポット放送	民放ラジオ2局	県民	全国的な献血キャンペーンの期間中に民放ラジオ2局でそれぞれ7日間ずつ献血への協力を呼びかけた。	放送回数:延べ28回

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H24.2.11	はたちの献血キャンペーン	献血会場(ショッピングモール)	20代	タレントによる献血体験とトークショー、地元大学生による献血体験レポート等。後日地元FM放送にて特番放送。学生フリーペーパー「ママガジン」の特集記事に掲載。	当日のアンケート調査により、若年層が献血に興味をもったという結果が出た。
	H23.4月～6月	高校生向け啓発パンフレット配布	県内高等学校	高校2年生	県が作成したパンフレットを、県内の高校2年生に配布した。	

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県	H23.5月～H24.3月	アボちゃんサポーター事業 成分献血啓発事業	高等学校、各地域	県内の高校生 県民	県保健所の所管地域にある高校の生徒181名に献血ボランティア「アボちゃんサポーター」を委嘱し、学内献血や学校祭、地域の健康まつり等において献血広報活動を行うとともに、活動記録「ABOニュース」を制作した。地域の健康まつり等では献血推進コーナーを設置し、子供連れの家族などに献血クイズを実施するなど、献血意識の啓発を行った。	献血者増加、献血思想の普及

【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
愛知県	H24.1.1～H24.2.29	はたちの献血キャンペーン	県内全域	高校1年生、新成人	パンフレットを作成し、県内の高等学校に通う高校1年生と成人式等で配布した。	本県の献血目標達成につながった。 【参考】パンフレット配布数 高校1年生 66,804部、新成人 39,646部

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県 三重県赤十字 血液センター	H23.7月～H24.3月	各キャンペーン	県内ショッピングセンター等	若年層を中心に幅広い年代	学生を中心とするボランティアにより、街頭献血で同年代へ広く献血の呼びかけを行った。	ボランティア参加数 延べ897人

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	H23.7.17	サマー献血	JR近江八幡駅南口	県民	滋賀県学生献血推進協議会が主体となって街頭献血を呼びかけ、啓発活動を行った。	献血者75人
	H23.8.28	滋賀県青年大会献血キャンペーン	野洲市	県民	青年団とNPOが献血啓発ブースを設置してパンフレットを配布。	
	H23.11.16～H24.1.16	第48回献血運動推進全国大会「標語」「ポスター」コンクール		県内の中学生・高校生・大学生	第48回献血運動推進全国大会に向け、県民の開催機運を高めるため、実行委員会において実施。	標語144点、ポスター133点の応募
	H23.12.17～12.25	クリスマス献血キャンペーン	血液センター、湖北献血ルーム	献血者	血液センターと湖北献血ルーム内でクリスマス装飾をし、音段と雰囲気の違いを探血所を巡り献血者を楽しんでいただくことを目的とする。	ホームページ・メール会員に事前広報した結果、同期間で前年比113.4%の実績となった。
	H23.12.23	クリスマス献血	JR近江八幡駅南口・北口	県民	滋賀県学生献血推進協議会が主体となって街頭献血を呼びかけ、啓発活動を行った。	献血者158人 メール会員に事前広報と開催地付近に新聞折込みを入れた結果、サマー献血と併せて10代～20代の協力者数が前年より15名増え、前年比183.3%の実績となった。
	H24.1.1～2.29	「はたちの献血」キャンペーン	各市町	成人式参加者、県民	成人式で献血啓発資料を配布。また、メッセージキャンペーンとして献血者の皆様にメッセージをお願いした。	
	H24.3.18	献血啓発キャンペーン	竜王町	県民	町職員組合青年部とNPOがアウトレットモールで献血啓発キャンペーンを実施。	

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H23.6月、12月、H24.1月、3月	大学生等向け広報の実施	府内の学生等向け無料情報紙「ガクシン」	大学生・専門学校生等	京都府学生献血推進協議会の活動、献血ルーム、献血ルームでの献血の流れの紹介等	
	H23.7.24	夏の学生献血キャンペーン2011	JR京都駅前広場	若い世代を中心とした府民	献血協力呼びかけ。啓発資料配布。アカペラ&ダンスイベント等	
	H23.11月	高校生だよ、献血キャンペーン	府内高等学校	府内の高校2、3年生	高校生向けリーフレットの配布等	
	H23.12.18	全国学生クリスマス献血キャンペーン2011	JR京都駅前広場	府内の高校2、3年生	高校生向けリーフレットの配布等	
	H24.2.19	近畿献血大作戦2	JR京都駅前広場	新たに成人式を迎えた「はたち」の若者を中心とした府民	高校生向けリーフレットの配布等	

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府	H23.9.1～10.31(募集) H24.2.7(発表) H24.3.26(表彰式)	熱血献血キャンペーン ポスター原画募集	・府内の高校、市町村等に募集告知用チラシを配布 ・府HP等による募集告知	府内の16歳～29歳	献血離れが特に進んでいる10代・20代の若者に献血の重要性、輸血によって救われる命の大切さを伝えるため、同世代の若者を対象に献血のポスター原画を募集	・府内の学生を中心に応募あり。 ・優秀作品を利用したカレンダーを作成し府内の高校、大学等に配布する他、啓発物品“葉”を作成し、府内高校新1年生に配布予定。 ・優秀作品は府庁等で随時展示する予定。
大阪府 大阪府赤十字 血液センター	①H23.12.20(府立港南造形高校) ②H24.1.24(府立今宮高校)	府立高校の生徒による献血キャンペーン	①まいどなんば献血ルーム 御堂筋献血ルーム CROSS CAFÉ ②御堂筋献血ルーム CROSS CAFÉ	①生徒約30名 ②生徒7名	・献血ルーム周辺での街頭キャンペーン ・献血者への接遇 ・献血者対象の似顔絵イラストサービス	
	H23.4.1～H24.3.31	専門学生及び高校による呼びかけボランティア	大阪府内の献血会場	大阪府内の専門学生、高校生	若年層献血推進を目的とし、献血ボランティアに参加することで献血意識を深める	大阪医療技術専門学校、南海福祉専門学校、大阪赤十字看護専門学校、大阪府立山田高等学校 陸上部

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字 血液センター	H23.10月～H24.2月	高校・学生献血キャンペーン	各実施校	若年層(高校、大学生等)	若年層に受け入れやすい記念品(人気アイドルを起用したクリアファイルやけんけつちゃんストラップ)や専用ティッシュを製作のうえ若年層向けキャンペーンを企画し、10代、20代の献血者増を図った。	高等学校21校、延べ905名、大学等55校、延べ5,000名程の400mL献血中心の献血協力が得られた。
兵庫県 兵庫県赤十字 血液センター	H24.1月	新成人に対する啓発	県内18成人式会場でのチラシ配布	新成人	各市町の成人式配付資料にチラシを同封いただき、はたちの献血キャンペーンの新成人への献血啓発を図った。	新成人9,000人に対して、献血の必要性と献血場所の案内を行うことができた。
兵庫県	H23.4月～	高校生献血推進ボランティア事業	県下の高等学校	県下の高校生	在校中に初めて献血可能年齢を迎える高校生(高等専門学校生含む)を対象として、ボランティア活動としての献血の趣旨等について普及啓発をおこなった。	県下28校で実施

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	H23.5.27～6.14	ブログ記事キャンペーン	インターネット上	インターネット記事が書ける方	ブログ・facebook・mixi等に献血記事を書いてもらう。	多くの若者が利用しているSNSを利用することで献血情報の発信・拡散ができた。
	H23.12.3～H24.3.2	映画館でのCM上映	TOHOシネマズ橿原	映画観覧者	期間中、全スクリーンにて30秒のCM上映	冬休み～春休みにかけておこなったので、特に学生等の若者への広報に役立った。
	H24.2.18	卒業記念献血	県内高等学校1校	県内高等学校1校	県内私立高等学校1校において卒業記念献血を実施。	卒業生・在校生に初めての献血を体験してもらうことができた。
	H24.3月	高校生へのリーフレット配布	県内高等学校等	高校生等	献血可能年齢(16歳)となる県内高校1年生を対象にリーフレットを配布	

【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県赤十字血液センター	H23.6.12、7.31、8.21、8.28、9.19、10.10、12.18、12.23、H24.1.22、1.28、2.19、2.26、3.20	和歌山県学生献血推進協議会主催キャンペーン	県内各地	一般	学推による企画、呼びかけを行い、「若者による若者の献血」を目指す。	キャンペーン中は30歳未満の若者の献血が増え、さらに学推の一生懸命さが共感を呼び毎回100人を超す協力が得られている。(実施回数14回、献血受付1,976名、採血1,596名)
和歌山県和歌山県赤十字血液センター	H23.9.28 H23.12.16	高校生献血学習	県立日高等学校中津分校 県立耐久高等学校	全校生徒150人 3年生48人	講師による献血講演を行い、後日献血車を配車し、献血を実施。	講師の講演が感動を呼び、聴講した多くの生徒に献血意識を持っていただくことができた。

【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	H23.7.18 H23.7.23 H23.8.6	街頭献血キャンペーン	イオン鳥取北SC 倉吉パープルタウン イオン日吉津SC	高校生	血液の必要性の学習及び街頭での献血呼びかけ等	

【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県 日本赤十字社 島根県支部 島根県赤十字血液センター	H23.7.1～9.30	高校生ふれ愛キャンペーン	・県内の全高校への配布依頼 ・郵便、FAX、メールで応募可能 ・全問正解者への図書券の供与	県内の高校生全員	県内高校生全員を対象として、献血に関するクイズ付きのリーフレットを配布し、クイズへの応募、献血に関する質問等を募集。	クイズ応募者:21名 全問正解者:11名 質問に対する回答を行い、ホームページでも公開
島根県 市町村 日本赤十字社 島根県支部 島根県赤十字血液センター	H23.8月、H24.1月	「はたちの日」成分献血啓発事業	成人式会場	県内の新成人	次世代の献血を担う新成人を対象に、成人式会場において、成分献血をはじめとした献血に関するリーフレットを配布し普及啓発を図る。	7,040枚のリーフレット配布
島根県 島根県赤十字血液センター	H23.10.15	島根大学ギター部定期演奏会協賛献血セミナー	松江市プラパホール	学生及び一般	プログラムに献血の広告を掲載。演奏会に先立ち、DVD「ありがとうっていっぱい言わせて」の上映と「献血Walker」、献血推進パンフレット配布により献血協力の呼びかけを実施。けんけつちゃん着ぐるみも登場。	入場者:約300名
	H23.10.8	松江高専高専祭献血セミナー	松江工業高等専門学校 第一体育館	学生及び一般	プログラムに献血の広告を掲載。高専祭実行委員会、社会奉仕部と連携して献血セミナー及び校内献血を実施。DVD「ありがとうっていっぱい言わせて」の上映と「献血Walker」、献血推進パンフレット配布により献血協力の呼びかけを実施。けんけつちゃん着ぐるみも登場。	入場者:約300名 献血者:44名
	H23.10.9	島根大学浜風祭献血セミナー	島根大学浜風祭献血会場	学生及び一般	プログラムに献血の広告を掲載。浜風祭実行委員会、島根大学学生献血推進サークルぐつぱと連携して献血セミナー及び学内献血を実施。DVD「8月の二重奏」上映、けんけつちゃん着ぐるみにより献血協力の呼びかけを実施。	献血者:33名

【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	H23.6.15～10.15(募集) H24.2.5(授賞式)	第6回いのちと献血俳句コンテスト 岡山センター所長賞(授賞式)	岡山県赤十字血液センター	若年層を中心に幅広い年代	若年層を中心に幅広い年代から、献血に関する俳句の公募を行い、献血を通して支えられる生命に意識を向けさせると共に献血活動の意義理解・普及の機会を創出することを目的とする。	全国約36万句の応募の中より、岡山県においては、岡山センター所長賞1名、入選3名、団体賞4団体が受賞した。

【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H23.4.1～6.17	献血推進ポスター募集		中学生	献血を呼びかけるポスターの図案募集	応募総数442点
	H24.1月	はたちの献血チラシ配布	成人式典会場	新成人等	成人式典において啓発チラシ配布	式典主催者である市町の協力
	H24.1月	知事の献血参加・若者への呼びかけ	献血会場	若年層	知事が集団献血に参加(県庁職員献血)し、献血後に若年層へ献血の呼びかけを行った。	

【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	H23.6月～H24.1月	高校での学校献血	県内4校	高校生	学校で献血を実施	4校、146人が献血
	H23.6月～H24.3月	高校生献血推進ボランティア育成事業	14校	高校生	文化祭等で高校生ボランティアが献血啓発活動を実施	14校で実施
	通年	学校献血	各大学・専門学校	各大学・専門学校生	学内献血等に合わせ、献血要請	11校、事前チラシ・ティッシュ配布当日の呼びかけ
	H23.6.9～9.16(募集) H23.12.22(表彰式)	献血推進ポスター・作文募集	県内中学、高校に募集を依頼県庁(表彰式)	県内在住・通学の中・高校生	中・高校生から献血推進ポスター・作文の募集を行い、献血意識の普及啓発を図ることを目的とする。	ポスター21校(81点)、作文14校(325点)の応募があった。
	H24.2.29	献血読本の作成・配布	県内中学、高校	中・高校生	献血推進ポスター・作文の受賞作、献血啓発事業の概要を掲載し、献血意識の向上を図ることを目的とする。	高校1年生全員、中・高校全学級へ配布。16,720部作成

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県	H23.4月～H24.3月	けんけつ「ハートメッセージ」事業		若年層	若年層の献血離れに歯止めをかけるため、若者向けのタウン誌に年間6回、献血に関する記事を掲載し、啓発活動を行った。	6回(各1ページ)掲載
	H24.1月	はたちの献血キャンペーン	市町村	新成人	成人式に合わせ、献血啓発パンフレットを配布した。	
	H23.7月～9月	献血推進ポスター入賞作品募集	徳島県内小中高校	徳島県内小中高校生	献血について理解を深めるため、徳島県内小中高校生を対象に献血推進ポスターを募集した。	86作品の応募

【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
香川県	H23.7.24 H24.1.29 H24.2.5	高校生街頭献血キャンペーン	ゆめタウン高松 ゆめタウン丸亀 ゆめタウン三豊	高校生	高校生献血ボランティアに献血に関する学習をしてもらった後、店内で献血への協力呼びかけを実施。	高校生を対象に献血ボランティアを募集したところ、延べ14校55名の参加があった。
	H23.7.26 H23.7.29 H24.2.4	高校生献血サポーター事業	献血ルーム	高校生	高校単位で献血ボランティアを実施。実施内容は献血に関する学習をもらった後、献血ルーム前で献血への協力呼びかけを実施。また実際に献血を体験。	3校で実施、延べ55名の参加があった。また、献血希望者13名のうち実際に10名が献血してくれた。
	H23.7.8、10.26、H24.1.12、2.8、2.15	高校における献血出前教室	県内5高校	高校生	希望のあった高校に血液センター職員が出向き、学校の授業の一環として、献血に関する基礎知識の啓発を実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(5校663名参加)

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	H23.7.16	夏の献血キャンペーン2011	エミフルMASAKI	一般	県内の高校生を中心とした献血の呼びかけや実際に献血を実施してもらう等の参加型の普及啓発活動を行った。	
	H24.1.1～2.28	はたちの献血	献血会場等	一般	各市町で実施される成人式会場等において啓発用パンフレットを配布し、献血の普及啓発を行う。	

【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
高知県	H24.1.9	はたちの献血キャンペーン	イオンモール高知	幅広い世代	今年20歳になる学生に1日所長になってもらい、若い世代にPRをしてもらう	

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	通年	若年層増加対策献血	県内各会場(大学・専門学校等)	学生	大学などの献血時に若者が好む記念品を準備し、キャンペーンを張って献血者確保に努めた。キャンペーンを張るため、ひとつの大学で複数日献血を実施した。更には、半日実施の学校に部活動単位での協力を依頼し、終日実施とした。	キャンペーンと称し実施することで、学生も集まり、記念品も講評で、年複数回実施するも、リピーターが増えた。部活動等の学生の協力も増え、終日実施の目標に到達できた。
	H23.12月～H24.2月	高校献血の開拓(卒業記念献血)	各高等学校等会場	各高等学校(高校3年生)	セミナーなどを積極的に行い、新たな協力校を開拓。併せて今後社会の中心的な存在となる若年層の献血機会を増やすように、卒業時に記念献血をお願いしている。	献血受入可の学校もあれば、400ml献血を推進するため、対象が多くなる受験シーズン(12月～2月)での実施となるため、敬遠する学校が多い。また、既に取り組んでいた学校は、継続実施ができていないため、今後の推進が鍵となる。

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	年度後半	卒業献血(高校2・3年生対象)	県内の4高校	高校2・3年生	献血に協力を求めるため血液センター職員が献血の必要性について事前に高校で説明し、献血を校内で実施した。	若年層への献血普及が行えた。

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	H24.1.6、1.11	はたちの献血キャンペーン	長崎女子短期大学 長崎大学キャンパス	大学生	若年層啓発活動として献血者の底辺拡大を目標に学生が楽しめて、参加しやすいイベントを開催した。	年々確保が厳しくなっているが、学生献血の体験を一人でも多く増やしていく。
	H24.2月	はたちの献血キャンペーン期間中でのほかぎでの献血依頼	固定施設	新成人	各大学にポスター掲示して、固定施設や近隣大学で献血した新成人の再来率アップを目指す。	キャンペーンへの理解を深め、複数回献血者を増やす。
	H23.4月～12月	高等学校訪問	高等学校	17歳(男子)を含む400mL献血可能者	新採血基準改正内容について説明し校内献血、献血セミナーを依頼した。	今年度献血26校実施。前年より3校増、250名増増加した。年2回実施が3校となった。新採血基準の効果が表れた。

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	通年	献血Walkerの配布	県下各大学、専門学校、高校	学生、生徒	本社作製の同冊子を効果的に配布し、若年層に対する献血への理解を図る。	若年層に対する効果的なアプローチができた。
	通年	高校献血の実施	県下高校(前年度12校)	生徒	献血実施前に、血液センターが準備した献血に対する「同意書」または「希望書」を学校から生徒に配布していただき、献血希望の生徒が、事前に献血の知識について理解を図ったうえで献血を実施する。	献血を受けやすい雰囲気(自らの高校)での献血を実施することによって、早い時期から献血の体験や理解が図れたことにより、次回以降の献血へのハードルが低いものとなり、今後の継続的な献血協力が期待できた。
	年4回	情報誌「くびる」の配布	県下各大学、専門学校、高校	学生、生徒	本県オリジナルの情報誌配布により、若年層に対する献血への理解を図る。	若年層に対する効果的なアプローチができた。
	H23.6月～	高校への説明及び献血協力依頼	県下各高校	学校長または副校長	県、市町村担当者と共に、県下各高校に直接出向き、献血基準改正の説明及び採血車配車依頼。	前年度比で、高校への配車が配車9台から12台に増加し、高校献血での献血者数が約300名から600名へと増加した。
	H23.11月	啓発資料の配布	県内各中学校	県内の中学3年生	シャープペンシルを県内の中学3年生(約2万人に配布)	若年層に対する効果的なアプローチができた。
	H24.1月	若者向け情報誌における献血広告の掲載			熊本県内の若年層	若年層に対する効果的なアプローチができた。

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県	H23.4月～H24.3月	高校生献血の輪拡大推進事業	各高等学校等	高校生その他	10ヶ所の高校を「高校生献血の輪拡大推進校」に県が指定し、各高校のボランティア部の生徒が、献血について学びながら啓発活動を実施。	活動を通して、高校生の献血に対する意識が向上。地元のボランティア団体と連携して活動した高校もあった。
大分県学生献血推進協議会	H24.1.8	はたちの献血キャンペーン街頭広報	大分市成人式会場	新成人	成人式会場で、新成人に献血のPRを行った。	
	H23.7.23	献血サポーター	大分銀行ドーム	大分トリニータサポーター	大分トリニータの公式試合前の学推協による献血の呼びかけ	
	H23.12.11	赤十字ふれあい広場	血液センター	地域住民	献血クリスマスキャンペーンとして学推協によるイベントを実施し、若年層の献血者の確保を行う。	地方紙へ6,000部の折込広告を実施し、来場者約500人あった
大分県赤十字血液センター	H23.12月～3月	若年層献血者用パス	県内高校	学生	県主管課より、県教委を通じて県内高校へ献血協力の通知を実施いただき、センター職員が高校へ校内献血の依頼等のため訪問する。	高校献血が1校増となる。

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H23.4月～	若年層向け啓発資料の作成	各キャンペーンイベント等	若年層	若年層への普及啓発の導入としてけんけつちゃんキャラクター入り啓発資料の作成、配布。	ペン、シャープペンシル、タオル(3色)、カフェタンブラー
	H23.5.5、12.25	学生キャンペーン	イオンモール(宮崎市、都市部)	若年層	ボランティア学生による同年代の若者への街頭での献血呼びかけ。	献血者:2回102人
	H24.1.15	はたちの献血キャンペーンイベント	イオンモール(宮崎市)	若年層	けんけつちゃん、御当地キャラクターと学生献血推進協議会メンバーによる啓発パレード等。	献血者:65人
	H23.4.17	Love in Actionご当地大作戦	イオンモール(宮崎市)	若年層	ミニコンサート、学生サミットの実施。	献血者:1101人

【鹿児島県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県赤十字血液センター	H23.11.24	鹿児島県ヤング献血フォーラム AI LOVE SATUMA! つなげよう命!	鹿児島市(宝山ホール)	16歳から29歳の献血者、献血に関心のある方・もてる方	献血者の減少が続いている十代から二十代の若者を対象に「献血フォーラム」を開催し、命の大切さや献血の重要性に対する理解を求めた。	ラジオCMの他、固定施設、献血バス、大学、専門学校、高校で応募の呼びかけをし、1,500人以上の応募があった
鹿児島市	H23.4.1～5.16(募集) H23.7.5(表彰式)	平成23年度鹿児島市献血標語募集	インターネット、広報誌等を利用(募集) 鹿児島市内(表彰式)	鹿児島市内居住者 (主に中学生・高校生)	2年に1回献血推進の一環として、献血標語の募集及び表彰を行い、献血標語ポスターを掲示することにより献血思想の普及を図る。	鹿児島市内の中学・高校等に応募を呼びかけるなどし、161点の応募があった。
鹿児島県	H23.5月～	血液教育事業	各中学校	中学生	献血可能年齢間近の中学3年生を対象に、血液に関する正しい知識と責任ある献血の重要性を認識させるため、県薬剤師会に委託し、学校薬剤師による講義を行った。	
鹿児島県 鹿児島県赤十字血液センター	H23.4月～	献血出前講座・献血講座	各高校・専門学校・血液センター等	小学生～大学・専門学校	講話やDVDにより命の大切さや献血の重要性を学んでもらい、献血への誘導を図る。	学校献血前に実施した場合、協力者を得られやすい。
鹿児島県赤十字血液センター	H23.4月～	市町村国保等との協働による若年層の献血推進・健康増進事業	鹿児島県内各市町村	10代～30代	国保等で実施する特定健康診断に併せて、20代～30代を対象とした健康診断と献血を実施し、若年層の献血推進と健康増進を図った。	
	H23.4月～	学生献血推進協議会主催の各種キャンペーンの実施	ショッピングセンター オブシア他	10代～20代	学生が自主的にキャンペーンを企画実施し、若年層に呼び掛けることで、献血啓発と導入に繋がった。	

【沖縄県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	H23.5月～10月	献血教室	県内各種専門学校	各種専門学生	献血に関するドキュメンタリー映像の上映。パワーポイントを使用して若年層の献血離れが進行し、血液確保が困難になっている現状を説明。献血の重要性を理解していただくことにより献血への参加を呼び掛ける。	

⑧安定的な集団献血の確保

【北海道】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	H23.10.6	献血推進ポスター展	血液センター	デザイン系の専門学校生等	幅広い献血の啓発を行うため、絵画技術を有する札幌近郊の学校へ献血広報用ポスターの作成への参加依頼とポスター展の実施。	作品数56点。原画製作を通じて献血の重要性等を理解して頂き、献血を身近なものに感じてもらうことが出来た。
	通年	新規および待機事業所の開拓・確保	各事業所	新規献血事業所やその献血会場周辺企業(新規開拓 トラック協会、他38社)	企業間のネットワークやライオンズクラブなどを通して、新規献血事業所を紹介してもらう。また、会社の建設などの情報収集に努める。	平成23年度は、東日本大震災の影響もあり、社会貢献の一環として献血に賛同する企業が多くみられた。
	通年	献血サポーター募集	各事業所	献血への理解があり、複数回の献血実施の実績がある企業	献血協力企業に対して、より献血への意識を高めてもらうために、移動採血車での実施の際に「献血サポーター」をPRする。	新規登録1社。献血に賛同している企業は増えているものの、「献血サポーター」自体に関して企業側へ促す行為に至っていない状況である。推進が滞っている要因として、サポーターの「ステッカー」に重みを感じないことも考えられる。
	通年	成分献血協力団体・企業の啓発	各事業所	各事業所	ライオンズクラブや天理教などの献血推進団体を通じ、団体での協力依頼や登録者名簿の作成依頼を行う。	ライオンズクラブを通じ、少年野球チームの指導者や保護者の協力を得ることが出来た。また、天理教については、緊急時の名簿を作成して頂いた。

【青森県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H23.12.19、12.20、H24.1.27、2.1	青森県献血推進委員研修会	各保健所	献血推進委員	献血推進委員と市町村担当者が集まり、献血推進実施事業及び献血状況等の説明をし、一層の理解と協力を求めた。	150名参加

【岩手県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	H23.11月	ライオンズクラブ献血推進研究会	岩手県赤十字血液センター	ライオンズクラブ	ライオンズクラブ献血担当委員長等が集まっていただき、献血に関する研修会を開催した。	
	H23.5月～10月	遊技業協同組合青年部の協力	県内各地のパチンコ店	従業員	今年度は、県内12カ所のパチンコ店を拠点に、周辺の店舗からも協力をいただいた。	400mL・233名 200mL・81名

【秋田県】						
都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県(血液センター)	通年	献血サポーターの募集		県内事業所	全県的に事業所への献血サポーターへの参加呼びかけ	平成23年度112件の依頼10社登録

【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県	通年	サポート団体育成事業		県内事業所	献血に協力的な事業所等を市町村ロビー等に掲示することにより、顕彰を行い、本県における事業所等が行う献血活動のより一層の推進を図った。	登録事業所等226団体(H24.3.26現在)
山形県(血液センター)	H23.10.17	ライオンズクラブ献血推進研究会	山形市内	332-E地区LC会員	ライオンズクラブ意見交換会及び勉強会。	ライオンズからの支援強化

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H23.8.5	「愛の献血運動」	陰山建設(株)本社	関連会社職員他	特に輸血用血液の在庫不足が危惧される期間において効率的確保を意図して企画	献血バス4台で600単位(150単位/台)を確保
	H23.10.22、H24.2.16	「ハートフルサタデー」(郡山市ハートフルサタデー献血推進実行委員会主催)	H23.10.22:郡山カルチャーパーク H24.2.16:郡山市総合地方卸売市場	関連会社職員他	特に輸血用血液の在庫不足が危惧される期間において効率的確保を意図して年に2回の実施を企画	1回目:バス4台で547単位(136単位/台) 2回目:バス2台で338単位(169単位/台)
	H23.12.15	名称は特になし 福島県中小企業同友会郡山地区主催	郡山カルチャーパーク	関連会社職員他	特に輸血用血液の在庫不足が危惧される期間において効率的確保を意図して企画	献血バス3台で294単位(98単位/台)を確保

【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県赤十字血液センター	通年	新規事業所の開拓		県内事業所等	保健所・市町村等の情報により新規事業所の開拓を実施	28ヶ所実施 献血者733名
	通年	休眠状態事業所の再開拓		以前献血実施事業所	献血者減少により献血実施をやめた事業所への再開拓を実施	20ヶ所実施 献血者518名

【栃木県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
栃木県	H23.6.15	「県民の日」献血キャンペーン	栃木県庁舎内 県民広場(宇都宮市) 県民の日記念イベント会場内	県民	栃木県医薬品配置協会の協力を得て、県民に対し、献血の普及啓発を行うとともに、移動採血車による献血を行うことにより、「献血思想」の意識の醸成を図った。	来場者:約1,000名 献血者数:40名
	H23.7月	「愛の血液助け合い運動」キャンペーン	県内	県民	ラジオやテレビによるスポットCM放送や県政広報誌への記事掲載により、400mL献血及び成分献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図った。	
	H23.7.27	献血功労者表彰式	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	県民	献血に功績のあった個人又は団体の表彰を行うとともに、一般県民も参加可能な記念コンサートを開催し、県民に対して、献血の普及啓発を図った。 第1部 式典 献血功労者の表彰 第2部 アトラクション オカリナコンサート	参加者:約150名
	H23.8.1~8.31	チャレンジ! 400mL献血&成分献血キャンペーン	うつのみや大通り献血ルーム、栃木県赤十字血液センター、県内献血会場	県民	血液が不足する時期に献血者を確保するため、実施期間中に初めて「400mL献血」または「成分献血」に協力いただいた方にオリジナル記念品を贈呈し、県民各層の間に献血思想の普及を図った。	初回献血者 ・400mL献血 462名 ・成分献血 43名
	H23.10.2	「ヒューマンフェスタとちぎ2011」献血キャンペーン	マロニエプラザ(宇都宮市)	県民	栃木県学生献血推進連盟「かけはし」の協力を得て、啓発物資の配布、移動採血車による献血等を実施することにより、県民に対して、献血の普及啓発を図った。	来場者数:1,000名 献血者数:51名
	H24.1月~2月	「はたちの献血」キャンペーン	・成人式 各市町の会場 ・シネアド TOHOシネマス宇都宮及び109シネマズ佐野	新成人を中心に幅広い年代	各市町で開催する成人式でのリーフレット配布やラジオ・テレビによるスポットCM放送のほか、県内2か所の映画館でシネアートの放映を行うことにより、若年層を中心とした幅広い世代に献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図った。	・新成人へのリーフレット配布数 22,680枚 ・シネアド放映回数 延べ約900回

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H23.4~H24.3	献血場所付近の企業への献血協力依頼。				

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	H23.9.6、H24.3.6(年2回)	集団献血	群馬総合ガードシステム	群馬総合ガードシステムの社員及び関係企業の職員	関係団体の職員を含め組織的に献血事業に理解を示され、血液が不足する夏季・冬季に継続して集団献血(移動採血車 各4台配車)を実施し安定した献血者確保を行っている。(全19の関係会社)	関連会社を含めた集団での献血実施は、血液確保に効果的である。
	H24.2.8、3.8(年2会場)	集団献血	県内 損害保険会社(2会場)	群馬県損害保険代理業協会加盟の会員	損害保険代理業協会は献血事業に理解を示されており、県内の協会加盟の会員を対象に、不足する冬季に継続して集団献血(オープン献血 2会場)を実施し安定した献血者確保を行っている。	冬季の集団での大変積極的な献血実施は、血液確保に効果的である。

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県赤十字血液センター	H23.11.1～	献血推進ポスターの製作	行政関係施設・学校・協力団体等	県内在住者	献血サポーター制度協賛企業のスポーツチームを献血推進ポスターに起用し、献血協力及び協力団体の募集を呼びかける。 また、ポスターの完成発表と並行する献血啓発のため、ジャパントップリーグ公式戦において、「けんけつちゃん」と学生ボランティアによるキックオフイベントも開催。	平成23年度12月末現在、約35の新規献血協力団体を開拓することが出来た。
	年間を通じ	新規献血協力団体募集	千葉県赤十字血液センターホームページ		ホームページへ新規協力団体募集の掲載をした。	

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	H23.4.1～継続	献血協賛企業の確保	企業の会議室や敷地内	幅広い年代	既存団体からの紹介や中断団体への訪問、献血実績のない企業へ献血協力依頼メールを送付する等、推進強化を図った。	依頼150件以上 約120件実施

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
新潟県	H23.7.22	新潟県献血功労者表彰式	新潟県自治会館	献血推進団体	献血推進に功績のある団体に対して表彰を行った。	大臣感謝状 8件 知事感謝状 13件 日赤新潟県支部長感謝状 10件
	通年	企業等訪問		献血協力企業等	県、市町村、血液センターで企業等を訪問し、献血への協力を依頼した。	

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
石川県赤十字血液センター	H23.6.13	ライオンズクラブ献血推進懇談会	金沢市内ホテル	各ライオンズクラブ献血担当者	各ライオンズクラブ献血担当者に献血の意義、平成23年度推進計画を説明し、献血推進の理解を得る。	当日は36名の出席があった。
	H23.8.10	血小板成分献血協力企業・団体の交流会	金沢市内ホテル	企業・団体の各献血担当者	血小板献血の要請に応じていただけた企業、団体の献血担当者に成分献血への理解をより深めてもらう。	金沢市内26の企業、団体に出席いただいた。

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県赤十字血液センター	通年	成分献血者の送迎	血液センター	市役所、町役場	各市役所、各町役場から職員を血液センターまで送迎し、成分献血実施者を確保した。	
福井県 福井県赤十字血液センター	H23.6.27	ライオンズクラブ担当者会議	サンドーム福井	ライオンズクラブ担当者会議	献血に関する研修会を開催する他、ライオンズクラブ主催の献血を実施し、安定的に献血者を確保した。	

【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県 (血液センター)	H23.4.1～	年間2回実施	各献血場所	県下すべての献血団体	献血者数50人以上の団体(高校は除く)は、すべて年間2回以上献血していただく	毎年同じ時期の恒例行事化
	H23.5月～H24.2月	高校集団献血	各高校	県下41校	県下全日制すべての高校3年生(男子校の場合2年生も含む)対象に400mL献血の推進	年間約2,400人の献血者確保
	H23.4.1～	ライオンズクラブ主催献血	各献血場所	ライオンズクラブ関係者	県下32ライオンズクラブ中26ライオンズクラブが主催献血を行う	年間約3,500人の献血者確保

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H23.12月、H24.3月	ぎふ献血サポーターズクラブ合同献血	各献血会場	同クラブ会員	県内の献血推進団体が連携して発足した同クラブの合同献血を6会場で行い、会員の動員等による献血者確保で安定的な確保に努める。	昨年度と同程度の確保となった。

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県	H23.4月～H24.3月	「アボちゃん協会」との連携		協力団体等	平成5年に設置した献血協力団体「アボちゃん協会」の会員企業等に対し、定期的に献血啓発リーフレット等啓発資材を送付し、意識普及を図った。	献血思想の普及

【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
愛知県	H23.7.22	愛知県献血運動推進大会	名古屋市中区役所ホール	一般県民	300回以上献血された方や長年組織的に献血に御協力いただいている企業または団体、献血推進に協力いただいている企業または団体に対して愛知県知事感謝状を贈呈した。	300回献血者 24名 献血協力団体 14団体 献血功労団体 5団体

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	通年	事業所献血訪問回数の増強	県内事業所	県内事業所	年1回の献血実施企業に対し年2回の実施を依頼した。	15企業の協力があつた。

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	H23.6.5	湖北長浜1000人献血運動	長浜市	県民	地域団体の呼びかけによる献血	献血者49人
	H23.7.9	愛の献血感謝のつどい	栗東市	県民	献血功労者に対する表彰状伝達式・贈呈式	
	H23.9.4	湖北長浜1000人献血運動	長浜市	県民	地域団体の呼びかけによる献血	献血者96人
	H23.12.3	湖北長浜1000人献血運動	長浜市	県民	地域団体の呼びかけによる献血	献血者45人
	通年	新規事業所拡大	県内	新規事業所及び休眠事業所	安定的な集団献血確保のため、新規事業所及び休眠事業所の再開を目的とする。	事業所を訪問し、新規会場4件と休眠事業所2社の協力実績があった。
	通年	献血プラスワンキャンペーン	県内	県献血推進協議会構成団体	あとひとりの献血(献血プラスワン)への協力を要請し、より多くの献血者の確保を目指す。	H23.4～H24.1に40名が協力

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H23.5.2、8.11、8.12、H24.1.5、1.6	職員献血	府庁	府職員	血液が不足しがちなゴールデンウィーク、お盆、年始に府職員を対象とした献血を実施	
	H23.7月	愛の血液助け合い運動	府内一円	府民	府内各地でイベント等を実施し、府民に献血への理解と協力を呼びかけ	
	H24.1月～2月	「はたち」の献血キャンペーン	府内一円	新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心とした府民	各種広報媒体による広報、啓発資料の配布、ポスター掲示等により、若者を中心とした府民に献血への理解と協力を呼びかけ	

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府	毎月第一水曜日	定例府庁前献血	府庁別館前等	府職員及び来庁者	・庁内ウェブ及び庁内放送で協力呼びかけ ・実施実績：計14回、425名献血(臨時含む)	
大阪府赤十字血液センター	H23.4.1～H24.3.31	大規模献血協力団体の計画的な協力依頼	大阪府内	府民	大規模の献血協力団体に対して、血液が不足する時期に献血を実施し、また複数回献血を実施することにより、安定的な血液の確保を図る	NTT労組、パナソニック関連会社、関西電力各社、ラクロス協会、大阪南部地域のたんじり祭り各青年団等
	H23.4.17 H23.5.29 他4回	ホテル献血	大阪府内のホテル	府民	高級ホテルの協力で、場所の提供及び紅茶、ケーキ等のもてなしをいただき、盛況であった	6箇所のホテルで588名の献血協力
	H23.8.29	ライオンズクラブ国際協会335-B地区クラブ献血担当委員長会議	スイスホテル南海大阪	335-B地区各ライオンズクラブ	各ライオンズクラブの献血担当委員長の献血意識を高めることにより、各クラブにおける献血者の増加を図る	研修会参加者214名

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H23.7.29、8.24	ライオンズクラブ研修会	血液センター	ライオンズクラブ献血担当者	ライオンズクラブが主催、共催するまとまった団体献血の充実強化と新規団体の開拓依頼を目的に血液の使われ方についての講演も含めた研修会を実施し、献血への理解と一層の協力を図った。	各地区毎に開催し、A地区98クラブ、D地区68クラブから参加があった。
	H23.4月～H24.2月	献血協賛企業へのロゴマークの普及	献血団体	献血団体	ロゴマークを付与することにより、一層の献血への理解と積極的な協力を図った。	50団体に出向き、10団体にロゴマークを配布した。
兵庫県	H23.8月	夏季献血推進強化月間	県下全域	県内企業、団体	血液の不足しがちな時期に合わせて、文書による協力要請を呼びかけ。	
	H23.12月、H24.1月	冬季献血推進強化月間	県下全域	県内企業、団体	血液の不足しがちな時期に合わせて、文書による協力要請を呼びかけ。	

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	①H23.4.26、4.27 ②H23.8.23、8.24 ③H23.12.27、12.28、H24.1.10	県庁献血	県庁東棟「県民ホール」	県庁職員・県警職員等	年3回(4・8・12月)と緊急時に県庁職員を中心に献血協力を呼びかけ、献血者の確保を図る。	①採血総数190名(受付総数213名) ②採血総数199名(受付総数224名) ③採血総数255名(受付総数275名) 緊急献血は実施せず
	随時	血液不足時の献血送迎	固定施設	全献血者	血液不足時には事業所から固定施設への送迎を行う。	緊急の血液不足に対応。
	平日限定(継続中)	午前中のPC採血者へ焼きたてパンプレゼント	固定施設	全献血者	PC確保の為、午前中にPC採血頂いた方にパンをプレゼントする。	平日午前中の成分献血が増加。

【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	H23.6.14 H23.8.1～8.15 H23.12.18～12.25 H23.12.27～H24.1.5 H24.1.1～2.29 H24.2.10～2.15	世界献血者デー サマー献血 クリスマス 年末・年始 はたちの献血 バレンタイン	血液センター 献血ルーム 街頭献血会場	献血者	献血者へ記念品を進呈	計画どおりの協力者が得られた。
	2月5日・12日・19日・26日	健康キャンペーン	血液センター	献血者	マッサージ師によるマッサージや健康相談	計画どおりの協力者が得られた。
	毎週火・金曜日	週間キャンペーン	血液センター 献血ルーム	献血者	血小板成分献血協力者に記念品(お米)を進呈 先着20名様に記念品(卵10個入り)を進呈	計画どおりの協力者が得られた。

【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	H23.7.21	知事感謝状贈呈	鯉城会館	功労20団体	特に献血推進に功労のあった団体に、感謝状を贈呈	県献血推進大会で贈呈

【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	通年	緊急時献血協力者名簿の作成	各事業所等	各事業所職員	名簿を利用し、献血要請を実施	ライオンズクラブ、法人会へ協力を依頼
	通年	献血協力者名簿の作成	県・市町	県・市町職員	協力者名簿を作成し、献血要請を実施	登録者数2,520人

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県	H23.5月～H24.3月	県庁職員成分献血者登録制度		県職員	徳島県における安全な医療用血液の安定的な確保を図るため、県職員の成分献血者登録制度を発足させた。	H24年2月末時点で95名が成分献血に協力

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	H23.7.16	平成23年度献血推進協力団体等に対する厚生労働大臣表彰及び感謝状伝達式並びに知事感謝状贈呈式	エミフルMASAKI	一般	献血運動の推進に関し積極的に協力し、他の模範となる実績を示した会社、事業所、地域組織等に対し、知事感謝状の贈呈を行い、もって一層の献血運動の推進に資する。	
	常時	企業献血の推進		新規事業所	各ライオンズクラブを通じて事業所の紹介並びに事業所献血への協力を依頼	

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	通年	献血説明会・研修会	県内市区町村及び自治校区等	地域住民	市区町村や自治会等が主催して説明会や、研修会を実施。献血の必要性の話やDVDなどの視聴覚資料を活用。	地域献血前の説明会や研修会は効果があり、少なくとも前年度実績を越す効果が出ている。
	通年	地域行事との共催による献血実施	北九州管内市町村等イベント会場	ライオンズクラブ等	地域主催のイベントに献血を参入。併せてライオンズクラブが共催した献血実施を交渉。	10箇所で開催。1,084名の献血参加があった。
	H24.3.21	献血協力意識向上研修会	日本赤十字社九州血液センター	国際ソロプチミスト北九州・西	来年度の献血実施前に会員を対象として意識の向上を図る	施設を見学したことで、献血確保の必要性などを再認識でき、会員の意識向上につながった。

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	年度全般	献血協力団体とのタイアップによる献血を実施	市町村献血時にライオンズクラブやロータリークラブ等の協力を得て安定的な献血者の確保ができた	一般献血者	市町村献血年間94回の内、8割以上の献血会場で献血推進団体の協力が得られた	

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	平成23年度通年	休日献血	商業施設及びイベント会場	来場者	地域への新聞折り込みやはがき依頼、店舗前、車で呼びかけ強化をさらに処遇品をアップした。	定期的を実施することにより地域住民の献血の場として定着しつつある。
	平成23年度通年	献血セミナーと併行した献血実施	学校及び商業施設	生徒保護者及び来場者	学校及び事業所の行事等にあわせた地域一体の献血実施。	事前周知が十分にできる。地域の横の繋がりができ盛り上がる。
	H24.2.16、2.17、2.18	みんなで献血	固定施設並びに移動施設	一般	献血協力者が減少する冬場にイベントを企画し、ライオンズクラブの後援を得て、安定的な血液確保を目的とする	

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	通年	献血推進	県下献血主催の各事業所及び団体	各事業所職員及び各種団体会員並びに献血会場周辺事業所	推進及び打ち合わせレベルで、現状の説明等により献血への深い理解を図り、献血者増を図る。また、積極的な新規事業所及び団体の掘り起こしを図る。	行政と一体化した献血推進を行うことができた。

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大分県	H23.8.18	厚生労働大臣表彰状・感謝状伝達式	県庁	受賞団体	献血功労団体の大臣表彰状・感謝状受賞団体へ、福祉保健部長から伝達した。	
	H23.11.3	献血功労団体知事表彰	県庁	受賞団体	文化の日に、献血功労団体を知事表彰した。	
	H24.2.15	献血功労団体知事感謝状贈呈式	大分センチュリーホテル	受賞団体	献血功労団体に知事感謝状を贈呈した。	
大分県赤十字血液センター	H23.7.30	ライオンズクラブ献血セミナー	別府ビーコンプラザ	ライオンズクラブ会員	ライオンズクラブの会長や献血担当者を対象に献血に関する研修会を行い、ライオンズクラブ協力の献血での献血者増に繋げる。	LC協力の献血者が減少する中、献血者確保数の現状を維持している。

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H23.4月～	町、総ぐるみ献血参加運動	市町村役場、保健所等	地域の住民	県、市町村、協力団体、血液センターが連携して、各組織のネットワークを活かし地域に裾野の広い献血推進を図る。	平成23年度は、20回実施し、献血者数1,989人。同一会場での献血者数は対前年度比で478.4%。
	H23.5月～	成分献血協力団体確保対策	宮崎日日新聞	成分献血協力団体	隔月毎に成分献血協力団体を紙面掲載	年6回掲載
	H23.8.26	町、総ぐるみ献血参加運動イベント	日南保健所	地域の住民	町、総ぐるみ献血参加運動の献血会場で地元プロバスケットチームによる呼びかけ等	献血者：208人
	H23.8.26、12.29	献血感謝のタペ	セントラルシネマ	キャンペーン期間中の献血協力者	キャンペーン期間中に応募のあった献血協力者の中から100組200名を映画(わんこの島、ミッション インボッソブル)に招待。	年2回開催
	H23.10.19	献血推進県民大会	メディキット県民文化センター	県民	献血功労団体表彰、中高生による合唱、学生メッセージ、記念講演等。	参加者：320人
	H24.1.8	県政番組	テレビ宮崎	県民	69歳の献血者からのメッセージ等による若年層はじめ幅広い年代層への普及啓発。	放映時間20分
	H24.2.7	広報番組	宮崎インターネットテレビ	県民	献血の普及啓発	放映時間10分

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県 鹿児島県赤十字 血液センター	H24.3.2	ライオンズクラブ献血推進セミナー	鹿児島サンロイヤルホテル	ライオンズクラブ会員	ライオンズクラブを対象として、血液事業の現状を理解していただくために献血推進セミナーを開催した。	献血バスによる献血の約19%をライオンズクラブ主催献血が占めている。

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	H23.4.22	献血講話	那覇市献血推進協議会			

⑨複数回献血者の増加

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
北海道	通年	成分献血者への再来の要請	全道献血受入施設	前回採血から期間が開いている献血者	前回採血から期間が開いている献血者に対して、複数回の協力を要請する。	血小板製剤の供給増により、ハガキや封書、電子メールによる要請を多数実施。応諾率18.7%
	通年	複数回献血クラブの運営	全道献血受入施設	複数回献血者(メール会員)	チラシや非接触型携帯サイト接続ユニットを有効活用し、積極的に新規会員を募集する。	東日本大震災の影響により、献血への関心が高まり会員登録者が増えた。また、本社から記念品が送付されたことにより、学生への積極的な勧誘ができた。
	通年	献血案内の発送	全道献血受入施設	前回または前々回に協力があった献血者	前回または前々回に協力があった献血者に対して、献血実施日・場所等を記載したハガキを1週間程前に発送する。	ハガキは経費がかかるが、発送する場合としない場合とでは大きく協力数が異なるため、継続的に実施することが必要。応諾率30.7%
	H24.1.16～3.15(2ヶ月間)	血小板成分献血推進キャンペーン	全道献血受入施設	血小板成分献血協力者	ポイントカードを作成し、期間内に2回もしくは3回以上の協力者に対して、段階的に記念品の種類を覚えて進呈する。	ポイントカードの効果は、安定した実績の大きな一因となっている。
	通年	「また来て献血」カード配布	全道献血受入施設	全血ルームにて独自の複数回献血者確保を目的に展開	全血献血の固定施設において、ポイントカードを作成し1年間2回目の協力者に対して、記念品を進呈。	参加協力者8,000名。複数回献血に繋がっていると考察される。
	通年	新規献血者に対する再来率の向上	全道献血受入施設	新規献血者	新規献血者に対して、はがき等で献血依頼を行い、再来率の向上を目指す。	東日本大震災の影響もあり新規献血者の人数は、前年度比115.4%と増加した。リピート率も1.7%増加した。
	H23.9月～3月	健康促進事業	血液センター・献血ルーム	複数回献血者	血液センター・献血ルームにおいて施術講師を招き、ハンドマッサージなど行い献血者の健康を促進する。	直接的な献血者数の増加は望めないが、献血者へのサービスの一環として好評を得ている。
	H23.11月	クラブ情報誌の作成と配付	全道献血受入施設	複数回献血者	血液事業の現状や献血協力企業のコメントなどを掲載する。	より献血に対する理解を求め、継続的な協力を促すアイテムとして必要と思われる。

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
青森県赤十字血液センター	H23.4.1～H24.3.31	複数回献血クラブ会員募集	全施設	未加入者	未加入者に対して、献血現場で複数回献血クラブ入会のパンフレットを配布し、会員を募った。	パンフレット30,000枚作成 新規加入者 1,289名
	H23.4.1～H24.3.31	新聞折込チラシ	献血バス	県民	献血バスが巡回する市町村に、新聞折込チラシを入れて献血者を募った。	254,370枚の配布
	H24.1.16～3.9	ミドル層献血依頼	全施設	30～49歳の献血依頼可能者	30～49歳までを対象に複数回献血クラブ入会のパンフレットと献血記念品の引換券を同封し、献血した方に記念品を用意した。	4,207通発送 応諾人数587名 応諾率14.0% 期間中、新規加入者281名

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岩手県	H23.11月 H24.1月 H24.3月	400mL献血プラスワンキャンペーン	県内献血会場	既献血者	既献血者を対象に400mL献血の複数回の献血依頼をし、協力者に対し日赤オリジナルグッズ等を提供した。	
	通年	ハガキ・メールによる献血要請	県内献血会場	既献血者	複数回献血クラブ会員にメールによる献血依頼 400mL献血経験者にハガキでの献血依頼	
	通年	複数回献血クラブの加入促進	献血ルーム	直近一年以内の献血者	接遇時に勧誘チラシを用いて入会の強化を図った。	

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
秋田県	H24.10.6	環境・保健事業功労者知事表彰	県正庁	過去、献血運動に関し、功労者として認められる者	献血運動の推進に積極的に協力し、他の模範になる実績を示した事業所等及び個人に対し、知事表彰等を贈呈し、献血者に敬意を示す。	50回感謝状:61名、 100回感謝状:37名、 知事表彰:2団体、感謝状:5団体
秋田県 (赤十字血液センター)	H23.4.1～H24.3.31	複数回献血クラブ(メール会員)募集		既献血者	受付職員の登録呼びかけ	305人の登録者
	H23.8月	情報誌に掲載		県民	秋田市を中心に全県18万部の情報誌エークラスに複数回献血クラブの募集を含め固定施設の案内イベント告知等を掲載した。	広く県民の皆様へ告知し好評だった
	H23.11月	情報誌に掲載		県民	秋田市を中心に全県18万部の情報誌エークラスに複数回献血クラブの募集を含め固定施設の案内、献血の簡単な流れ、施設案内等を掲載した。	献血の流れも含め広く周知できた

【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山形県	通年	献血街頭キャンペーン	定点献血会場、イベント会場等	県民	人が多く集まる場所において、献血啓発資材を配布し、献血の普及啓発を図った。	県内で21回実施
山形県 (血液センター)	H23.11.26	命の絆 献血トークセッション & special LIVE	イオンモール山形南	複数回献血者及び一般来場者	ゲストより、健康や献血についてトークをしてもらい、ラジオを通して協力を呼びかける。	およそ4週間にわたり、ラジオから献血の情報が発信

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福島県	H23.4月～H24.2月(イベント等開催期間)	複数回献血クラブ登録推進強化	各献血(及びイベント)会場	未入会献血者	複数回献血者の登録促進を目的として、応募券を配布し、入会後次回の献血の際に処遇品(オリジナルチョコQ)をプレゼント	

【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
茨城県赤十字血液センター	通年	複数回献血クラブ	各献血会場	献血者	ネットケイタイクラブを活用し、献血の協力依頼やイベント情報を配信	8,700件配信
	H23.4月～12月	400mL献血推進キャンペーン	移動採血の全会場	400mL献血者	H22.8～H22.11に400mL献血者にカードを20,000枚配布し、H22年度に引き続きカード持参者に記念品を配布	カード持参者 6,423名

【栃木県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
栃木県	H23.6.15	「県民の日」献血キャンペーン	栃木県庁舎内 県民広場(宇都宮市) 県民の日記念イベント会場内	県民	栃木県医薬品配置協会の協力を得て、県民に対し、献血の普及啓発を行うとともに、移動採血車による献血を行うことにより、「献血思想」の意識の醸成を図った。	来場者:約1,000名 献血者数:40名
	H23.7月	「愛の血液助け合い運動」キャンペーン	県内	県民	ラジオやテレビによるスポットCM放送や県政広報誌への記事掲載により、400mL献血及び成分献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図った。	
	H23.7.27	献血功労者表彰式	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	県民	献血に功績のあった個人又は団体の表彰を行うとともに、一般県民も参加可能な記念コンサートを開催し、県民に対して、献血の普及啓発を図った。 第1部 式典 献血功労者の表彰 第2部 アトラクション オカリナコンサート	参加者:約150名
	H23.8.1~8.31	チャレンジ! 400mL献血&成分献血キャンペーン	うつのみや大通り献血ルーム、栃木県赤十字血液センター、県内献血会場	県民	血液が不足する時期に献血者を確保するため、実施期間中に初めて「400mL献血」または「成分献血」に協力いただいた方にオリジナル記念品を贈呈し、県民各層の間に献血思想の普及を図った。	初回献血者 ・400mL献血 462名 ・成分献血 43名
	H23.10.2	「ヒューマンフェスタとちぎ2011」献血キャンペーン	マロニエプラザ(宇都宮市)	県民	栃木県学生献血推進連盟「かけはし」の協力を得て、啓発物資の配布、移動採血車による献血等を実施することにより、県民に対して、献血の普及啓発を図った。	来場者数:1,000名 献血者数:51名
	H24.1月~2月	「はたちの献血」キャンペーン	・成人式 各市町の会場 ・シネアド TOHOシネマズ宇都宮及び109シネマズ佐野	新成人を中心に幅広い年代	各市町で開催する成人式でのリーフレット配布やラジオ・テレビによるスポットCM放送のほか、県内2か所の映画館でシネアートの放映を行うことにより、若年層を中心とした幅広い世代に献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図った。	・新成人へのリーフレット配布数 22,680枚 ・シネアド放映回数 延べ約900回

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
群馬県	H23.11.23	献血感謝デー	大型商業施設(イオンモール高崎)	イオンモール高崎の来場者	若年層を中心に幅広い年代から、献血に関する俳句の公募を行い、「献血」を通して支えられる「生命」に意識を向けさせるとともに献血活動の意義理解・普及の機会を創出することを目的とする。	来場者約1,000人と沢山の方に啓発活動ができた。また新規複数回メールクラブ会員の登録者増に繋がった (登録者数 35名)
	H24.2.24	献血感謝のタペ	大型商業施設(ユナイテッド・シネマ前橋)	複数回献血メールクラブ会員	協力実績のある複数回献血メール会員と同伴者を対象に健康講座及び映画鑑賞会を実施	継続して実施しており、参加者からも毎年大変好評である。 (参加者:274名)

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
埼玉県赤十字血液センター	通年	献血メールクラブの推進	埼玉県血液センターホームページ	県民	献血メールクラブの新規募集のためホームページ上でPRを行った。	

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
千葉県赤十字血液センター	年間を通じ	複数回献血者の増加	役所・事業所・学校・ジョブリンクセンター等の献血会場	年1回の協力者	前回・前々回等の献血協力者に同一会場実施時に要請はがきで案内し、年間複数回献血を実施いただく。	35%を目録値に設定

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
東京都赤十字血液センター	通年	複数回献血者確保事業	東京都内献血ルーム	ルーム来所献血者	複数回献血クラブに新規加入いただいた方に登録記念品を進呈し、会員数の増大を図った。	
	通年	携帯メールクラブポイント制	移動・出張採血会場・東京都内献血ルーム	複数回献血クラブ会員	献血時にポイントを積算し、一定ポイント到達で記念品を進呈することにより、複数回献血の促進を図った。	
	H24.3.11	携帯メールクラブ会員限定セミナー	有楽町・東京交通会館	複数回献血クラブ会員	救命救急センター医師の講演とクイズ形式の献血検定により、複数回献血の必要性について理解を深めていただいた。	
	通年	メールによる献血要請	東京都内献血ルーム	複数回献血クラブ会員	複数回献血クラブ会員に定期的にメールによる献血要請を行い、複数回献血の推進を図った。	
	通年	はがきによる献血依頼(全血・成分)	東京都内献血ルーム	ルーム来所献血者	各献血ルームにおける一定期間未献血者に案内はがき(ダイレクトメール)を送付し、複数回献血の推進を図った。	
	通年	はがきによる献血依頼(渉外支援)	移動・出張採血会場・東京都内献血ルーム	移動・出張・都内ルーム来所献血者	前回、同献血会場に来所した献血者に移動採血の案内はがき(ダイレクトメール)を送付し、複数回献血の推進を図った。	

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
神奈川県赤十字血液センター	H24.2.7、2.14、2.21、2.28	図書館補助事業「複数回献血協力者確保事業」の「健康相談事業」	みぞのくち献血ルーム、藤沢献血ルーム、本厚木献血ルーム	平日の開催日(火曜日指定)の午前中に、みぞのくち献血ルーム、藤沢献血ルーム、本厚木献血ルームで献血をした方のうち希望者	頭部等のマッサージと、快眠に関するアドバイス	

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など	
新潟県	通年	クリアファイルによる複数回献血クラブのPR		献血バスで400mL献血をしていただいた未登録者	クリアファイルにQRの付加されたPRリーフレットを入れて対象となる方にお渡しした。	H23.3～H24.2の1年間で会員数が約2,000名増加した。 H23.3月 - 約5,000名 H24.2月 - 約7,000名	
	通年	複数回献血クラブ新規入会キャンペーン	献血会場	新規入会者	新規で複数回献血クラブに入会いただいた方にオリジナルポーチを提供するキャンペーンを通年実施した。		
	H23.7月、11月、H24.1月、2月	未登録者に対する複数回献血クラブPRと登録のお願い		400mL成分献血の実績がある未登録者	複数回献血協力者確保のため、未登録者を抽出し、依頼文とリーフレットを送付した。(4回実施)		
	通年	複数回献血クラブ会員への献血会場及びキャンペーン情報の送信		複数回献血クラブ会員	毎月末に翌月の街頭会場及びキャンペーン等の情報提供することによる街頭会場への誘導を目的に実施した。		
	通年	報道機関への献血会場等情報提供による周知依頼			テレビ、ラジオ、新聞各局		複数回に結び付けるために、メディアによる献血会場等案内により、県民の広い範囲に周知を図った。
	通年	企業等訪問			献血協力企業等		県、市町村、血液センターで企業等を訪問し、献血への協力を依頼した。

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H23.4月～H24.3月	献血できなかった者に対する保健師による健康相談	献血協力企業など	献血の申込者のうち、低比重などで献血できなかった方	低比重不足などにより献血できなかった者に対し、保健師による健康相談を実施し、再チャレンジできるよう健康な献血者の確保に努める。	延べ30回、321名に実施。 (24.2.19現在)
	H23.9.4	LOVE LINK献血2012	ショッピングセンター	一般県民	献血啓発パネル展示、幼稚園児の歌&キッズダンス、マジックSHOW、カターレ富山選手のトーク及びサイン会を行い、LOVEメール会員へのPR及び会員募集イベントを開催した。	参加児童には献血グッズを配布するなど保護者にも好評であった。 集客数は約300名
	H24.2月	ポスターの作成・配布	献血協力企業など	一般県民	複数回献血の協力と献血メールクラブ会員募集のポスター等を作成し、献血の意識啓発に努めた。	
	H24.2.24	複数回献血クラブ映画上映会	映画館	献血複数回メールクラブ会員	献血複数回メール会員へ謝恩イベントとして映画上映会を実施した。また会報誌を発行し活動報告をした。	メール会員60組招待。参加者からは、継続行事として継続要望が多かった。

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
石川県赤十字血液センター	H23.4～12	複数回献血クラブ会員増加事業	県内全域	献血者	平成22年度成分献血者にダイレクトメールを送付し、複数回献血クラブ会員を募集する。	平成23年度において665名の新規会員があった。
	H23.4～H24.3	複数回献血協力者増加事業	県内全域	献血者	平成22年度初回者にダイレクトメールを送付し、前回場所での献血協力を依頼する。	平成23年度において1,935名(延べ3,479名)が献血依頼に応じた。多かった。

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福井県	通年	成分献血推進事業	血液センター	成分献血者(複数回)	成分献血について、ポイント制報酬制度を実施し、複数回献血者を確保した。	
福井県赤十字血液センター	通年	初回献血者に対する礼状の送付	血液センター	初回献血者	血液センター所長名で礼状を出し、年内に再度、献血をしていただいた方に記念品を提供した。	
	通年	複数回献血者の確保	血液センター	複数回献血クラブ会員、複数回献血者	はがきおよびメールにて献血の周知を行った。	
	H24.1.23	複数回献血者映画試写会の実施	映画館	複数回献血者、県民	成分献血の複数回献血者(抽選で200名)および県民(抽選で50名)を映画の試写会に招待した。	

【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山梨県(血液センター)	H23.4.1～	DMでの献血呼びかけ	各献血場所	過去2年前までの献血者	過去2年前までさかのぼり、同じ場所での献血者へDMを送り終了後処遇品を出す	31%の応諾率
	H23.4.1～	携帯メールでの献血呼びかけ	各献血場所	携帯メールクラブ会員	携帯メールクラブ会員にメールを送り終了後処遇品を出す	26.3%の応諾率

【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長野県	伊那:H23.10.2 佐久:H24.1.7～1.9 飯田:H24.3.3～3.4 中野:H24.3.10～3.11	献血ルーム体験運動	伊那市、佐久市、飯田市、中野市内の大型店舗等	県民(来客者、通行人)	血液センターがない地域での大型店舗内等に臨時の献血ルームを設置し、献血を体験する機会を設けるとともに、会場周辺でチラシ配布などの啓発活動を行った。	献血者数:伊那 54人 佐久 249人 飯田 166人 中野 122人
	長野:H23.4月～H24.3月 上田:H23.5月～H24.3月 岡谷:H23.5月～H24.1月 山形村:H23.8月～H24.1月	定例献血スポットキャンペーン	長野市、上田市、岡谷市、山形村内の大型店舗	県民(来客者、通行人)	大規模駐車場を備え集客力のある大型店舗へ移動採血車を配車し、定例的な献血会場として定着させることで献血者の確保を図った。	献血者数:長野 335人/9回 上田 270人/4回 岡谷 178人/4回 山形村 108人/2回

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岐阜県	H23.4月～H24.3月	献血依頼要請はがきの送付	各固定施設	献血者	年間に全血で2回、成分で4回定期的に献血依頼要請はがきを送付し献血者確保に努めた。	応諾率は、平均で30%ほどであり、昨年度と同程度となった。

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
静岡県(血液センター)	H23.4月～H24.3月	リーフレット配布	各献血会場	新規献血者	各献血会場で年間約7,000枚配布してクラブ会員入会を進める。	会員の増加

【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
愛知県	H23.7.1～H24.3.31	400mL複数回献血キャンペーン	県内献血会場	400mL献血者	7月から11月の間、400mL献血に御協力いただいた方に「けんけつちゃん」カードをお渡しし、12月から平成23年3月までに再度400mL献血をしていただいた方に記念品を贈呈した。	本県の献血目標量達成につながった。 【参考】7月から11月の400mL献血者数 67,912名、記念品配布数 12,000個

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
三重県赤十字血液センター	H23.6月～H24.3月	複数回献血キャンペーン	県内献血会場(採血バス)	年度内2回以上の400mL献血協力者	400mL献血に年度内で2回以上協力いただいた方に記念品を贈呈した。キャンペーンの実施については、ポスターの掲示及びホームページ上での告知を行った。	約6,400人の協力があった。

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
滋賀県	通年	メールによる献血要請		複数回献血クラブ会員	複数回献血クラブ「くるくるトマト」会員への献血情報発信。	
	H23.10月～11月	複数回献血者登録会	県内大学(学内献血時)	大学生	今後の複数回献血者増を目的とし、複数回献血者会員募集を、献血協力大学で登録会を実施する。	県内大学延べ8校で実施し、新規複数回登録者を116名確保した。

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
京都府	H23.4.1～5.31	献血friends登録推進	献血会場(献血ルーム、移動採血)	複数回献血未登録者	新規登録者に記念品を配布(期間中428名登録)	

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
大阪府	H23.7.1～7.31	愛の血液助け合い運動	府内一円	府民	府内市町村及び市町村献血推進協議会を中心に街頭キャンペーン、機関紙等への広報掲載等を実施	
	H23.7.29	大阪府知事感謝状贈呈式(厚生労働大臣表彰状・感謝状伝達式同時開催)	KKRホテル大阪	献血に功績のあった団体並びに個人	大阪府知事感謝状の贈呈並びに厚生労働大臣表彰状感謝状の伝達	
	H23.12.1～12.31	大阪府献血推進月間	府内一円	府民	府内市町村及び市町村献血推進協議会を中心に街頭キャンペーン、機関紙等への広報掲載等を実施	
大阪府日本赤十字社大阪府支部大阪府赤十字血液センター	H23.12.7	大阪府献血感謝のつどい	エル・おおさか	献血にご協力いただいた団体並びに個人等	献血に多大なご協力をいただいた団体等の表彰及び記念講演	
大阪府赤十字血液センター	H23.4.1～H24.3.31	献血ルームにおける各種キャンペーン	大阪府内の献血ルーム(計11箇所)	府民	・ネイルケア、マッサージ、ハンドトリートメントサービス等 ・抹茶とお菓子のサービス、モーニングキャンペーン等 ・「生け花」の実演会、手相占い等	
	H23.4.1～5.31 +H24.1.4～3.31	けんけつE倶楽部 新規会員登録キャンペーン	大阪府内の献血会場	府民	キャンペーンを実施し、会員入会の強化を図る	第1回、第2回のキャンペーン期間中の新規会員4,907名

【兵庫県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
兵庫県赤十字血液センター	H23.4月	会員募集チラシの作製及び配布	固定施設及び各献血会場	全献血者	固定施設を中心に会員募集のチラシを配布し、広く会員の募集を行った。	今年度2月末時点で3,862名の会員増加を図ることができた。
	H23.10.2、H24.1月	会員対象の健康体操及び講演会等	血液センター	複数回献血クラブ会員	会員対象に講師を招き、血液の使い方や健康保持のためのウォーキング講座、AED講習会を開催し継続した協力と複数回クラブの充実を図った。	2日間の実施で約100名の参加があった。
	H23.4.5～4.10、4.11	複数回クラブ会員増強月間	大学等献血会場	若年層献血者	大学献血が多い時期に担当職員を献血会場に派遣し、直接募集にあたることにより、会員増加を図った。	期間中、1,887名の登録が得られた。
	H23.4月～H24.1月	複数回献血協力者確保対策	ハガキ及びメールによる献血依頼	幅広い年代層	初回献血者、複数回献血者を問わず一稼働当たりの献血者増と型別不足の是正及び各血液製剤の安定確保を目的に依頼を行った。	年2回以上の献血構成比は23%(前年度とほぼ同率)であったが、年3回以上の献血者構成比は7.39%(前年度5.92%)に上昇した。

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	H23.6.4～H24.5.31	400mL献血1,2 +チャレンジ成分キャンペーン	移動採血車・固定施設	全献血者	移動車にてカード配布。1年以内に400mL献血2回達成 でプレゼント。更に成分献血をされた方にプレゼント。	移動採血から固定施設の成分献 血への誘導が行えた。
	H23.6.6～H24.6.5	近畿一周！成分献血キャンペーン	固定施設	全献血者	成分献血の回数ごとに近畿のご当地けんけつちゃん グッズを進呈。	奈良での献血で他府県のご当地 けんけつちゃんグッズが手に入 ると好評であった。

【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
和歌山県 和歌山県赤十字 血液センター	H23.7月～H24.3月	複数回献血クラブメール会員の募集 強化	県内各地	献血された方	県の緊急雇用創出事業を活用し、献血会場でメール会 員募集の説明ならびに会員登録の手伝いを行った。	携帯電話からのメール会員登録 は、操作が苦手な人も多かった。 登録の手伝いをするにより会員 登録数が前年度の約3倍に なった。

【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鳥取県	毎月1回	複数回献血協力者確保	献血会場	複数回献血協力者	業書による献血協力要請 複数回献血クラブ会員へのメール要請	業書による応率率約25%
	H24.2.5、2.12、2.19、2.26	健康キャンペーン	血液センター	複数回献血協力者	マッサージ師によるマッサージや健康相談	計画どおりの協力者が得られ た。

【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
島根県 島根県赤十字 血液センター	H23.12.3	複数回献血クラブ感謝の集い	イオン松江店	複数回献血クラブ登録者及 び県民	日頃協力いただいている献血者に対しての感謝と、若 者に対して献血の必要性を広く訴える事を目的に、ミニ ライブを開催し、地元の若手ミュージシャンから献血呼 びかけを行うと共に、街頭献血を実施。	ポスター掲示、ミニライブ、映画 「八月の二重奏」上映、献血クイ ズ、 献血者：38名
	H24.2.6～2.14	「癒しのコーナー」開設	島根県赤十字血液センター	献血者	献血いただいた方に、青葉マッサージさんによるマッ サージのサービスを実施。	期間中122名の利用者があり、大 変好評だった。

【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
岡山県	通年	複数回献血クラブ	県内各献血会場	統一システムにおいて検査 履歴等のデータを保有する 献血適格者で、複数回献血 への協力の意思のある方	安全な血液を安定的に確保するため、事業年度内に複 数回の献血に協力する献血者を確保する。	県内各献血会場にて募集を図 り、1,228名の新規会員を確保し た。(23年度未会員数3,842名)

【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
広島県	随時	栄養士による食事改善相談	献血バス、ルーム	血色素量不足者	鉄分を摂取しやすい食事について助言	

【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
山口県	通年	複数回献血登録の要請	各献血会場	献血者	複数回献血を要請	登録者数が増加している。
	H23.12.12	複数回献血者クラブ会員限定イベント	山口県赤十字血液センター	複数回献血者	クラブ会員限定イベントへ招待した	20人が参加した
	H23.4.1～5.31	複数回献血者確保対策の実施	山口大学他6会場	献血者	移動採血及び固定施設での献血者協力者へのリーフ レット配布・学内献血におけるポスター掲示と会員登録 の促進・ホームページの掲載・各会場に複数回登録専 任職員を置く。	東日本大震災の影響で登録者の 増加。

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
徳島県	H23.4月～H24.3月	けんけつ「ハートメッセンジャー」事業	保健所、市町村窓口等	若年層を中心に幅広い年 代	複数回献血クラブの会員数の増加を図ることを目的に、 タウン誌、リーフレット等の印刷物にQRコードを掲載し、 携帯電話から簡単にアクセスできるような環境整備に努 めた。	H24年2月末時点で1,704名が成 分献血に協力
徳島県赤十字 血液センター	H23.4月～H24.3月	血小板成分献血・400mL献血推進 キャンペーン		複数回献血者	誕生日に該当する献血者及び血小板献血可能者に献 血依頼の葉書を送付し、複数回献血者の増加を図っ た。	ハガキ要請数 12,643名 ハガキ応諾数 1,874名 ハガキ献血者数 1,688名

【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
香川県		献血推進啓発用リーフレットの作成	県、各市町及び香川県赤十字血液セ ンター	県民	毎年作成している献血啓発用のリーフレットの内容を変 更し、複数回献血者の増加のため、登録方法(QRコード 等)を記載した。	
	成人式等	はたちの献血リーフレットの作成	各市町、献血ルーム	はたちの県民	はたちの献血キャンペーンにあわせ、配布した「はた ちの献血」のリーフレットに複数回献血登録制度について 掲載。	

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果等
愛媛県	常時	レポートあいびーの周知	献血会場	一般	献血者に「複数回献血クラブ(レポートあいびー)」の周 知に協力し、複数回献血の推進を図る	

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
福岡県	通年	複数回献血協力者確保事業	県内各会場	非会員	複数回献血クラブへの入会要請を年齢層の若いメールのみの会員や非会員献血者へ登録要請のメール又は封書(チラシ入り)を送付。また、大学献血等では、当会のサイトスタンプを設置し入会キャンペーンを実施。23年度は12,820人へ発送。(福岡センター登録係)	要請封書やメール及び献血現場での勧誘(サイトスタンプ)で、2,727名(21.3%)が応募(入会)した。現在も日々少くして登録の返信が来ている
福岡県	H24.1.11~2.29	複数回献血協力者確保事業	北九州センター母体	北九州センター母体で献血にご協力いただいた方。(会員・非会員問わず)	複数回献血者を確保するため、キャンペーン等を実施し、過去2年間に同会場にて献血に協力いただいた方を対象にメール会員等獲得に向け積極的にDMを発送するなどの勧誘を行った。	イベントやキャンペーン案内と併せた献血依頼のDMを1,381通発送。320人(23%)の応募が得られ、血液確保につながった。

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
佐賀県	年度後半	複数回献血登録パンフレット	各献血会場	一般献血者	登録方法がわかりやすいように作成し、献血者に配布した	今年度は、登録者が1,000名増えた

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
長崎県	H23.11.25、H24.1.13	献血をして映画を観に行こうキャンペーン	県下2か所の映画会場	複数回登録者及び期間中の献血者	固定施設での献血者を対象に抽選で200組を招待する。開会前に日頃のお礼と血液事業の現況について説明しその後上映する。	夫婦同伴や友人を誘っての参加が多く同伴者への献血勧誘もでき若者への推進強化にもなる。
	H24.2.25	九州血液センター見学会	九州血液センター	複数回献血クラブ会員	複数回会員による先着20名様ご招待。血液の検査、製造段階を見学する。	より安全で安定した血液の確保に貢献していただける。

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
熊本県	通年	情報誌への複数回献血会員イベントの掲載	(情報誌への掲載)	市町村、県下大学・専門学校並びに献血者	本県オリジナルの情報誌配布(年4回発行)に、複数回献血会員向けのイベントを掲載するとともに、広く会員の応募を募り促進を図る。	平成23年度は約600名の増加があった(アドレス変更等による再登録無ての脱退多数あり)。
	H23.4.1~5.31	複数回クラブ増強キャンペーン	各献血会場	献血者	各会場で献血者にのりプレットを配布し、登録を促す。また、登録者には記念品(オリジナルシャープ)を送付することとした。	期間中634名の新規応募あり。

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
宮崎県	H24.1月~2月	複数回献血会員登録増強キャンペーン	献血会場	新規登録会員	新規登録者に記念品として「けんけつちゃんオリジナルカフェタンブラー」を進呈	期間中新規登録122人
	H24.2.25	複数回献血クラブ感謝のタベ	宮崎科学技術館	複数回献血クラブ会員	登録会員の中から100組200名をプラネタリウムに招待	

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
鹿児島県 鹿児島県赤十字血液センター	H23.5月、8月、11月、H24.2月	複数回献血者強化キャンペーン	固定施設	若年層献血者	若年層への普及が重要であることから、特に若年層献血者の登録を重点的にお願し、キャンペーン期間中に抽選会を実施するなどの取組を行った。	事前のメール送信やポスター掲示により周知し、期間中は多くの登録を得ている。
鹿児島県 鹿児島県赤十字血液センター	H23.4月~	複数回献血クラブへの入会案内の強化	固定施設、移動採血会場	献血者	国の緊急雇用創出臨時特別基金を活用し、県赤十字血液センターに臨時職員を雇用して、複数回献血クラブへの入会案内の強化を図った。	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
沖縄県	H23.11.26	献血コンサート	テンプスホール(4F)	複数回献血会員及び来店者	若年層を中心に幅広い年代から、献血を通して支えられる「生命」に意識を向けさせるとともに、献血活動の意義、理解、普及の機会を創出することを目的とする。	若者が200名集まるお笑いライブで献血状況をグラフで説明し、献血グッズ等で献血のことを理解してもらい、もっと献血を身近に感じて頂く。
	H24.2.12	献血コンサート	サンエー西原シティ(イベント広場)	複数回献血会員及び来店者	若年層を中心に幅広い年代から、献血を通して支えられる「生命」に意識を向けさせるとともに、献血活動の意義、理解、普及の機会を創出することを目的とする。	午後から2部の公演及び、移動採血車を配備、公演参加者が200名、登録者21名、献血者約60名の方が献血に協力
	H23.12.18	ハンドマッサージ	イオン北谷店前駐車場	複数回献血会員及び新規加入者	会員の特典として、サービスが受けられることから、周りの方へ複数回献血クラブへの加入を普及してもらおう。	3日間でマッサージを受けた方が31名、献血協力が163名、12月の複数回会員登録者57名、イベントを展開することにより、献血会場に足を運ぶ方が増え、献血協力者も増える。
	H23.12.25	ハンドマッサージ	イオン具志川店駐車場	複数回献血会員及び新規加入者	会員の特典として、サービスが受けられることから、周りの方へ複数回献血クラブへの加入を普及してもらおう。	3日間でマッサージを受けた方が31名、献血協力が163名、12月の複数回会員登録者57名、イベントを展開することにより、献血会場に足を運ぶ方が増え、献血協力者も増える。
	H23.12.27	ハンドマッサージ	沖縄県庁1階県民ホール	複数回献血会員及び新規加入者	会員の特典として、サービスが受けられることから、周りの方へ複数回献血クラブへの加入を普及してもらおう。	3日間でマッサージを受けた方が31名、献血協力が163名、12月の複数回会員登録者57名、イベントを展開することにより、献血会場に足を運ぶ方が増え、献血協力者も増える。

⑩その他

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	広報効果など
奈良県	H23.7.1～8.31	愛の血液助け合い運動 (街頭献血キャンペーン)	県内市町村	県民	各市町村の街頭において献血啓発活動を実施し、献血思想の普及啓発並びに血液が不足する夏期において安全な血液製剤を安定的に供給するため、献血者の確保を図る。	・県内市町村36ヶ所で実施 (参加者数:1923人・献血者数:1587人) ・ラジオ出演により、広く県民に広報を行うことができた。
	H24.1.1～2.29	はたちの献血キャンペーン (街頭献血キャンペーン)	県内市町村	県民	各市町村の街頭において献血啓発運動を実施し、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く県民各層に献血に関する理解と協力を求め、献血者が減少しがちな冬期における安全な血液製剤の安定的供給のため、献血者の確保を図る。	・県内市町村26ヶ所で実施 (参加者数:1248人・献血者数:1061人) ・ラジオ出演及び県内大型スクリーンへの情報掲示により、広く県民に広報を行うことができた。
	①H23.4.1～6.13(募集) ②H23.7.26(表彰)	献血運動啓発ポスター募集	①県内へ広報し、募集 ②県庁にて献血功績者と併せて表彰	①県内在住・在学・在勤の方(年齢制限なし) ②特選・入選者	広く県民に献血についての理解を深め、献血運動推進のPRに役立てるために実施。	①応募数:196点 ②対象:特選1点・入選5点
	①H23.8.2～8.9(展示) ②H23.8.23～8.30(展示)	献血運動啓発ポスター入賞作品の表彰及び展示	県内大型スーパー2店舗内 ①イオンモール橿原アルル ②イオンモール大和郡山	「献血運動啓発ポスター」入賞(特選・入選・佳作)作品(20点)	幅広い年齢層の優秀作品を展示することにより、広く県民各層に献血運動をPRし献血に対する理解と協力を求めることを目的とする。	対象:特選1点・入選5点・佳作14点
	H24.3月	献血啓発しおりの設置	県内大型書店	県民	献血運動啓発ポスター入賞(特選・入選)作品を元にしおりを作成し、県内大型書店の店頭等への設置を依頼。	書店レジ付近への設置により、手に取っていただく機会が多く、広く広報を行うことができた。
	H23.7.26	献血功績者表彰式	県庁	献血に功績のあった者を表彰	献血に対する県民の理解を深め、献血運動を推進するため、献血に功績のあった者を表彰する。	

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福岡県	H23.5.31	福岡県市町村献血推進協議会連合会理事会	福岡県庁	理事	県内の市区町村献血推進協議会の事業に関する連絡調整及び円滑な運営を図ることを目的とする。理事会においては、市区町村献血推進協議会の事業等について協議を行った。	
	H23.7.27	第45回福岡県献血運動推進大会	みやま市文化施設まいピア高田	献血功労者及び県民	「愛の血液助け合い運動」の一環として開催。献血功労者に対する表彰、献血に関する体験発表等を行い、県内における献血思想の普及啓発を図った。	
	H23.11.9 H23.11.15	ライオンズクラブ並びに市区町村担当者合同献血推進研究会	北九州市福岡市	ライオンズクラブ、市区町村献血担当者及び献血推進協議会	血液事業について研修を行うほか、ライオンズクラブ及び市町村担当者による献血に関する事例報告を行い、献血思想の普及啓発を図った。	
	H23.11.16	第15回福岡県輸血療法委員会合同会議	福岡県庁	血液製剤を使用する医療機関の医師、薬剤師、臨床検査技師等	血液製剤の使用適正化に密接な関係にある医療現場における輸血について、適正な輸血療法の推進を目的として開催。輸血療法に関する研修や、輸血業務に関するアンケートの集計結果を基に今後の課題検討等を行った。	
	H24.2.22	福岡県献血推進協議会	福岡県吉塚合同庁舎	委員	次年度の献血推進計画を策定するとともに、その他献血組織の育成強化、献血思想の普及を図るための広報活動等を行った。	
	H23.5.11～5.13 H23.8.17～8.19 H24.1.11～4.13	県庁職域献血	福岡県庁	県庁職員、来庁者	県庁本庁舎において、県庁職員を対象とする職域献血を年3回(計9日間)実施し、職員の献血に対する意識向上に努めた。	
	H24.3.15	保健所並びに市区町村献血推進担当者会議	福岡県吉塚合同庁舎	保健所、市区町村献血担当者	次年度の献血推進計画を報告と血液事業についての研修を行うほか、市区町村担当者による献血に関する事例報告を行い、献血使送の普及啓発を図った。	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
沖縄県	H23.7.13	愛の血液助け合い運動 街頭キャンペーン	県内	県民	セレモニー、普及啓発用チラシ等を配布し、広く県民に 献血への理解と協力を求めた。	
	H23.7.29	厚生労働大臣、県知事表彰、 日赤支部長及び県血液センター 所長表彰の伝達式	県内(県庁内)	受賞団体	愛の血液助け合い運動の一環として、厚労大臣表彰及 び県知事表彰等の伝達式を行った。	
	H24.1.6	はたちの献血 街頭キャンペーン	県内	県民(若年層を中心)	新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く 県民各層に献血に関する理解と協力を求めるとともに、 特に成分献血、400mL献血の継続的な推進を図った。	
	H24.1.9	成人式での知事メッセージ伝達	県内成人式会場	二十歳の成人	「はたちの献血」キャンペーンの一環として、成人式会場 において新たに成人式を迎える若者へ知事メッセージを 送った。	
	H24.2.3	血液センター1日所長	県内(献血ルーム前)	県民(若年層を中心)	学生献血推進協議会の学生を1日献血所長に任命し、 献血のPR活動を行った。	